セットアップ編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

C711dn2

◯このマニュアルには、製品を安全に使用していただくための注意事項が書かれています。ご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。
◯本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠警告

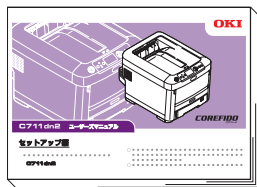
	こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。 床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。
	UPS（無停電電源）およびインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバータは使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

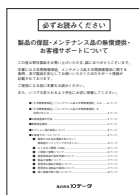
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。
	壊れた液晶ディスプレイにはさわらないでください。 液晶ディスプレイから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

マニュアルの構成

本製品には、次の説明書と CD-ROM マニュアルが付属しています。

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）…本書

必ずお読みください。
プリンタの設置からプリンタドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

ソフトウェア CD-ROM

製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて

必ずお読みください。
製品の保証、メンテナンス品の無償提供、お客様サポートについて記載されています。

本書の見方

本書では、特に記載のない限り、Windows の場合は Windows 7、Mac OS X の場合は Mac OS X 10.5 を例にしています。お使いの OS やモデルによって、本書の記載と異なることがあります。

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- C711dn 2 → C711
- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows 7 (64bit 版)
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista (64bit 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 64-bit Edition operating system 日本語版→ Windows Server 2008 R2 ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008(64bit 版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP (x64 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003 (x64 版) ※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版→ Windows 7 ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版→ Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版→ Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版→ Windows 2000
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称 → Windows
- PostScript3 エミュレーション → PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

※ 特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2　適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

VOC（揮発性有機化合物）の放散

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジを使用し、白黒印刷及びカラー印刷を行った場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

⚠危険

本装置には主制御基板上に CR2032 リチウム電池が使用されています。
通常使用において 10 年間の寿命を有します。
電池を廃棄する場合はテープなどで絶縁してください。
他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。
電池は地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

プリンタに搭載のソフトウェアについて

C711dn2 は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE ™ソフトウェアを搭載しています。

C711dn2 は、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
ProtecPaper、Val-Code、ProtectPrint、ProtecCheck は、沖電気工業株式会社の商標または登録商標です。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Bonjour および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScript および Reader は、米国及びその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
Scalable Font は Agfa Monotype Corporation からライセンスされています。
CG Omega は Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Agfa Monotype Corporation の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG、Candid、Taffy は Agfa Monotype Corporation の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Agfa からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。
平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
SD メモリーカードは、SD Association の登録商標または商標です。SD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為 (過失を含むがこれに限定されない) に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず､他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

*****

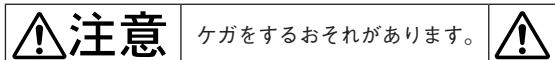
なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

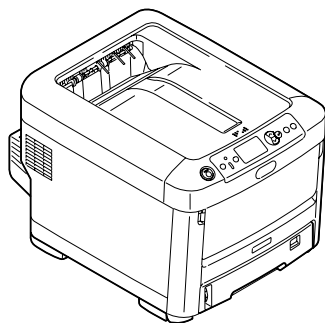
目　次

1 プリンタを設置します

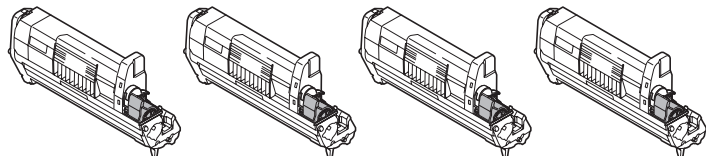
製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

注意 ケガをするおそれがあります。

このプリンタは重量が約 31kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。

□ プリンタ（本体）

□ イメージドラム
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ）

□ スタータトナーカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ）

メモ イメージドラムとスタータトナーカートリッジは一体化し、プリンタ内にセットされています。

□ ソフトウェア CD-ROM

□ 電源コード

□ ユーザーズマニュアル（セットアップ編）（本書）

□ 製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- 梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  - 周囲温度　：　10 ～ 32℃
  - 周囲湿度　：　20 ～ 80%RH（相対湿度）
  - 最大湿球温度　：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が 30% 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

⚠注意

- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
- このプリンタは重量が約 31kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。

設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

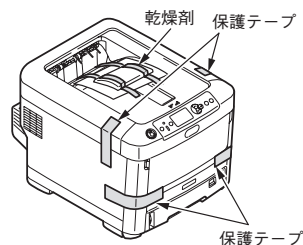
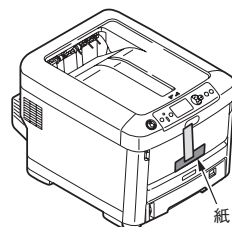
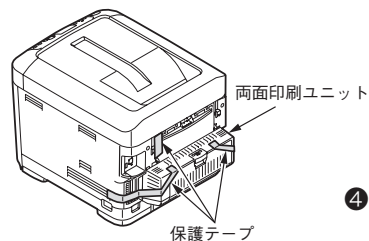
平面図

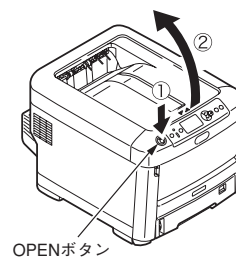
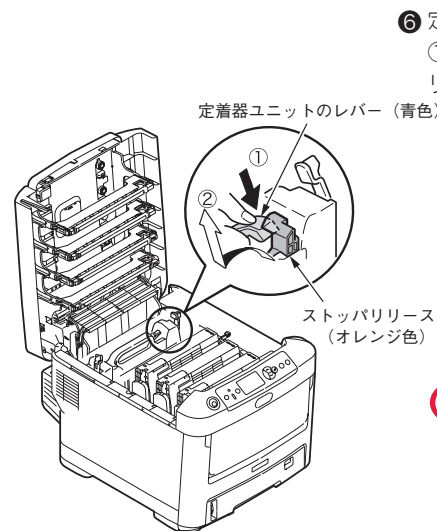
側面図

プリンタ各部の名前

トップカバー
操作パネル
手差しガイド
マルチパーパストレイ
（MPトレイ手差し）
用紙サポータ
通気口
OPENボタン
フロントカバー
用紙カセット（トレイ1）
LEDヘッド（4ヶ所）
定着器ユニット
トナーカートリッジ
(C シアン(青色))
トナーカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))
トナーカートリッジ
(Y イエロー(黄色))
トナーカートリッジ
(K ブラック(黒色))
排出ローラ
イメージドラム
(C シアン(青色))
イメージドラム
(M マゼンタ(赤色))
イメージドラム
(Y イエロー(黄色))
イメージドラム
(K ブラック(黒色))
用紙サイズダイヤル
用紙残量表示
フェイスアップスタッカ
通気口
両面印刷ユニット
インタフェース部
電源スイッチ
電源コネクタ
〈インタフェース部〉
USBインタフェース
コネクタ
ACCインタフェース
コネクタ
ネットワークインタフェース
コネクタ (100/10BASE)
リンク 100M/10Mランプ（緑）
ステータスランプ（橙）
パラレルインタフェース
コネクタ
PARALLEL

付属品を取り付けます

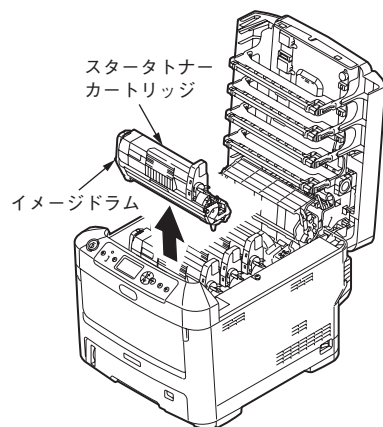
1 保護具を取り外します。

❶ プリンタ上面の乾燥剤と保護テープ（4ヶ所）をはがします。

❷ プリンタ前面の紙をはがします。

❸ プリンタ後面の保護テープ（3ヶ所）をはがします。

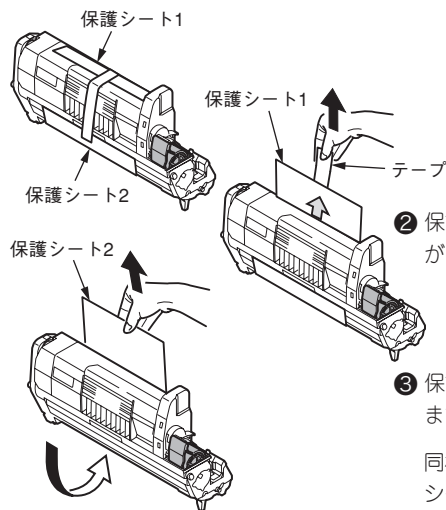
❹ 両面印刷ユニットが、固定されていることを確認します。

❺ OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

❻ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース（オレンジ色）を取り外します。

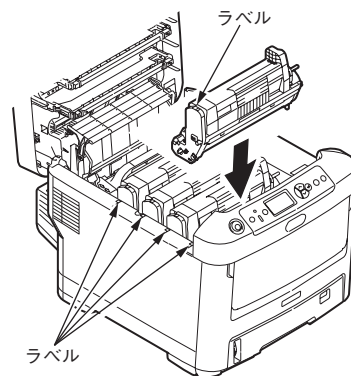
注 ストッパリリースはプリンタを長期間使用しないときや、輸送するときに使います。必ず保管してください。

2 イメージドラムをセットします。

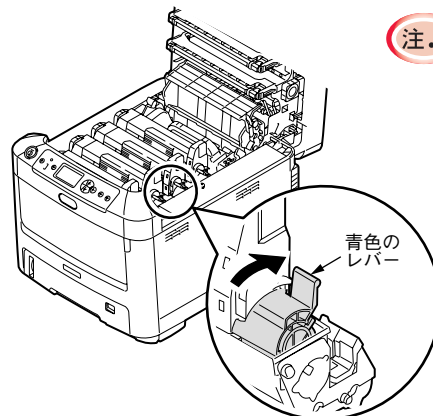
注 ここでは、スタータトナーカートリッジの青いレバーは動かさないでください。動かした場合にトナーがこぼれることがあります

❶ スタータトナーカートリッジを付けたまま、イメージドラム（4 個）を静かに取り出します。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。
- 必ず装置付属のイメージドラムを先にご使用ください。消耗品のイメージドラムを使用した後に、付属品のイメージドラムをセットしても、消耗品のイメージドラムの寿命表示のままになり、寿命のリセットはされません。

❷ 保護シート 1 を止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❸ 保護シート 2 を矢印の方向に引き抜きます。

同様に 4 個のイメージドラムから保護シート 1, 2 を取り除きます。

❹ イメージドラムのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

❺ イメージドラム（4 個）を静かに戻します。

❻ トナーカートリッジの青色のレバー（4 箇所）を矢印の方向にいっぱいまで回します。

注
- スタータトナー（製品購入時に添付されているトナーカートリッジ）は、約 4000 枚印刷可能です。
- 操作パネルに［トナーカートリッジを確認してください／レバーの位置が正しくありません］が表示されるときは、トナーカートリッジのレバーが矢印の方向にいっぱいまで動かされているか確認してください。
- 通常のトナーカートリッジを使用した後は、スタータトナーは使用できなくなります。最初にスタータトナーを使用し、［トナーがありません］になってから、通常のトナーをご使用ください。

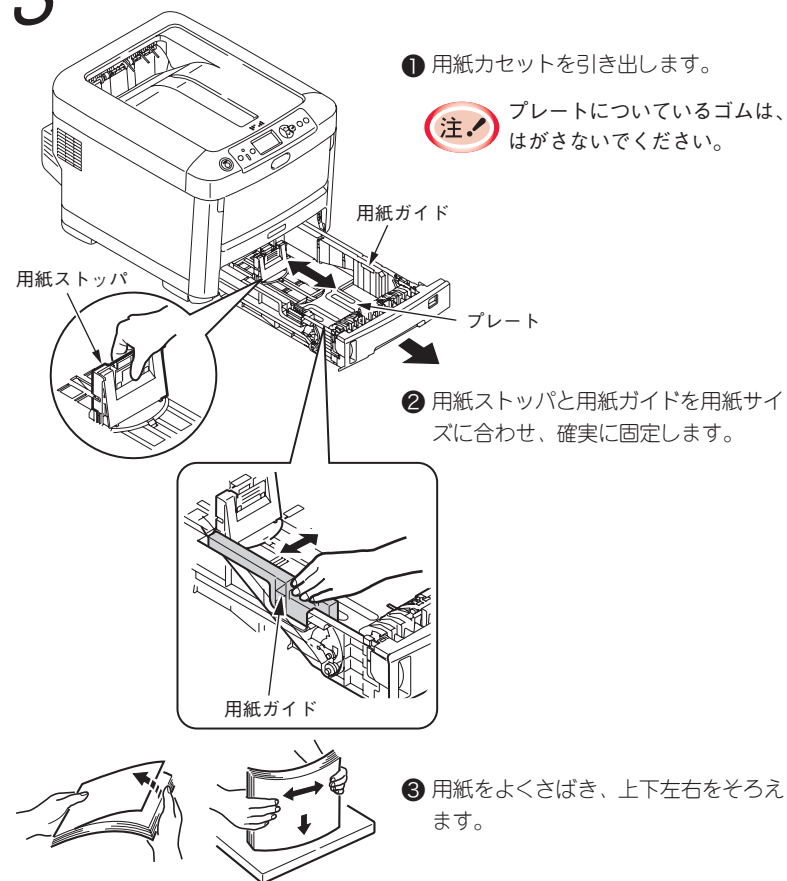
メモ トナーカートリッジの印刷可能枚数は、用紙サイズが A4、印字濃度が工場出荷時設定で「ISO/IEC 19798」に準拠した値です。実際に印刷可能な枚数は、お客様のご使用状況により、異なります。
「ISO/IEC 19798」は、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

3 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているゴムは、はがさないでください。

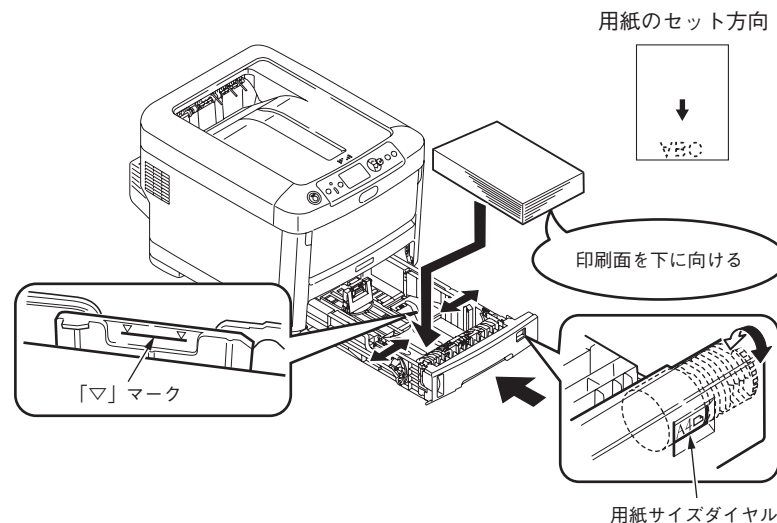
❷ 用紙ストッパと用紙ガイドを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❸ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

メモ 用紙については、9 章の「使用できる用紙」（126 ページ）を参考にしてください。

注 プリンタに適していない用紙を使用すると、プリンタが故障するおそれがあります。

❹ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

❺ 用紙ガイドで用紙を固定します。

❻ 用紙サイズダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量 70kg（82g/m²）紙で 530 枚）

❼ 用紙カセットをプリンタに戻します。

電源を入れます

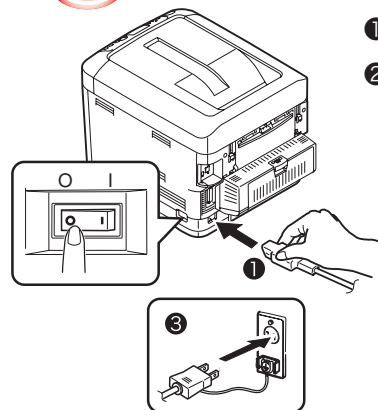
電源の条件

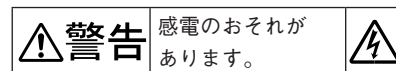
- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V ± 10%
  電源周波数　：　50Hz または 60Hz ± 2%
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は 1300W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS（無停電電源）およびインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバータは使用しないでください。

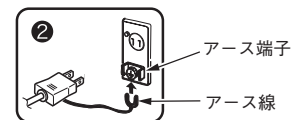
⚠警告　火災や感電のおそれがあります。

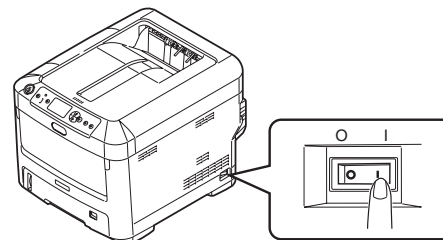
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース端子の接続は必ず、電源プラグに電源を繋ぐ前に行ってください。また、アース端子を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。他の製品用の電源コードを本プリンタに使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 添付の電源コードを他の製品に使用しないでください。

1 電源コードを接続します。

注　電源スイッチが OFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続します。

⚠警告	感電のおそれがあります。

必ずアース線を接続してください。

❸ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 電源スイッチの ON（｜）を押します。

印刷できる状態になると、[印刷できます] と表示します。

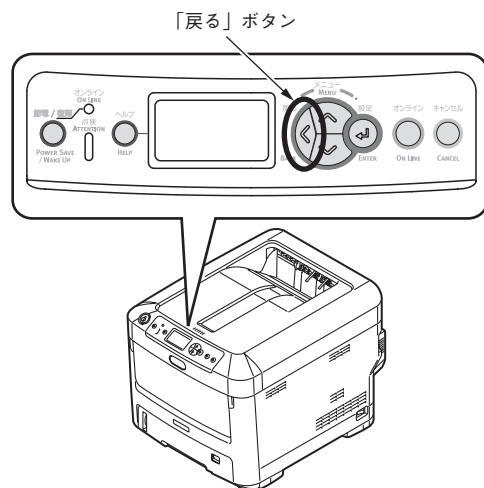
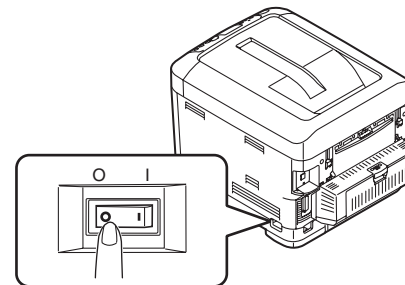
注　プリンタが冷えているときに電源を入れると、エラーになることがあります。（エラー番号 171, 175, 320）このような場合は、電源を切り、しばらくの間待ってから、もう一度電源を入れてください。

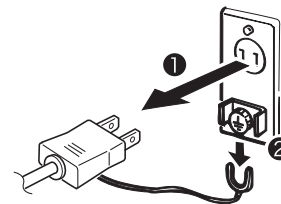
電源を切ります

いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

❶ 「戻る」ボタンを 4 秒以上押すと、［シャットダウン　はい／いいえ］と表示され、［はい］が選択されていることを確認し、設定ボタンを押します。

［シャットダウン中です］と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❷ ［電源を切ってください／シャットダウン完了しました］が表示されたら、電源スイッチの OFF（O）を押します。

長期間使用しないとき

連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
また、定着器にストッパリリースを取り付けてください。

アース端子を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本プリンタは長期間（4 週間以上）電源プラグを抜いておいても、機能障害を生じません。

設定内容印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

プリンタオプション品の取り付け状況や、プリンタのメニュー設定内容、消耗品の使用状況などを、確認することができます。

❶ トレイ 1 に A4 用紙をセットします。

❷ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❸ ボタンを数回押して［プリンタ情報印刷］を選択し、 設定ボタンを押します。

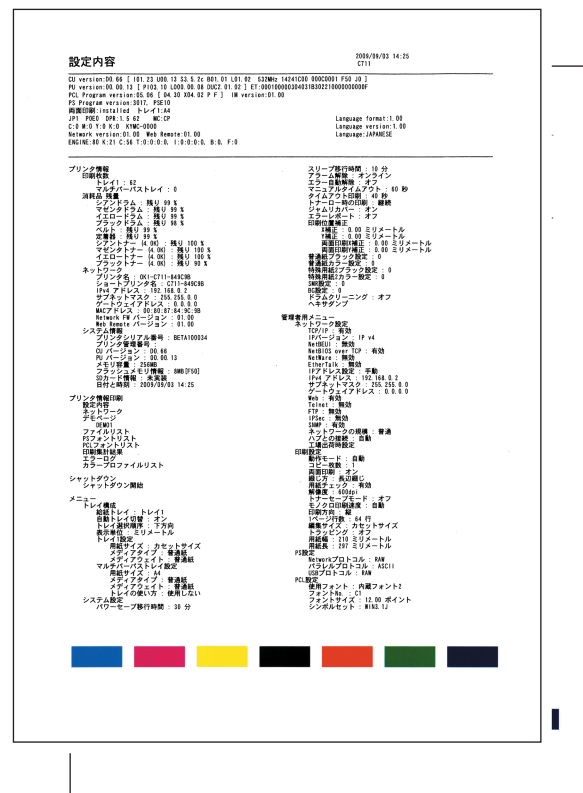
❹ ボタンを押して［設定内容］を選択し、 設定ボタンを押します。印刷できます。

❺ 設定ボタンを押します。

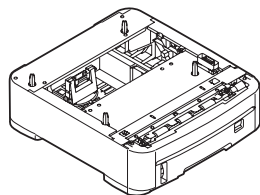
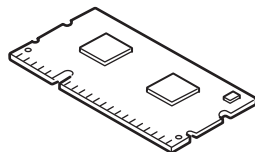
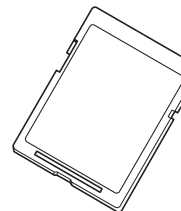
設定内容印刷が開始されます。

ネットワークの設定情報（Network Information 2 枚）を印刷するには、❸の後に ボタンを押し、［ネットワーク］を表示させてから、 設定ボタンを押します。
ネットワークの他にも、デモページ、ファイルリストなども同様にして印刷することができます。

（サンプル）

設定内容

オプション品の紹介

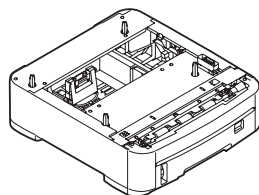
本機には、以下のオプション品があります。お使いの環境に合わせてご使用ください。

□ セカンド / サードトレイユニット
プリンタにセットできる用紙を増やしたいときに取り付けます。
詳しくは、22 ページをご覧ください。

□ 増設メモリ
プリンタのメモリ容量を増やしたいときに取り付けます。
詳しくは、26 ページをご覧ください。

□ SD メモリーカード
認証印刷や暗号化認証印刷、IC カード認証印刷を行うときに取り付けます。
詳しくは、29 ページをご覧ください。

オプション品について

セカンド / サードトレイユニット

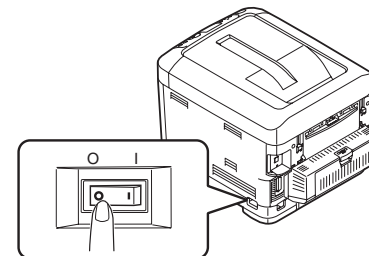
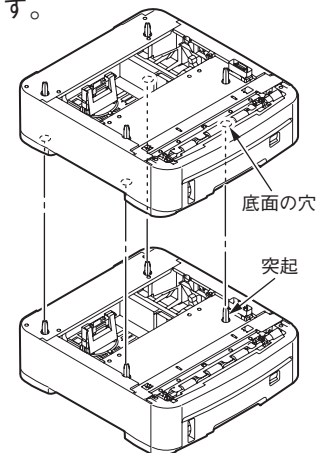
プリンタにセットできる用紙の枚数を増やしたいときに取り付けるオプショントレイユニットです。最大 2 つまで取り付けることができます。1 つのオプショントレイユニットに連量 70kg (82g/m²) 紙の場合 530 枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて 1,690 枚を連続して印刷できるようになります。

 A6 用紙は使用できません。

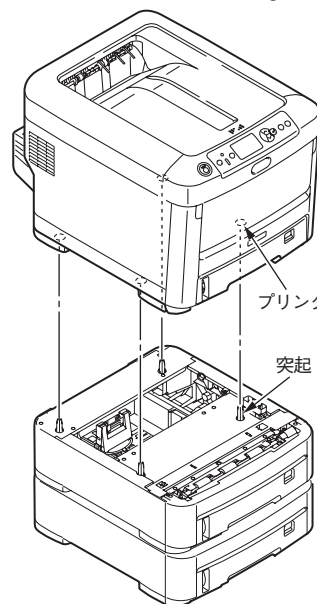
 標準の用紙カセット（トレイ 1）から順に下に向かって、セカンドトレイまたはトレイ 2、サードトレイまたはトレイ 3 と呼びます。

型名：TRY-C4F1

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（19 ページ）をご覧ください。

2 2 つのオプショントレイユニットを取り付ける場合は、予め重ねておきます。

3 プリンタをオプショントレイユニットに載せます。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは約 31kg あります。2 人以上で持ち上げてください。

❶ プリンタ底面の穴とオプショントレイユニットの突起を合わせます。

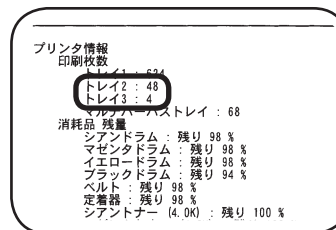
❷ プリンタをオプショントレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

4 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

［サービスセンターへ連絡してください　182：エラー］または［サービスセンターへ連絡してください　183：エラー］が表示された場合は、オプショントレイユニットを取り付け直してください。

5 設定内容印刷を行い、正しく取り付けられていることを確認します。

プリンタ情報
印刷枚数
トレイ1 : 624
トレイ2 : 48
トレイ3 : 4
マルチパーパストレイ : 68
消耗品 残量
シアンドラム : 残り 98 %
マゼンタドラム : 残り 98 %
イエロードラム : 残り 98 %
ブラックドラム : 残り 94 %
ベルト : 残り 98 %
定着器 : 残り 98 %
シアントナー (4.0K) : 残り 100 %

❶ 設定内容印刷をします。

詳しくは「設定内容印刷をします」(20 ページ)をご覧ください。

❷ ［プリンタ情報］の［印刷枚数］に追加したトレイが表示されていることを確認します。

追加したトレイが表示されない場合は、オプショントレイユニットを取り付け直してください。

6 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

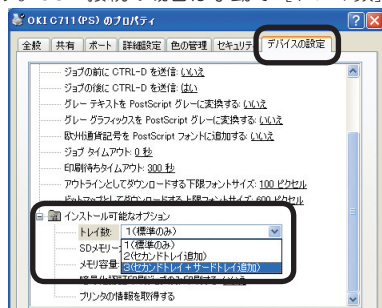
プリンタドライバで追加したトレイを認識させるための設定が必要です。
プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3 章～ 8 章を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

コンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PSプリンタドライバの場合

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C711(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、Windows 7/Windows Server 2008 R2 では［プリンターのプロパティ］を、その他の OS では[プロパティ]を選択します。
Windows 7 で複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、［OKI C711(PS)］を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブの［インストール可能なオプション］で[プリンタの情報を取得する]を選択し、[セットアップ]または[プリンタの情報を取得する]をクリックします。USB 接続の場合は手動で［トレイ数]に該当する値を設定します。

(Windows XPの画面)

❹ [OK]をクリックします。

Windows PCL/XPSプリンタドライバの場合

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C711(PCL またはXPS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、Windows 7/Windows Server 2008 R2 では［プリンターのプロパティ］を、その他の OS では[プロパティ]を選択します。
Windows 7 で複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、［OKI C711(PCL またはXPS)］を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブで[プリンタの情報を取得する]を選択します。
USB 接続の場合は手動で［利用可能な装置]に現在のトレイ総数を入力します。

(Windows XPの画面)

❹ [OK]をクリックします。

Macintoshの場合

Macintosh ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されます。プリンタドライバをインストールした後にオプションを追加した場合は、以下手順でオプションを設定してください。

ネットワーク接続の場合

❶ [セレクタ]でプリンタを選択し、[再設定]をクリックします。

❷ [構成]をクリックします。

❸ [トレイ数]で該当する値を選択し、[OK]をクリックします。

❹ [セレクタ] を閉じます。

USB接続の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」(93 ページ) をご覧ください。

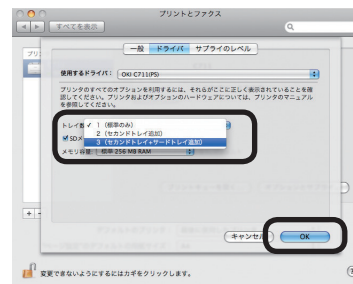
Mac OS Xの場合

Mac OS X ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、「IP プリント」や「Bonjour(Rendezvous)」で接続した場合は自動的にデバイス情報が取得されません。「AppleTalk」で接続した場合にもプリンタドライバのインストール後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下手順にてオプションを設定してください。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 をお使いの方

❶ [アップルメニュー] - [システム環境設定] を選択します。

❷ [プリントとファクス]をクリックします。プリンタを選択し、[オプションとサプライ] をクリックし、[ドライバ] タブを選択します。

❸ [トレイ数]で該当する値を選択し、[OK]をクリックします。

Mac OS X 10.3.9～10.4をお使いの方

❶ ハードディスクの [アプリケーション] - [ユーティリティ] - [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。

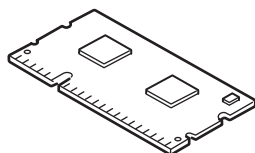
❷ プリンタを選択し、[情報を見る]をクリックし [プリンタ情報]を開きます。

❸ [インストール可能なオプション]を選択します。

❹ [トレイ数]で該当する値を選択し、[変更を適用]をクリックします。

❺ [プリンタ情報]を閉じます。

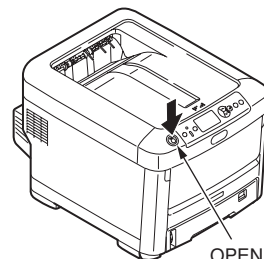
増設メモリ

プリンタのメモリ容量を増やしたいときに取り付けます。複雑なデータでメモリ不足のエラー［メモリオーバーフロー］が発生するときや、部単位印刷で［丁合印刷エラーです］が表示されるときなどに追加します。

増設メモリ

型名	メモリ量 (総メモリ量)
なし（標準）	256MB（256MB）
MEM256G	+256MB（512MB）
MEM512D	+512MB（768MB）

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 長尺印刷を行う場合は、256MB 以上の増設メモリの追加を推奨します。
- メモリ用スロットは 1 スロットです。

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源を ON のまま取り付けると、プリンタまたは増設メモリが故障するおそれがあります。

電源の切り方は「電源を切ります」（19 ページ）をご覧ください。

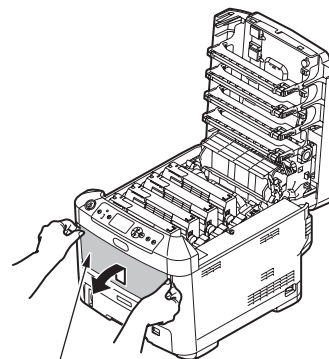
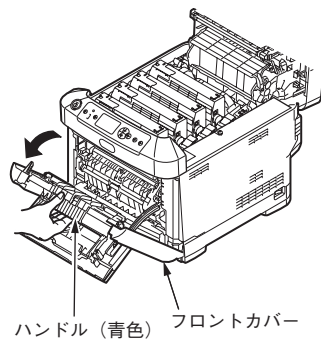
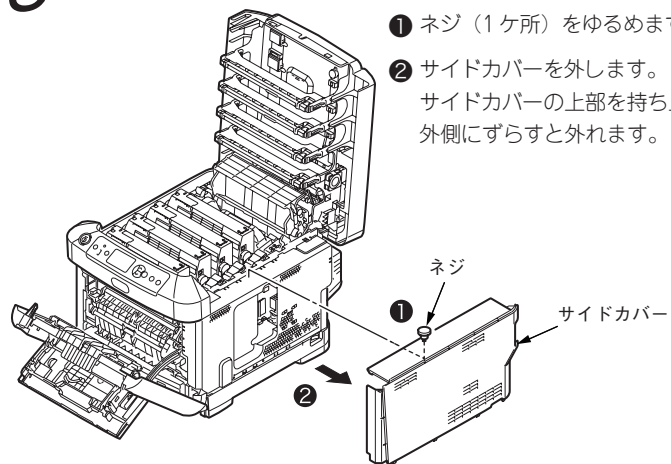
2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

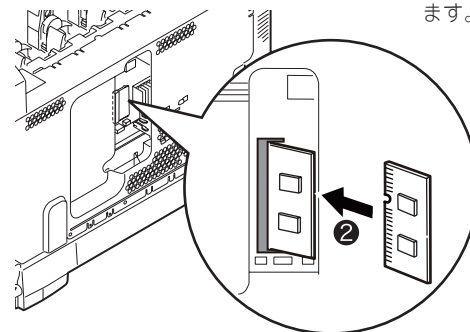
❶ OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

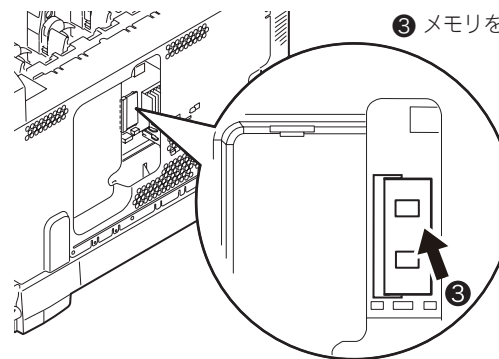
❷ マルチパーパストレイを開きます。

❸ フロントカバー中央のハンドル（青色）を押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

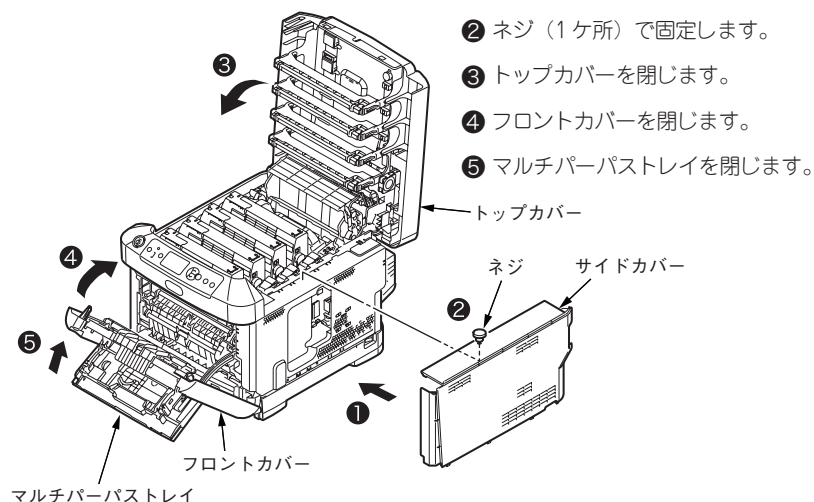
3 サイドカバーを外します。

❶ ネジ（1ケ所）をゆるめます。

❷ サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

4 メモリを取り付けます。

❶ メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷ スロットにななめにメモリを差し込みます。

❸ メモリをプリンタ側に押し、固定します。

- 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。
- メモリの向きにご注意ください。メモリの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクタと勘合するようになっています。

5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1 ケ所）で固定します。

❸ トップカバーを閉じます。

❹ フロントカバーを閉じます。

❺ マルチパーパストレイを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

操作パネルに［サービスセンターへ連絡してください 031：エラー］が表示された場合は、メモリを取り付け直してください。

7 設定内容印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

```
プリンタ情報
    印刷枚数
        トレイ1 : 59
        マルチパーパストレイ : 0
    消耗品 残量
        シアンドラム : 残り 99 %
        マゼンタドラム : 残り 99 %
        イエロードラム : 残り 99 %
        ブラックドラム : 残り 98 %
        ベルト : 残り 99 %
        定着器 : 残り 99 %
        シアントナー (4.0K) : 残り 10
        マゼンタトナー (4.0K) : 残り
        イエロートナー (4.0K) : 残り
        ブラックトナー (4.0K) : 残り
    ネットワーク
        プリンタ名 : OKI-C711-849C9B
        ショートプリンタ名 : C711-849
        IPv4 アドレス : 192.168.0.2
        サブネットマスク : 255.255.0.
        ゲートウェイアドレス : 0.0.0.
        MACアドレス : 00:80:87:84:9C:
        Network FW バージョン : 01.00
        Web Remote バージョン : 01.00
    システム情報
        プリンタシリアル番号 : BETA10
        プリンタ管理番号 :
        CU バージョン : D0.66
        PU バージョン : 00.00.13
        メモリ容量 : 768MB
        フラッシュメモリ情報 : 8MB[F5
        SDカード情報 : 16.14GB[F50]
        日付と時刻 : 2009/09/03 13:51
```

❶ 設定内容印刷をします。

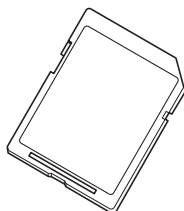
詳しくは「設定内容印刷をします」（20 ページ）をご覧ください。

❷［プリンタ情報］の［システム情報］の［メモリ容量］に表示される総メモリ量を確認します。

［メモリ容量］が正しく表示されない場合は、メモリを取り付け直してください。

SD メモリーカード

認証印刷、暗号化認証印刷、IC カード認証印刷に使用します。(IC カード認証印刷には別途 IC カード認証印刷キットが必要です。)

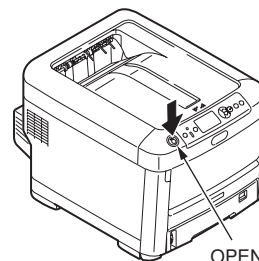
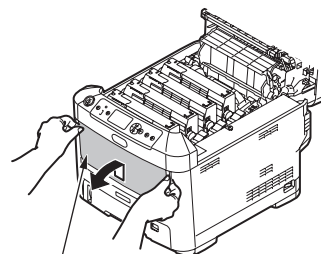
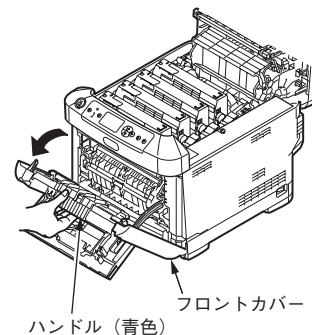
- フォントをダウンロードすることはできません。
- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。

型名：SDC-A1

SDメモリーカードの取り付け

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コードを取り外します。

- いきなり電源スイッチを切るとプリンタが故障するおそれがありますので、必ず「シャットダウンメニュー」を実行してください。
- 電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

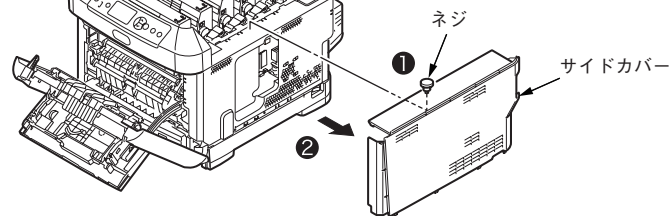
電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。

2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

❶ OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

❷ マルチパーパストレイを開きます。

❸ フロントカバー中央のハンドル(青色)を押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

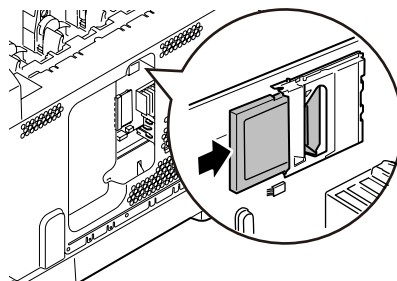
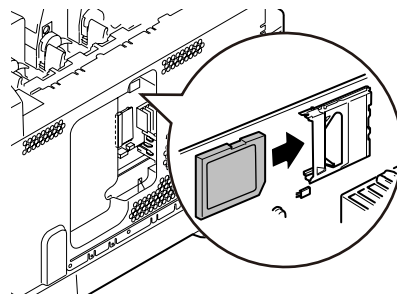
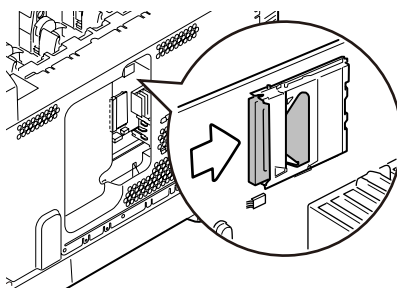
3 サイドカバーを外します。

❶ ネジ（1ケ所）をゆるめます。

❷ サイドカバーを外します。

サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

4 SD メモリーカードを取り付けます。

❶ SD メモリーカードの向きに注意しながらプリンタ側の孔に差し込みます。

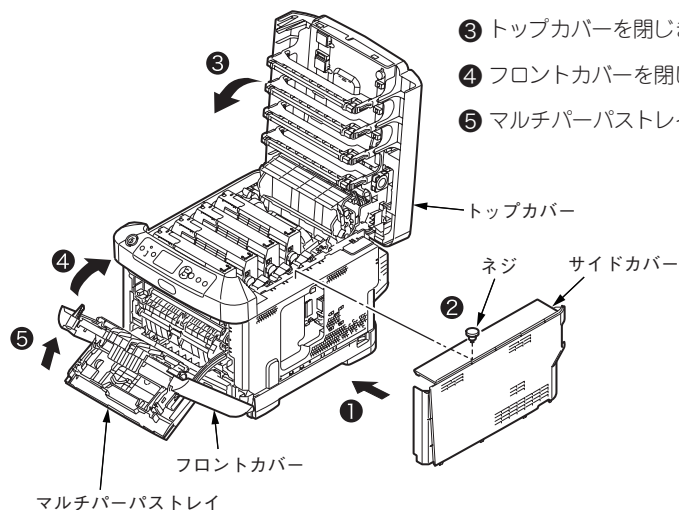
誤消去防止用のプロテクトスイッチが禁止状態ではご使用になれません。必ず許可状態で使用してください。

❷ カチッと音がするまで押し込みます。

5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1 ケ所）で固定します。

❸ トップカバーを閉じます。

❹ フロントカバーを閉じます。

❺ マルチパーパストレイを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

7 設定内容印刷を行い、SD メモリーカードが正しく取り付けられていることを確認します。

イエロートナー (4.0K) : 残り 100 %
ブラックトナー (4.0K) : 残り 100 %
ネットワーク
プリンタ名 : OKI-C711-849C9B
ショートプリンタ名 : C711-849C9B
IPv4 アドレス : 192.168.0.2
サブネットマスク : 255.255.0.0
ゲートウェイアドレス : 0.0.0.0
MACアドレス : 00:80:87:84:9C:9B
Network FW バージョン : 01.00
Web Remote バージョン : 01.00
システム情報
プリンタシリアル番号 : BETA100034
プリンタ管理番号 :
CU バージョン : D0.66
PU バージョン : 00.00.13
メモリ容量 : 768MB
SDカード情報 : 16.14GB[F50]

プリンタ情報印刷
設定内容
ネットワーク

❶ 設定内容印刷をします。

❷ [SD カード情報] に SD メモリーカードの容量が表示されていることを確認します。

SD メモリーカードの容量は、左図の例とは異なる場合があります。

SD メモリーカードの容量が表示されない場合は、SD メモリーカードを取り付け直してください。また誤消去防止用のプロテクトスイッチが許可状態であることを確認してください。

IC カード認証キットをご使用になられる場合は、キットに添付されるマニュアルを必ずお読みください。

続けて、プリンタドライバで SD メモリーカードを認識させるための設定が必要です。プリンタドライバをセットアップしていない場合は、プリンタドライバをセットアップした後、次ページ以降の手順で設定してください。

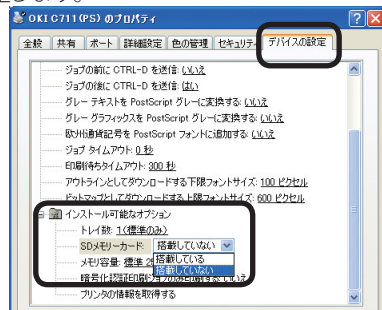
8 プリンタドライバで［SD メモリーカード］を設定します。

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PSプリンタドライバの場合

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2では[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C711(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、Windows 7/Windows Server 2008 R2 では［プリンターのプロパティ］を、その他の OS では[プロパティ]を選択します。
Windows 7 で複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、［OKI C711(PS)］を選択します。

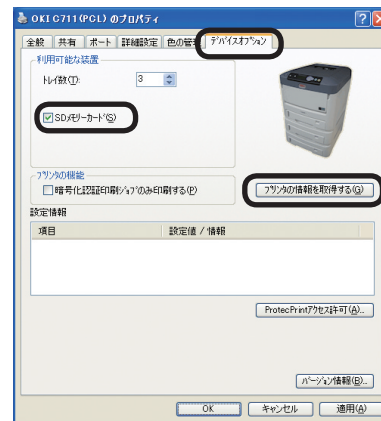
❸ [デバイスの設定]タブの[インストール可能なオプション]で[プリンタの情報を取得する]をクリックし［セットアップ]または[プリンタの情報を取得する]をクリックします。USB 接続の場合は手動で［SD メモリーカード]を[搭載している]に設定します。

(Windows XPの画面)

❹ [OK］をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバの場合

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2では[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C711(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、Windows 7/Windows Server 2008 R2 では［プリンターのプロパティ］を、その他の OS では[プロパティ]を選択します。
Windows 7 で複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、［OKI C711(PCL)］を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブで[プリンタ情報を取得する]を選択します。
USB 接続の場合は手動で［SD メモリーカード]にチェックをつけます。

(Windows XPの画面)

❹ [OK]をクリックします。

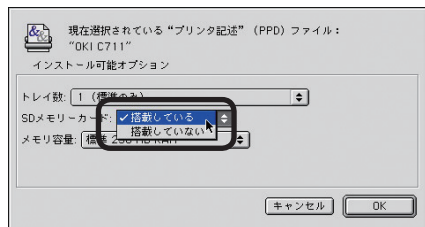
Macintoshの場合

Macintosh ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には、自動的にオプションの情報が取得されます。
プリンタドライバをインストールした後にオプションを追加した場合は、以下の手順でオプションを設定してください。

ネットワーク接続の場合

❶ [セレクタ]でプリンタを選択し、[再設定]をクリックします。

❷ [構成]をクリックします。

❸ [SD メモリーカード]で[搭載している]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ [セレクタ]を閉じます。

USB接続の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」(93 ページ) をご覧ください。

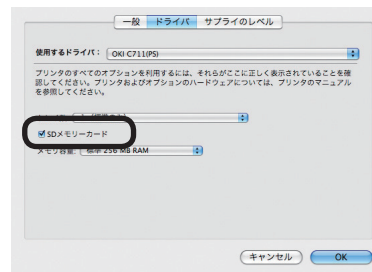
Mac OS Xの場合

Mac OS X ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、「IP プリント」や「Bonjour(Rendezvous)」で接続した場合は自動的にデバイス情報が取得されません。
「AppleTalk」で接続した場合にもプリンタドライバの追加後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下手順にてオプションを設定してください。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 をお使いの方

❶ [アップルメニュー] - [システム環境設定] を選択します。

❷ [プリントとファクス]をクリックします。プリンタを選択し、[オプションとサプライ] をクリックし、[ドライバ] タブを選択します。

❸ [SD メモリーカード] にチェックを付け、[OK]をクリックします。

Mac OS X 10.3.9～ 10.4をお使いの方

❶ ハードディスクの [アプリケーション]-[ユーティリティ]-[プリンタ設定ユーティリティ]をダブルクリックします。

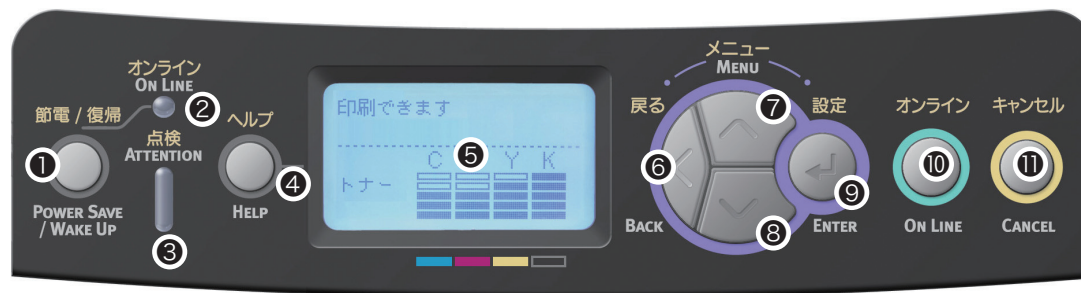
❷ プリンタを選択し、[情報を見る]をクリックし[プリンタ情報]を開きます。

❸ [インストール可能なオプション]を選択します。

❹ [SD メモリーカード]にチェックを付け、[変更を適用]をクリックします。

❺ [プリンタ情報] を閉じます。

2 操作パネルとメニューについて

操作パネル

番　号	名　称	説　明
❶	節電 / 復帰	プリンタをパワーセーブモードにしたいときや、元の状態に復帰させるとき、スリープモードから復帰したいときに押します。
❷	オンラインランプ	点灯：印刷できる状態です。 点滅 1：データを受信中です。(0.5 秒点灯、0.5 秒消灯) 点滅 2：スリープモード中です。(3 秒点灯、1 秒消灯) 消灯：データを受信できない状態です。(オフライン)
❸	点検ランプ	通常は消灯しています。 点灯：エラーが発生していますが、印刷できます。 点滅：エラーが発生していて印刷できません。
❹	ヘルプボタン	表示部に [ヘルプ] と表示しているときに押すと、エラーの解除方法を表示します。
❺	表示部	プリンタの状態を表示します。
❻	戻るボタン	メニューモード中、前の画面に戻りたいときに押します。 4 秒以上押すと、シャットダウンを開始します。
❼, ❽	メニュー選択ボタン	メニューモードに入り、表示内容を上下に進めます。
❾	設定ボタン	メニューモード中、表示した項目や値を確定します。
❿	オンラインボタン	印刷できる状態(オンライン)とオフラインを切り替えます。
⓫	キャンセルボタン	印刷をキャンセルしたいときや、メニューモードを終了したいときに押します。

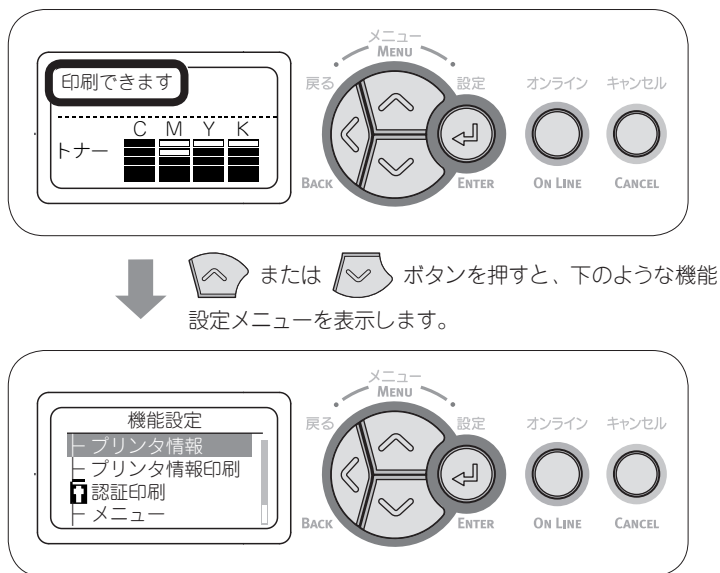
操作パネルのメニュー一覧

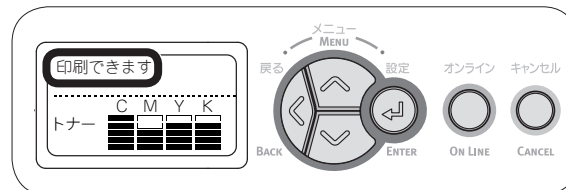
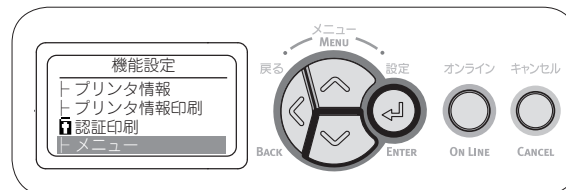
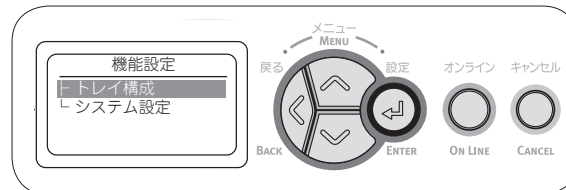
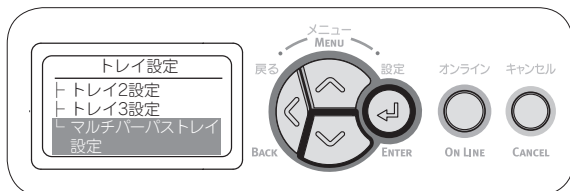
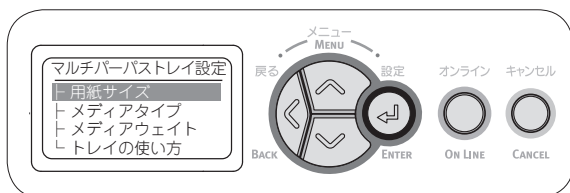
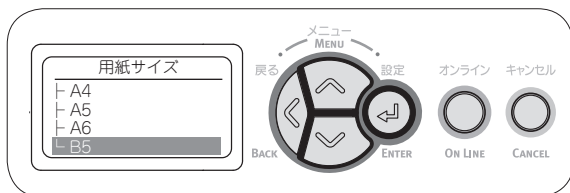
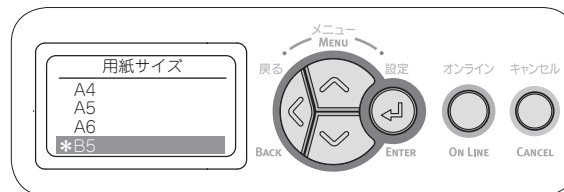
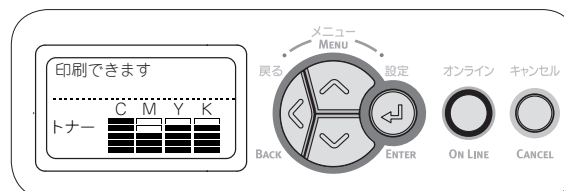
操作パネルを使って、消耗品の残量を確認したり、現在の設定を印刷したり、色の調整を行ったりします。

操作パネルで設定できる項目は、39 ページをご覧ください。

操作パネルの操作方法は、以下をご覧ください。

操作方法

または ボタンを押すと、下のような機能設定メニューを表示します。

ここでは、マルチパーパストレイの用紙サイズを B5 に設定する場合を例に説明します。

❶ 操作パネルに［印刷できます］と表示されていることを確認します。

❷ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、 設定ボタンを押します。

❸［トレイ構成］が選択されているので、 設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、 設定ボタンを押します。

❺［用紙サイズ］が選択されているので、 設定ボタンを押します。

❻ 、 ボタンで設定する用紙サイズを選択し、 設定ボタンを押します。ここでは、［B5］を選択した場合を例にしています。

❼ 設定したサイズの左側に＊が付いていることを確認します。

❽ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

これで完了です。

操作パネルに表示されるメニューの一覧表です。メニューの設定方法は、「操作方法」（37 ページ）をご覧ください。

機能設定メニュー

プリンタ情報

項　目		設定値	機　能
印刷枚数	トレイ1	xxxxxx	トレイ1から給紙した用紙の枚数を表示します。
	トレイ2*	xxxxxx	各トレイから給紙した用紙の枚数を表示します。 *: オプションのセカンドトレイ、サードトレイ装着時に表示されます。
	トレイ3*	xxxxxx	
	マルチパーパストレイ	xxxxxx	マルチパーパストレイから給紙した用紙の枚数を表示します。
消耗品残量	シアンドラム	残り xxx%	シアンドラムの残寿命を%表示します。
	マゼンタドラム	残り xxx%	マゼンタドラムの残寿命を%表示します。
	イエロードラム	残り xxx%	イエロードラムの残寿命を%表示します。
	ブラックドラム	残り xxx%	ブラックドラムの残寿命を%表示します。
	ベルト	残り xxx%	ベルトユニットの残寿命を%表示します。
	定着器	残り xxx%	定着器ユニットの残寿命を%表示します。
	シアントナー（xxK）*	残り xxx%	トナーの残量を%表示します。 *: 取り付けているトナーカートリッジの種類によって変わります。 （2.0K）: イメージドラム添付のトナーカートリッジ （4.0K）: スタータートナーカートリッジ （5.5K）: 標準トナーカートリッジ （11K）: 大容量トナーカートリッジ
	マゼンタトナー（xxK）*	残り xxx%	
	イエロートナー（xxK）*	残り xxx%	
	ブラックトナー（xxK）*	残り xxx%	
ネットワーク	プリンタ名*	xxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxx	"Printer Name"（DNSやNetwork PnPで使用するPrinter Name）を表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	ショートプリンタ名*	xxxxxxxxxxxxxxx	"Short Printer Name"（NetBEUI Computer Nameで使用されるPrinter Name）を表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定] の [TCP/IP] および [NetBEUI] のどちらかが [有効] のときに表示されます。

項　目		設定値	機　能
ネットワーク	IPv4アドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	IPアドレスを表示します。 IPアドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「192.168.100.100」が表示されます。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	サブネットマスク*	xxx.xxx.xxx.xxx	サブネットマスクを表示します。 IPアドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「255.255.255.0」が表示されます。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	ゲートウェイアドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを表示します。 IPアドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「0.0.0.0」が表示されます。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	MACアドレス	xx:xx:xx:xx:xx:xx	MACアドレス（イーサネットアドレス）を表示します。
	Network FWバージョン	xx.xx	ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。
	Web Remoteバージョン	xx.xx	Webページのバージョンを表示します。
	IPv6アドレス(ローカル)*	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx: xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:	IPv6ローカルアドレスを表示します。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が [無効]、あるいは「IPバージョン」が「IPv4」のときには表示されません。
	IPv6アドレス(グローバル)*	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx: xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:	IPv6グローバルアドレスを表示します。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が [無効]、あるいは「IPバージョン」が「IPv4」のときには表示されません。
システム情報	プリンタシリアル番号	xxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxx	プリンタのシリアル番号を表示します。
	プリンタ管理番号	xxxxxxxxx	プリンタ管理番号を表示します。 プリンタ管理番号とはユーザがプリンタ管理用に割り当てることのできる8文字の英数字です。
	CU バージョン	xx.xx	CU(Control Unit)ファームウェアの版数を表示します。

項　目		設定値	機　能
システム情報	PU バージョン	xx.xx.xx	PU(Print Unit)ファームウェアの版数を表示します。
	メモリ容量	xx MB	RAMのサイズを表示します。
	フラッシュメモリ情報	xx MB [Fxx]	フラッシュメモリのサイズを表示します。
	SDカード情報	xx.xx GB [Fxx]	SDメモリーカードのサイズと使用されているファイルシステムのバージョンを表示します。SDメモリーカードが装着されていない場合は、[未実装]と表示します。
	日付と時刻	yyyy/mm/dd hh:mm	現在の日付と時刻を表示します。表示形式は、[管理者用メニュー]-[時刻設定]-[日付の表示形式]で設定します。

プリンタ情報印刷

項　目		設定値	機　能
設定内容		印刷実行	メニュー設定値などの情報を印刷します。(設定内容印刷)
ネットワーク		印刷実行	ネットワークに関する情報を印刷します。
デモページ	DEMO1	印刷実行	デモ印刷を行います。
ファイルリスト		印刷実行	ファイルリストを印刷します。
PSフォントリスト		印刷実行	PSのフォントリストを印刷します。
PCLフォントリスト		印刷実行	PCLエミュレーションのフォントリストを印刷します。
印刷集計結果*		印刷実行	印刷利用状況の集計結果を印刷します。 *: Print Statisticsメニューの[Usage Report]が[Enable]のときに表示されます。
エラーログ		印刷実行	エラーログを印刷します。
カラープロファイルリスト		印刷実行	カラープロファイルリストを印刷します。

シャットダウン

項　目	設定値	機　能
シャットダウン開始	実行	電源オフの処理をスタートします。電源をオフにする場合は、本メニューか、または「戻る/BACK」ボタンを4秒以上押してシャットダウンしてください。

認証印刷

項　目		設定値	機　能
暗号ジョブ	パスワード入力*	******	暗号化認証印刷を行うためのパスワードを入力します。 *: オプションのSDメモリーカード装着時に表示されます。
	暗号ジョブ	ジョブがありません	印刷するデータがないときに表示します。
		印刷実行 削除	[印刷実行]を選択し、「設定」ボタンを押すと、印刷します。 [削除]を選択すると、確認画面を表示します。
保存ジョブ	パスワード入力*	******	認証印刷を行うためのパスワードを入力します。 *: オプションのSDメモリーカード装着時に表示されます。
	保存ジョブ	ジョブがありません	印刷するデータがないときに表示します。
		印刷実行 削除	[印刷実行]を選択し、「設定」ボタンを押すと、印刷します。 [削除]を選択すると、確認画面を表示します。

メニュー

項　目		設定値	機　能
トレイ構成	給紙トレイ	トレイ1 トレイ2* トレイ3* マルチパーパストレイ	給紙トレイを指定します。 *: オプションのセカンドトレイ、サードトレイ装着時に表示されます。
	自動トレイ切替	オン オフ	自動トレイ切り替え機能を設定します。
	トレイ選択順序	下方向 上方向 給紙トレイ	自動トレイ選択／自動トレイ切り換え時の、選択順序を指定します。
	表示単位	インチ ミリメートル	カスタム用紙サイズの単位を指定します。

項目			設定値	機能
トレイ構成	トレイ1設定	用紙サイズ	カセットサイズ カスタム	トレイ1の用紙を設定します。
		用紙幅*	148 ミリメートル 〜 210 ミリメートル 〜 216 ミリメートル	トレイ1のカスタム用紙の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ1設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		用紙長*	210 ミリメートル 〜 297 ミリメート 〜 356 ミリメートル	トレイ1のカスタム用紙の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ1設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		メディアタイプ	普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙1 USERTYPE1 〜 USERTYPE5	トレイ１の用紙種別を設定します。
		メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1 ごく厚い紙2	トレイ1の用紙厚を設定します。
	トレイ2設定* *: オプションのトレイ装着時に表示されます。	用紙サイズ	カセットサイズ カスタム	トレイ2の用紙を設定します。
		用紙幅*	148 ミリメートル 〜 210 ミリメートル 〜 216 ミリメートル	トレイ2のカスタム用紙の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ2設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		用紙長*	210 ミリメートル 〜 297 ミリメートル 〜 356 ミリメートル	トレイ2のカスタム用紙の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ2設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		メディアタイプ	普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙1 USERTYPE1 〜 USERTYPE5	トレイ2の用紙種別を設定します。
		メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1 ごく厚い紙2	トレイ2の用紙厚を設定します。
	トレイ3設定* *: オプションのトレイ装着時に表示されます。	用紙サイズ	カセットサイズ カスタム	トレイ3の用紙を設定します。
		用紙幅*	148 ミリメートル 〜 210 ミリメートル 〜 216 ミリメートル	トレイ3のカスタム用紙の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ3設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		用紙長*	210 ミリメートル 〜 297 ミリメートル 〜 356 ミリメートル	トレイ3のカスタム用紙の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ3設定] - [用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。
		メディアタイプ	普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙1 USERTYPE1 〜 USERTYPE5	トレイ3の用紙種別を設定します。
		メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1 ごく厚い紙2	トレイ3の用紙厚を設定します。

項　目			設定値	機　能
トレイ構成	マルチパーパストレイ設定	用紙サイズ	A4 A5 A6 B5 リーガル14 リーガル13.5 リーガル13 レター エグゼクティブ カスタム Com-9 Envelope Com-10 Envelope Monarch Envelope DL Envelope はがき 往復はがき C5 封筒 長形3号 封筒 長形4号 封筒 洋形4号 封筒 A4 インデックスカード	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。
		用紙幅*	64 ミリメートル ～ 210 ミリメートル ～ 216 ミリメートル	マルチパーパストレイのカスタム用紙の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: ［機能設定］-［メニュー］-［トレイ構成］-［マルチパーパストレイ設定］-［用紙サイズ］が［カスタム］のときに表示されます。
		用紙長*	127 ミリメートル ～ 297 ミリメートル ～ 1321 ミリメートル	マルチパーパストレイのカスタム用紙の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: ［機能設定］-［メニュー］-［トレイ構成］-［マルチパーパストレイ設定］-［用紙サイズ］が［カスタム］のときに表示されます。
		メディアタイプ	普通紙 レターヘッド 特殊用紙2 ラベル紙 ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙1 USERTYPE1 ～ USERTYPE5	マルチパーパストレイの用紙種別を設定します。

項　目			設定値	機　能
トレイ構成	マルチパーパストレイ設定	メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1 ごく厚い紙2 ごく厚い紙3	マルチパーパストレイの用紙厚を設定します。
		トレイの使い方	用紙違いの時 使用しない	マルチパーパストレイの使い方を設定します。 用紙違いの時： 用紙違い（トレイの用紙サイズ／メディアタイプが印刷データと不一致）が発生した場合、指定トレイではなく、マルチパーパストレイに用紙要求を出します。 使用しない： 自動トレイ選択／自動トレイ切り換えの両方でマルチパーパストレイを使用不可とします。 ただし、［機能設定］-［メニュー］-［トレイ構成］-［給紙トレイ］で［マルチパーパストレイ］が指定されている場合は、「使用しない」が選択されていても、自動トレイ選択／自動トレイ切替の両方でマルチパーパストレイを使用します。
	両面最終ページ		白紙スキップ 常時印刷	ページ数が奇数の場合に両面印刷した時の動作を設定します。 白紙スキップの時：最終ページは片面印刷します。 常時印刷の時：常に両面印刷します。
システム設定	パワーセーブ移行時間		1 分 2 分 3 分 4 分 5 分 10 分 15 分 30 分 60 分 120 分 180 分	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。

項 目		設定値	機 能
システム設定	スリープ移行時間	1 分 2 分 3 分 4 分 5 分 10 分 15 分 30 分 60 分 120 分 180 分	パワーセーブモードからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。
	アラーム解除	オンライン ジョブ	クリア可能なワーニングの表示消去タイミングを設定します。
	エラー自動解除	オン オフ	メモリオーバーフロー、トレイリクエスト発生時、自動的にプリンタを復旧させるか否かを設定します。
	マニュアルタイムアウト	オフ 30 秒 60 秒	手差し印刷時の用紙供給を待つ時間を設定します。 この指定時間内に用紙がセットされない場合は、ジョブをキャンセルします。
	タイムアウト印刷	オフ 5 秒 10 秒 20 秒 30 秒 40 秒 50 秒 60 秒 90 秒 120 秒 150 秒 180 秒 210 秒 240 秒 270 秒 300 秒	データを受信しなくなってから強制印刷を行うまでの時間を設定します。 PSの場合、印刷は実行せずジョブキャンセルされます。
	トナーロー時の印刷	継続 中止	トナーロー検出時のプリンタ動作を設定します。 ［継続］時はオンラインのままで印刷継続可能です。 ［中止］時はオフラインになります。
	ジャムリカバー	オン オフ	ジャム時にリカバリ印刷を行うかを設定します。 ［オフ］時は発生したページを含むジョブをキャンセルします。
	エラーレポート	オン オフ	内部エラー発生時にエラーレポートを印刷するか設定します。PS, PCLXL, XPSに対してだけ有効。

項 目			設定値	機 能
システム設定	印刷位置補正	X補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ∫ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ∫ -0.25 ミリメートル	印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します（0.25mm間隔）。
		Y補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ∫ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ∫ -0.25 ミリメートル	印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向（縦方向）に補正します（0.25mm間隔）。
		両面印刷X補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ∫ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ∫ -0.25 ミリメートル	両面印刷時の表面印刷時（両面印刷ユニットから給紙して印刷する面の印刷時）に印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します（0.25mm間隔）。
		両面印刷Y補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ∫ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ∫ -0.25 ミリメートル	両面印刷時の表面印刷時（両面印刷ユニットから給紙して印刷する面の印刷時）に印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向（縦方向）に補正します（0.25mm間隔）。 PSではマイナス方向は無効。
	普通紙ブラック設定		0 +1 +2 -2 -1	普通紙使用時のブラックの見た目の弱さやわずかにシミ・スジといったものが目立ってきた場合に微調整を行う機能です。わずかなシミ・スジ、および濃度の高い部分が薄く印刷される場合には値を下げます。
	普通紙カラー設定		0 +1 +2 -2 -1	普通紙使用時のカラーの見た目の弱さやわずかにシミ・スジといったものが目立ってきた場合に微調整を行う機能です。わずかなシミ・スジ、および濃度の高い部分が薄く印刷される場合には値を下げます。
	特殊用紙2ブラック設定		0 +1 +2 -2 -1	特殊用紙2使用時のブラックの見た目の弱さやわずかにシミ・スジといったものが目立ってきた場合に微調整を行う機能です。わずかなシミ・スジ、および濃度の高い部分が薄く印刷される場合には値を下げます。

項　目		設定値	機　能
システム設定	特殊用紙2カラー設定	0 +1 +2 -2 -1	特殊用紙2使用時のカラーの見た目の弱さやわずかにシミ・スジといったものが目立ってきた場合に微調整を行う機能です。わずかなシミ・スジ、および濃度の高い部分が薄く印刷される場合には値を下げます。
	SMR 設定	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	画質にむらがある場合に値を変更します。
	BG 設定	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	下地が濃い場合に値を変更します。
	ドラムクリーニング	オン オフ	横白筋を軽減するため印刷前にドラム空まわしを行なうかどうかを設定します。
	ヘキサダンプ	実行	受信したデータを16進数の形式で印刷出力します。

管理者用メニュー

項　目		設定値	機　能
パスワード入力		xxxxxxxxxxxx	管理者用メニューに入るためのパスワードを入力します。パスワードは6～12桁の数字および英小文字で、初期値は“aaaaaa”です。
ネットワーク設定	TCP/IP	有効 無効	TCP/IPプロトコルの有効/無効を設定します。
	IPバージョン*	IP v4 IP v4+v6 IP v6	IPのバージョンを設定します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	NetBEUI	有効 無効	NetBEUIプロトコルの有効/無効を設定します。
	NetBIOS over TCP*	有効 無効	NetBIOS over TCPプロトコルの有効/無効を設定します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］かつ［IPバージョン］が［IPv6］以外のときに表示されます。
	NetWare	有効 無効	NetWareプロトコルの有効/無効を設定します。
	EtherTalk	有効 無効	EtherTalkプロトコルの有効/無効を設定します。
	フレームタイプ*	自動 802.2 802.3 Ethernet II SNAP	NetWareで使用するフレームタイプを設定します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［NetWare］が［有効］のときに表示されます。
	IPアドレス設定*	自動 手動	IPアドレスの設定方法を設定します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］かつ［IPバージョン］が［IPv6］以外のときに表示されます。
	IPv4アドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	IPアドレスを設定します。 IP アドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「192.168.100.100」が表示されます。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］かつ［IPバージョン］が［IPv6］以外のときに表示されます。
	サブネットマスク*	xxx.xxx.xxx.xxx	サブネットマスクを設定します。IPアドレス設定でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「255.255.255.0」が表示されます。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］かつ［IPバージョン］が［IPv6］以外のときに表示されます。
	ゲートウェイアドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	ゲートウェイ(デフォルトルータ)アドレスを設定します。IPアドレス設定が自動でIPアドレスが自動取得できなかった場合、「0.0.0.0」が表示されます。 0.0.0.0はルータ無しを意味します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］かつ［IPバージョン］が［IPv6］以外のときに表示されます。
	Web*	有効 無効	Webの有効/無効を設定します。 *:［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。

項　目		設定値	機　能
ネットワーク設定	Telnet*	有効 無効	Telnetの有効/無効を設定します。 *: ［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	FTP*	有効 無効	FTPの有効/無効を設定します。 *: ［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	IPSec*	有効 無効	IPSecを無効へ変更することができます。IPSecを有効にするには、Webから設定を行います。 *: ［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP］が［有効］のときに表示されます。
	SNMP*	有効 無効	SNMPの有効/無効を設定します。 *: ［機能設定］-［管理者用メニュー］-［ネットワーク設定］の［TCP/IP］および［NetWare］のどちらかが［有効］のときに表示されます。
	ネットワークの規模	普通 小規模	［普通］の時は、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率良く動作します。但し、コンピュータが2, 3台の小さなLANに接続すると、プリンタの起動時間が長くなります。［小規模］の時は、コンピュータが2, 3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率良く動作出来ない場合があります。
	ハブとの接続	自動 100Base-TX Full 100Base-TX Half 10Base-T Full 10Base-T Half	ハブとの接続方法を設定します。
	工場出荷時設定	実行	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。

項　目		設定値	機　能
印刷設定	動作モード	自動 PostScript PCL XPS	プリンタ言語を選択します。
	コピー枚数	1 〜 999	コピー枚数を設定します。 ローカル印刷には、デモデータを除き、本設定は効きません。
	両面印刷	オン オフ	両面印刷を指定します。 両面ユニット装着時に表示されます。
印刷設定	綴じ方*	長辺綴じ 短辺綴じ	両面印刷の綴じ方を指定します。 *: ［機能設定］-［管理者用メニュー］-［印刷設定］-［両面印刷］が［オン］のときに表示されます。
	用紙チェック	有効 無効	印刷データの用紙サイズとトレイの用紙サイズの不整合をチェックするか否かを設定します。定型サイズの用紙のみがチェック対象です。
	解像度	600dpi 600x1200dpi 600dpi multi-level	解像度を設定します。
	トナーセーブモード	オン オフ	トナーセーブのオン/オフを設定します。
	モノクロ印刷速度	自動 カラー印刷速度 普通印刷速度	モノクロページの印刷速度を設定します。［自動］の場合、最適な印刷速度で印刷を行います。［カラー印刷速度］の場合、常にカラーの印刷速度で印刷します。［普通印刷速度］の場合、常にモノクロ用印刷速度で印刷します。
	印刷方向	縦 横	印刷方向を設定します。 PSには無効です。
	1ページ行数	5 行 〜 64 行 〜 128 行	1ページに印字可能な行数を設定します。 PSには無効です。左記の初期値は、A4での値です。実際にはトレイにセットされている用紙サイズに連動して値が変わります。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

項　目		設定値	機　能
印刷設定	編集サイズ	カセットサイズ A4 A5 A6 B5 リーガル14 リーガル13.5 リーガル13 レター エグゼクティブ カスタム Com-9 Envelope Com-10 Envelope Monarch Envelope DL Envelope はがき 往復はがき C5 封筒 長形3号 封筒 長形4号 封筒 洋形4号 封筒 A4 インデックスカード	ホストから用紙編集サイズ指定コマンドによるサイズ指定がなかった場合に描画する領域のサイズを設定します。 PSには無効です。
	トラッピング	オフ 狭い 広い	トラッピングを設定します。
	用紙幅	64 ミリメートル 〜 210 ミリメートル 〜 216 ミリメートル	カスタム用紙の用紙幅の初期値を設定します。幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。
	用紙長	127 ミリメートル 〜 297 ミリメートル 〜 1321 ミリメートル	カスタム用紙の用紙長さの初期値を設定します。長さとは用紙走行方向です。

項　目		設定値	機　能
PS設定	Networkプロトコル	ASCII RAW	ネットワークからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。(RAWモード時、Ctrl-Tは無効になります)
	パラレルプロトコル	ASCII RAW	パラレルからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。(RAWモード時、Ctrl-Tは無効になります)
	USBプロトコル	ASCII RAW	USBからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。(RAWモード時、Ctrl-Tは無効になります)
PCL設定	使用フォント	内蔵フォント 内蔵フォント2 ダウンロードフォント	PCLデフォルトフォントのロケーションを指定します。
	フォントNo.	I0 C1 S1	PCLフォント番号を設定します。
	フォントピッチ	0.44　CPI 〜 10.00 CPI 〜 99.99 CPI	PCLデフォルトフォントの幅を設定します。CPIは、1インチあたりの文字数を表します。
	フォントサイズ	4.00 ポイント 〜 12.00 ポイント 〜 999.75 ポイント	PCLデフォルトフォントの高さを設定します。［フォントNo.］で選択されたフォントが比例スペーシングのスケーラブルフォントである場合のみ表示します。

項目		設定値	機能
PCL設定	シンボルセット	PC-8 PC-8 Dan/Nor PC-8 Grk PC-8 TK PC-775 PC-850 PC-851-Grk PC-852 PC-855 PC-857 TK PC-858 PC-862 Heb PC-864 L/A PC-866 PC-866 Ukr PC-869 PC-1004 Pi Font Plska Mazvia PS Math PS Text Roman-8 Roman-9 Roman Ext Serbo Croat1 Serbo Croat2 Spanish Ukrainian VN Int'l VN Math VN US Win 3.0 Win 3.1 Arb Win 3.1 L/G Win 3.1 Blt Win 3.1 Cyr Win 3.1 Grk Win 3.1 Heb Win 3.1 L1 Win 3.1 L2 Win 3.1 L5 Wingdings Dingbats MS Symbol OCR-A OCR-B OKI-OCRB	PCLのシンボルセットを設定します。

項目		設定値	機能
PCL設定	シンボルセット	HP ZIP USPSFIM USPSSTP USPSZIP Arabic-8 Bulgarian CWI Hung DeskTop German Greek-437 Greek-437 Cy Greek-737 Greek-8 Greek-928 Hebrew NC Hebrew OC Hebrew-7 Hebrew-8 IBM-437 IBM-850 IBM-860 IBM-863 IBM-865 ISO Dutch ISO L1 ISO L2 ISO L4 ISO L5 ISO L6 ISO L9 ISO Swedish1 ISO Swedish2 ISO Swedish3 ISO-2 IRV ISO-4 UK ISO-6 ASC ISO-10 S/F ISO-11 Swe ISO-14 JASC ISO-15 Ita ISO-16 Por ISO-17 Spa ISO-21 Ger ISO-25 Fre ISO-57 Chi ISO-60 Nor	PCLのシンボルセットを設定します。

項目		設定値	機能
PCL設定	シンボルセット	ISO-61 Nor ISO-69 Fre ISO-84 Por ISO-85 Spa ISO-Cyr ISO-Grk ISO-Hebrew Kamenicky Legal Math-8 MC Text MS Publish PC Ext D/N PC Ext US PC Set1 PC Set2 D/N PC Set2 US WIN3.1J	PCLのシンボルセットを設定します。
	A4印字幅	78 桁 80 桁	PCLでA4用紙の自動改行する桁数設定します。但し、10CPIのキャラクタで、自動復帰改行モードOFFの場合の数値です。
	白紙ページ除外	オン オフ	PCLでFFコマンド(0CH)を受信時に、印刷するデータが無いページ(白紙)を印刷しないようにすることができます。 ［オフ］で印刷します。
	CR動作	CRのみ CR+LF	PCLでCRコード受信時の動作を設定します。 ［CRのみ］は復帰です。 ［CR+LF］は復帰改行です。
	LF動作	LFのみ LF+CR	PCLでLFコード受信時の動作を設定します。 ［LFのみ］は改行です。 ［LF+CR］は改行復帰です。
	印刷領域	ノーマル 1/5 インチ 1/6 インチ	用紙の印刷不可能領域を設定します。
	イメージ黒選択	単色黒 混合黒	イメージデータの黒をCMYK混色で印刷するかブラックトナーのみで印刷するかを設定します。 PSには無効です。
	ペン幅補正	オン オフ	細い線を見えるように補正します。 PSには無効です。

項目			設定値	機能
PCL設定	トレイ　ID#	トレイ2*	1 〜 5 〜 59	PCL5の給紙先指定コマンド(ESC&l#H)において、トレイ2指定の番号を設定します。 *：オプションのトレイユニット装着時のみ表示されます。
		トレイ3*	1 〜 20 〜 59	PCL5の給紙先指定コマンド(ESC&l#H)において、トレイ3指定の番号を設定します。 *：オプションのトレイユニット装着時のみ表示されます。
		マルチパーパストレイ	1 〜 4 〜 59	PCL5の給紙先指定コマンド(ESC&l#H)において、マルチパーパストレイ指定の番号を設定します。
カラー設定	インクシミュレーション		オフ SWOP Euroscale Japan	プリンタで標準印刷色をシミュレートします。本機能はPS言語ジョブに対してのみ有効です。
	UCR		少ない 普通 多い	カラー印刷するときの墨版(黒)の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の3色のトナー量の節約にもなります。
	CMY100%濃度		有効 無効	CMY100%階調値に対する100%出力を有効とするかどうかを選択します。
	CMYK変換		オン オフ	［オフ］の場合、PostScript印刷でCMYKデータの変換処理を簡易に行い、処理時間を短くできます。
メモリ設定	受信バッファサイズ		自動 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32 MB*	受信バッファサイズを設定します。 *：メモリ容量により表示されない設定値があります。

項目			設定値	機能
メモリ設定	リソースセーブエリア		自動 オフ 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32 MB*	フォントキャッシュエリアのサイズを設定します。 *: メモリ容量により表示されない設定値があります。
フラッシュメモリ設定*3	初期化		実行	フラッシュメモリを初期化します。
SDカード設定*4	初期化		実行	SDメモリーカードを工場出荷状態に初期化します。
	パーティション変更	PCL xx%	xx %	パーティションのサイズを設定します。
		共通 xx%	xx %	
		PS xx%	xx %	
		＜適用＞		
	フォーマット		PCL 共通 PS	指定パーティションのフォーマットを行います。
システム設定	ニアライフ時のステータス		有効 無効	ドラム、定着器、ベルトのニアライフワーニング発生時のLCD表示制御の設定を行います。
	ニアライフ時のLED		有効 無効	トナー、ドラム、定着器、ベルトのニアライフワーニング発生時のLED点灯制御の設定を行います。

*3 [Boot Menu]-[Storage Setup]-[Enable Initialization]が[Yes]のときに表示されます。
*4 [Boot Menu]-[Storage Setup]-[Enable Initialization]が[Yes]で、オプションの SD メモリーカード装着時に表示されます。

項目		設定値	機能
時刻設定	日付の表示形式	yyyy/mm/dd mm/dd/yyyy dd/mm/yyyy	日付の表示形式を設定します。
	タイムゾーン	-11:15 -11:00 ～ -1:00 -0:45 -0:30 -0:15 +0:00 +0:15 +0:30 +0:45 +1:00 ～ +12:15 +12:30 +12:45 +13:00	タイムゾーンを設定します。
	夏時間	オン オフ	夏時間のオン/オフを設定します。 オンの場合、現在時刻を 1 時間進めます。 オフの場合、現在時刻を 1 時間戻します。
	時刻設定	2000/01/01 00:00 ～ 2009/01/01 00:00 ～ 2091/12/31 23:59	時刻を設定します。 日付は、[日付の表示形式] で設定した形式で表示します。 現在の時刻が表示されます。異なる場合は再設定してください。
パスワード変更	新しいパスワード	xxxxxxxxxxxx	[管理者用メニュー] に入るための新しいパスワードを設定します。
	パスワードの再入力	xxxxxxxxxxxx	[新しいパスワード] で設定した、[管理者用メニュー] メニューに入るための新しいパスワードを確認入力します。
設定値	出荷時に戻す	実行	CUのEEPROMをリセットします。ユーザメニュー設定を工場出荷時状態に戻します。
	設定の保存	実行	現在のメニュー設定を保存します。
	設定の呼び出し	実行	保存しているメニュー設定に変更します。

プリンタ調整

項　目		設定値	機　能
自動濃度補正モード		オン オフ	濃度補正と階調補正を自動で行うかを選択します。 オンの場合：エンジンが規定する所定の条件で自動的に濃度補正を実行し、階調補正に反映します。 オフの場合：自動的に濃度補正を行いません。濃度補正を行いたいときは、[濃度補正]メニューを選択し、実行します。
濃度補正		実行	実行を選択すると、濃度補正行います。 プリンタが処理を行っていないときに実行してください。
色ずれ補正		実行	このメニューを選択すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。 プリンタが処理を行っていないときに実行してください。
調整パターン印刷		実行	カラー調整のためのパターンを印刷します。
シアン調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンのハイライト部(薄い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンのダーク部(濃い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。

項　目		設定値	機　能
マゼンタ調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタのハイライト部(薄い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタのダーク部(濃い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
イエロー調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローのハイライト部(薄い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。

項　目		設定値	機　能
イエロー調整	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローのダーク部(濃い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
ブラック調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックのハイライト部(薄い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックのダーク部(濃い領域)を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
シアン濃度		+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃度を調整します。

項　目	設定値	機　能
マゼンタ濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの濃度を調整します。
イエロー濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの濃度を調整します。
ブラック濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの濃度を調整します。

Boot Menu

Boot Menu を表示するには、 設定ボタンを押しながら、電源スイッチを入れます。

Boot Menu を表示するには、パスワードの入力が必要です。パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

分類	項　目	設定値	機　能
	Enter Password	************	Boot Menuに入るためのパスワードを入力します。パスワードは、6～12桁の数字および英小文字で、初期値は“aaaaaa”です。
Parallel Setup	Parallel	Enable Disable	パラレルインタフェースの有効/無効を設定します。
	Bi-Direction	Enable Disable	パラレルインタフェースの双方向の有効/無効を設定します。
	ECP	Enable Disable	ECPモードの有効/無効を設定します。
	Ack Width	Narrow Medium Wide	コンパチ受信時のACK幅を設定します。 NARROW ＝0.5μs MEDIUM ＝1.0μs WIDE ＝3.0μs
	Ack/Busy Timing	Ack in Busy Ack while Busy	コンパチ受信時のBUSY信号とACK信号の出力順序を設定します。
	I-Prime	3 microseconds 50 microseconds Disable	I- PRIME信号の有効時間/無効を設定します。
	Offline Receive	Enable Disable	アラームが発生してもI/F信号を変化させずに、受信可の状態を保つ機能の有効/無効を設定します。
USB Setup	USB	Enable Disable	USBインタフェースの有効/無効を設定します。
	Speed	480Mbps 12Mbps	USBインタフェースの最大転送速度を設定します。
	Soft Reset	Enable Disable	Soft Reset コマンドの有効/無効を設定します。
	Offline Receive	Enable Disable	アラームが発生してもI/F信号を変化させずに、受信可の状態を保つ機能の有効/無効を設定します。
	Serial Number	Enable Disable	USBシリアルナンバーの有効/無効を指定します。
Security Setup	Job Limitation	Off Encrypted Job	受け付けるジョブを制限します。暗号化認証印刷のみ受け付けます。 オプションのSDメモリーカード装着時に表示します。
	Make Secure SD Card	Execute	SDメモリーカードへ格納するデータの暗号化機能を有効にします。 実行すると下記の確認メッセージを表示します。 Are You Sure? Yes No Noが選択された場合は、元のメニュー表示に戻ります。Yesが選択された場合は自動的にリブートし、暗号化機能を有効にします。SDメモリーカードの初期化も行われます。 オプションのSDメモリーカードを装着し、暗号化SDメモリーカード機能が無効であり、［Storage Setup］-［Enable Initialization］がYesのときに表示します。
	Make Normal SD Card	Execute	SDメモリーカードへ格納するデータの暗号化機能を無効にします。 実行すると下記の確認メッセージを表示します。 Are You Sure? Yes No Noが選択された場合は、元のメニュー表示に戻ります。Yesが選択された場合は自動的にリブートし、暗号化機能を無効にします。SDメモリーカードの初期化も行われます。 オプションのSDメモリーカードを装着し、暗号化SDメモリーカード機能が無効であり、［Storage Setup］-［Enable Initialization］がYesのときに表示します。
	Reset Cipher Key	Execute	暗号化SDメモリーカードで使用される暗号鍵を再生成します。SDメモリーカードの初期化も行われます。 オプションのSDメモリーカード装着時で、暗号化SDメモリーカード機能が有効なときに表示します。

分類	項　目	設定値	機　能
Storage Setup	Check File System	Execute	ファイルシステムの実(空き)容量と表示空き容量の不整合の解決と管理データ(FAT情報)の修復を行います。
	Check All Sectors	Execute	SDメモリーカードのセクタ情報不良の修復と上記ファイルシステムの不整合の修復を行います。
	Enable SD Card	No Yes	SDメモリーカードが破損して装着時に起動不可の場合に、Noに設定することでSDメモリーカードの有無に関わらず、SDメモリーカードを未装着扱いで装置起動します。
	Erase SD Card	Execute	SDメモリーカードに格納されている全データを復元できないように消去します。 オプションのSDメモリーカード装着時に表示します。
	Enable Initialization *	No Yes	SDメモリーカード、フラッシュメモリについて、初期化を伴う変更をできないようにします。
Power Setup	Peak Power Control	Normal Low	低ピーク電力制御をする/しないを設定します。 低ピーク電力制御をLowに設定した場合、最大消費電力は低下しますが、印刷品質は低下します。
	Power Save	Enable Disable	パワーセーブモードの有効/無効を設定します。
	Sleep	Enable Disable	スリープモードの有効/無効を設定します。
	USB Host Power	Off On	パワーセーブモード中のUSB-HOSTに対しての電力供給を設定します。 Offの時、電力供給を抑えます。 Onの時、通常の電力を供給します。
Language Setup	Language Initialize	Execute	フラッシュメモリ内のメッセージファイルを消去します。
System Setup	High Humid Mode	Off On	吸湿した用紙（*）で印刷したとき、印刷した用紙のカールが大きい場合は、Onに設定してください。 On にすると、印刷前のウォームアップ時間が少し長くなることがあります。 （*）吸湿した用紙とは、高湿度環境に放置された用紙のことです。

[Power Save]を[Disable]に設定した状態で、長時間ご使用になると、電子部品（ファンなど）の寿命に影響を与える可能性があります。

Print Statistics

Print Statistics を表示するには、 戻るボタンを押しながら、電源スイッチを入れます。

メモ　Print Statistics を表示するには、パスワードの入力が必要です。パスワードの初期値は「0000」です。

分類	項　目	設定値	機　能
Print Statistics	Enter Password	****	印刷集計メニューに入るためのパスワードを入力します。パスワードの初期値は“0000”です。
	Usage Report	Enable Disable	Usage Reportの有効/無効を設定します。 設定を変更すると、このメニューを終了します。
	Group Counter	Enable Disable	Usage Report Printにグループカウンタを表示/非表示を設定します。
	Supplies Report	Enable Disable	消耗品交換回数の表示/非表示を設定します。 [Enable] の場合、メンテナンスカウンタも表示します。
	Reset Main Counter	Execute	メインカウンタをリセットします。 実行すると下記の確認のメッセージを表示します。 Are You Sure? Yes No Noが選択された場合は、元のメニュー表示に戻ります。Yesが選択された場合はメインカウンタをゼロにし、メニューを終了します。
	Reset Group Counter	Execute	グループカウンタをリセットします。 実行すると下記の確認のメッセージを表示します。 Are You Sure? Yes No Noが選択された場合は、元のメニュー表示に戻ります。Yesが選択された場合はグループカウンタをゼロにし、メニューを終了します。

分類	項　目	設定値	機　能
Print Statistics	Reset Supplies Counter	Execute	消耗品交換回数をリセットします。（メンテナンスカウンタはリセットされません） 実行すると下記の確認メッセージを表示します。 Are You Sure? Yes No Noが選択された場合は、元のメニュー表示に戻ります。Yesが選択された場合は消耗品交換回数をゼロにし、メニューを終了します。
	Change Password		パスワードを変更します。
	New Password	××××	［Print Statistics］メニューに入るための新しいパスワードを設定します。
	Verify Password	××××	［New Password］で設定した、新しいパスワードを再入力します。

3 ネットワーク接続で Windows にセットアップします

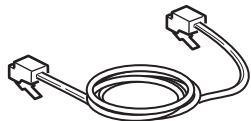
動作環境

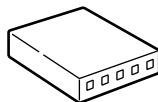
- Windows 7/Windows 7(64bit 版)
  Windows 7 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows Server 2008 R2
  Windows Server 2008 R2 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows Vista/Windows Vista(64bit 版)
  Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows Server 2008/Windows Server 2008 (64bit 版)
  Windows Server 2008 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows XP/Windows XP (x64版)
  Windows XP 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows Server 2003/Windows Server 2003 (x64版)
  Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows 2000
  Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ

- XPS プリンタドライバは、Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 ではご利用いただけません。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

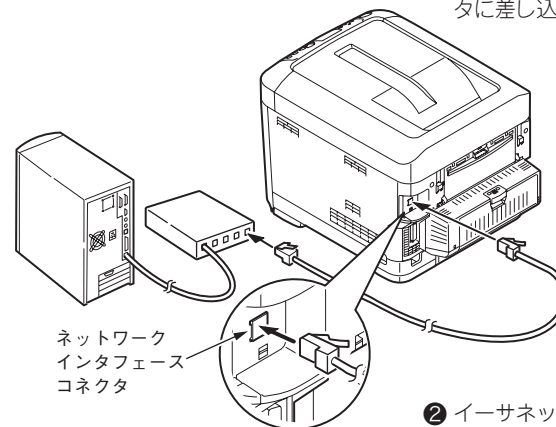
プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ

プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（19 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

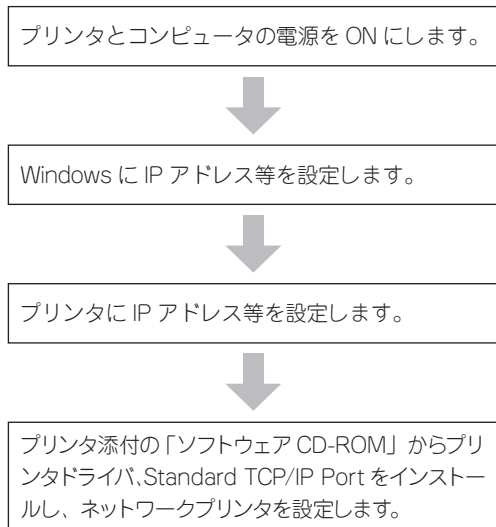
Windows にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、Standard TCP/IP Port をインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上に DHCP サーバ、もしくは BOOTP サーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「設定内容印刷をします」（20 ページ）をご覧ください。

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりインターネットに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ（DHCP など）は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップには管理者の権限が必要です。
- ここでは、特に表記がない限り、Windows 7 での操作方法を記載しています。OS によって画面や操作手順が異なる場合があります。

メモ コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows 7 Home Premium Edition
プリンタ	: C711dn2
IP アドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

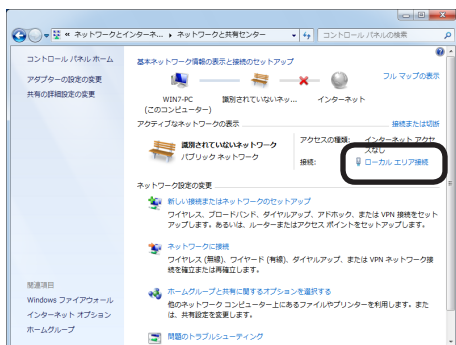
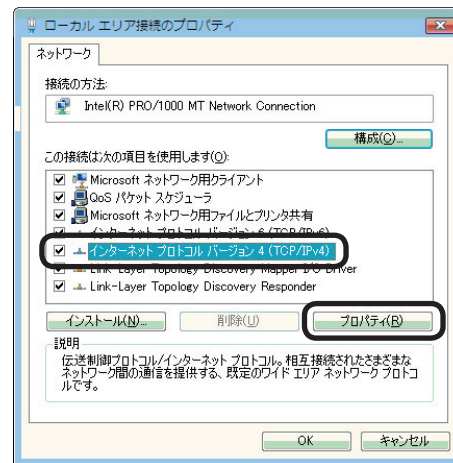
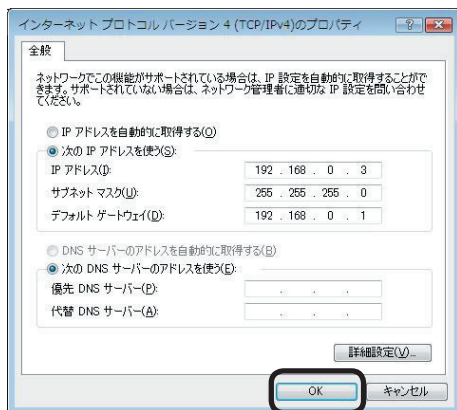
2 Windows に IP アドレス等を設定します。

すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3「プリンタに IP アドレス等を設定します」（61 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。
Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークと共有センター］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット接続］-［ネットワーク接続］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［ネットワークと共有センター］を選択します。

❸ Windows Vista/Windows Server 2008 では［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

❹［ローカルエリア接続］をクリック（Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 では、［ローカルエリア接続］をダブルクリック）し、「ローカルエリア接続の状態」画面の［プロパティ］をクリックします。「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら［続行］をクリックします。

❺［インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、［IP アドレスを自動的に取得する］を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❼［ローカルエリア接続］を閉じます。

❽［ローカルエリア接続のプロパティ］で［OK］をクリックします。

❾「ローカルエリア接続の状態」画面で［閉じる］をクリックします。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

メモ　すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「プリンタドライバをインストールします」(62 ページ)へ進みます。

❶ 操作パネルに［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ボタンを数回押し、［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❸ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目の英小文字または数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。
最後に設定ボタンを押します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❹ ボタンまたはボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して［IPv4 アドレス］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンまたはボタンを押し、IP アドレスの 1 桁目を設定します。ボタンを 2 秒以上押すと、早送りします。

❼ 設定ボタンを押します。

❽ ❻〜❼を繰り返し、全ての桁を設定します。

❾ 4 桁目を設定すると設定した値の左側に＊がつきます。

❿ 戻るボタンを押します。

⓫［IPv4 アドレス］と同様に、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

⓬ オンラインボタンを押します。

プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

4 プリンタドライバをインストールします。

プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 復帰」ボタンを押し、［印刷できます］が表示されることを確認してください。

❶ プリンタの電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。

❸［ユーザーアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❹「モデルの選択」でプリンタの機種名を選択し、［次へ］をクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

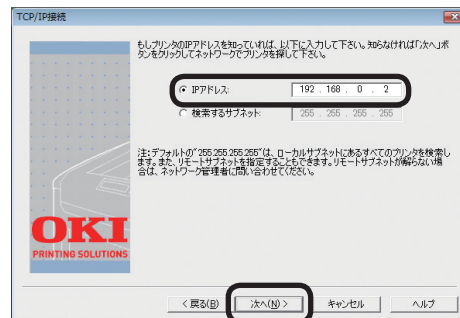
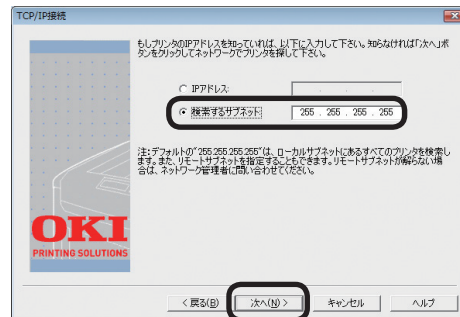
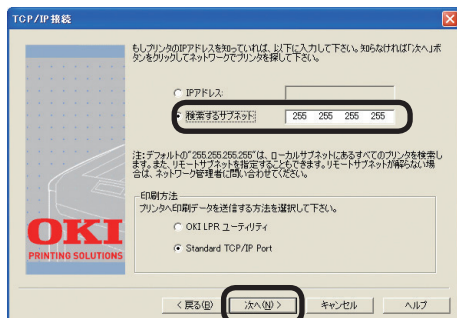
メモ　画面を閉じる場合は、［終了］または右上の×をクリックします。

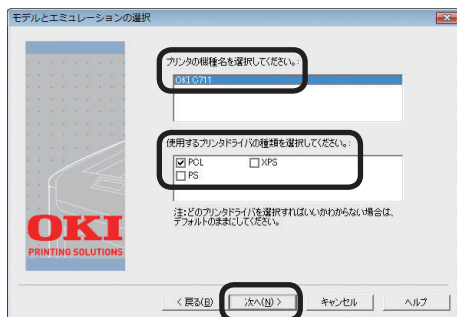
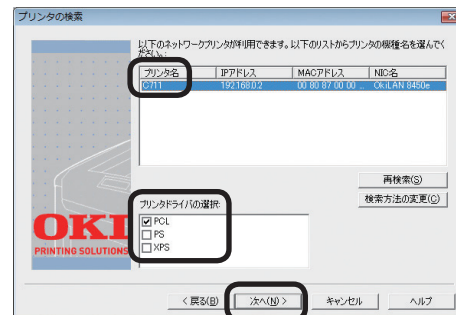
❻［ドライバのインストール］をクリックします。

❼［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

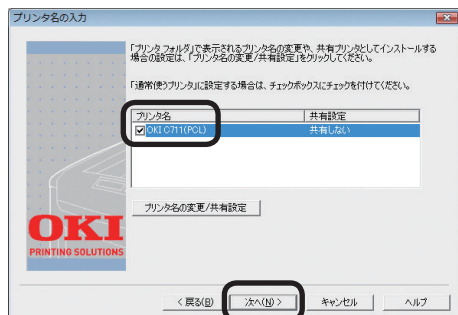
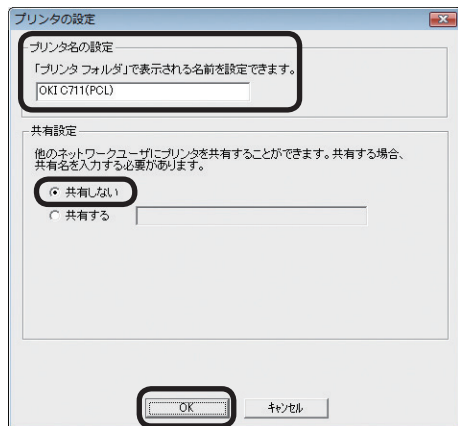
メモ　USB で接続する場合は、「USB 接続で Windows にセットアップします」（69 ページ）をご覧ください。

❽［TCP/IP プロトコル］を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ 手順 3（61 ページ）で設定したプリンタの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

プリンタの IP アドレスが自動取得の場合や、IP アドレスがわからない場合は、［検索するサブネット］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 をお使いの方

- IP アドレスを自動取得したい場合には、［印刷方法］で OKI LPR ユーティリティを選択してください。
- ドライバインストール後、OKI LPR ユーティリティを起動し、［オプション］-［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］をチェックしてください。（詳細はユーザーズマニュアル（応用編）を参照してください。）

⓾ 手順❾でプリンタの IP アドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

- ドライバには以下の 3 種類があります。お使いの環境に合わせて選択します。
  PS ： PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。
  PCL ：ビジネス文書の印刷に適しています。
  XPS ：XPS 対応アプリケーションからの印刷に適しています。
- 複数のドライバの種類を選択し、同時にインストールすることができます。

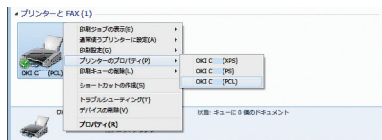
XPS プリンタドライバは、Windows XP/Windows Server 2003/ Windows 2000 ではご利用いただけません。

⓫ 一覧中のチェックボックスにチェックを付け、[次へ] をクリックします。プリンタ名の変更や、共有設定を行う場合は、[プリンタ名の変更 / 共有設定] をクリックします。共有設定を行わない場合は⓭に進みます。

⓬ プリンタ名を入力し、[共有しない] を選択し、[OK] をクリックします。

⓭ ドライバと Standard TCP/IP と Network Extension と色見本印刷ユーティリティがインストールされます。
[Windows セキュリティ] 画面が表示されたら、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 の場合に、「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

⓮「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する] を選択し、[完了] をクリックします。Windows が再起動します。

⓯「インストール完了」の画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

⓰ [スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。
Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
[プリンタ] または [プリンタと FAX] フォルダにアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

Windows 7/Server 2008 R2 では、複数のプリンタドライバをインストールしても、表示されるアイコンは 1 つです。
インストールしたプリンタドライバを確認するには、プリンタアイコンを選択し、右クリックで［プリンターのプロパティ］の［▶］にマウスを合わせ、プリンタドライバを選択します。

インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 では、複数のドライバをインストールした場合は、インストールした数分のアイコンが追加されます。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- ネットワークインタフェースコネクタのリンク 100M/10M ランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は､ネットワークが正常に動作していない状態です。
- ステータスランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのリンクランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの［ハブとの接続］を［10BASE-T HALF］に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ボタンを数回押し、［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目の数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

最後に設定ボタンを押します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺ ボタンまたはボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して［ハブとの接続］を選択し、設定ボタンを押します。

❼ ［10Base-T Half］を選択し、設定ボタンを押します。

❽ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- Windows 7/Windows Server 2008 R2 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークの状態とタスクの表示］を選択します。
  Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット接続］-［ネットワーク接続］を選択します。
  Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークの状態とタスクの表示］-［ネットワーク接続の管理］を選択します。
  Windows Server 2003 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］を選択します。
  Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。
  ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）］または［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が表示されていることを確認します。
- ［インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）］または［インターネットプロトコル（TCP/IP）］の［プロパティ］をクリックし、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］が正しいことを確認します。
- セットアップ時に IP アドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これは Windows の仕様によるものです。
- ［デバイスとプリンター］または［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから、［OKI C711 (ドライバの種類)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンタのプロパティ］または［プロパティ］を選択します。
  Windows7 で複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、［OKI C711(ドライバの種類)］を選択します。［ポート］タブの［ポートの構成］をクリックして［プリンタ名または IP アドレス］が、プリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。
- 「OKI LPR ユーティリティ」画面で、［使用しているプリンタ］を選択してから［リモートプリントメニュー］-［プリンタの再設定］を選択し、［IP アドレス］がプリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPR ユーティリティの最新版は沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPR ユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

［IP アドレス］	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
［サブネットマスク］	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
［ゲートウェイ］	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

4 USB 接続で Windows にセットアップします

動作環境

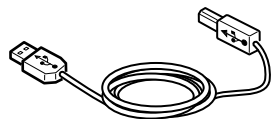
- Windows 7/Windows 7（64bit 版）
  Windows 7 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows Server 2008 R2
  Windows Server 2008 R2 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows Vista/Windows Vista（64bit 版）
  Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows Server 2008/Windows Server 2008（64bit 版）
  Windows Server 2008 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows XP/Windows XP（x64版）
  Windows XP 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows Server 2003/Windows Server 2003（x64版）
  Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
- Windows 2000
  Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ

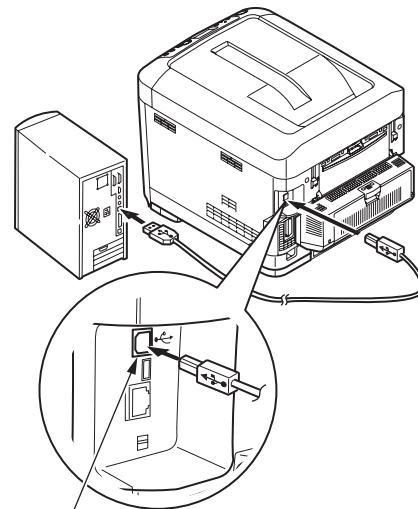
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「****」「****（コピー 1）」「****（コピー 2）」（**** はプリンタ機種名）と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。
- XPS プリンタドライバは、Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 ではご利用いただけません。

USB ケーブルは USB2.0 仕様で長さ 5m 以内（2m 以内を推奨）のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

- プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様のケーブルを別途用意してください。
- USB2.0 の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed 仕様の USB ケーブルを使用してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

- プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（19 ページ）をご覧ください。
- USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注 USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルをコンピュータの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

Windows にセットアップします

 管理者の権限が必要です。

以下の説明は Windows 7 Home Premium Edition を例にしています。

1 プリンタの電源が OFF になっていることを確認します。

2 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

3 セットアッププログラムを起動します。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。

❸［ユーザーアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶「モデルの選択」でプリンタの機種名を選択し、［次へ］をクリックします。

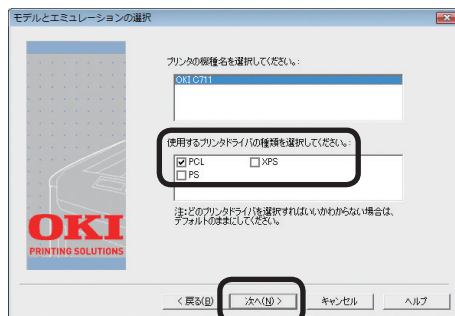
❷「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❸［ドライバのインストール］をクリックします。

❹［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ ネットワークで接続する場合は、「ネットワーク接続で Windows にセットアップします」（55 ページ）をご覧ください。

❺ ポートで［USB］を選択し、［次へ］をクリックします。

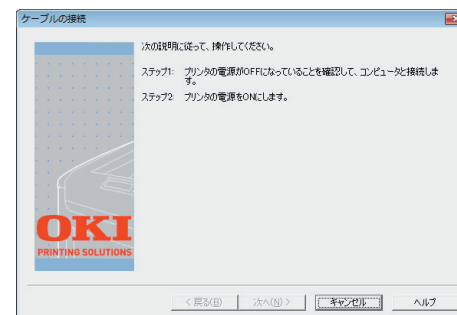
❻ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ
- ドライバには以下の 3 種類があります。お使いの環境に合わせて選択します。
  PS ： PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。
  PCL ：ビジネス文書の印刷に適しています。
  XPS ：XPS 対応アプリケーションからの印刷に適しています。
- 複数のドライバの種類を選択し、同時にインストールすることができます。

XPS プリンタドライバは、Windows XP/Windows Server 2003/ Windows 2000 ではご利用いただけません。

ファイルのコピーが行われます。
「Windows セキュリティ」画面が表示されたら、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。Windows XP/Server 2003 の場合に、「ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

☞ 手順 5 へ進みます。

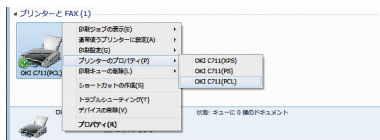
5 USB ドライバをインストールします。

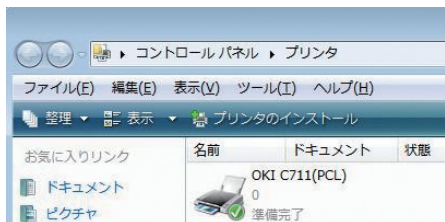
❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、画面の指示に従い USB ケーブルを接続し、プリンタの電源を ON にします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ❹に進みます。

❷「インストール完了」の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

❸［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

選択したフォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

Windows 7/Server 2008 R2 では、複数のプリンタドライバをインストールしても、表示されるアイコンは 1 つです。
インストールしたプリンタドライバを確認するには、プリンタアイコンを選択し、右クリックで［プリンターのプロパティ］の［▶］にマウスを合わせ、プリンタドライバを選択します。

注 インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 では、複数のドライバをインストールした場合は、インストールした数分のアイコンが追加されます。

☞ ❶からの続き

❹［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

❺ Windows が完全に起動したら、❶に戻ります。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。再度プリンタドライバのセットアップを行ってください。
詳細は、「Windows にセットアップします」（72 ページ）をご覧ください。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ Windows 7 では［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プリンターのプロパティ］または[プロパティ]を選択します。Windows 7 で複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、[OKI C711（ドライバの種類)］を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート]で、接続先のポートを下記の設定にします。

USB ケーブルで接続する場合：[USBxxx]

[印刷するポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源が ON になっていることを確認して USB ケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。

1 つのプリンタドライバしかインストールできない場合

2 つ目以降のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

❶ セットアップブログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを［FILE］に設定します。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。
詳細は、「Windows にセットアップします」（72 ページ）をご覧ください。

❹［デバイスとプリンター］または［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダで 2 つ目以降のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❺［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］にチェックを付けます。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合

USB 接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ USB ケーブルを接続します。

❸ プリンタの電源を ON にします。

❹ Windows を起動します。

❺「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「ソフトウェア CD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
コンピュータが USB インタフェースに対応していません。	デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	「ソフトウェア CD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「E:¥Drivers¥JPN¥PCL」 （ここでは CD-ROM ドライブが E：で、プリンタドライバが PCL の場合を例にしています）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。（18 ページ）

現　象	対処方法
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（72 ページ）
［オフライン］になっています。	［オンライン］ボタンを押して、［印刷できます］にしてください。

5 ネットワーク接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境 日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- MacOS8.0 以前のシステムには対応していません。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

EtherTalk を有効にします

本機は、省電力のために、スリープ機能を搭載しています。スリープ機能を有効にするため、工場出荷時の設定では、EtherTalk が［無効］になっています。Macintosh でご使用になる場合は、以下の手順にしたがって、スリープ機能を停止し、EtherTalk を［有効］にしてご使用ください。

1 スリープ機能を停止します。

❶ 設定ボタンを押しながら電源を入れます。
操作パネルに［Boot Menu］と表示されたら、指をはなし、再度、設定ボタンを押します。

❷ パスワードを入力します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ボタンを数回押して［Power Setup］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［Sleep］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して ［Disable］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ［Disable］の横に * が付いたことを確認し、オンラインボタンを押します。

2 EtherTalk を［有効］にします。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ パスワードを入力します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ［ネットワーク設定］が選択されていることを確認し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して ［EtherTalk］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを押して ［有効］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ［有効］の横に * が付いたことを確認し、オンラインボタンを押します。

メモ
- Bonjour(Rendezvous) をご利用の場合も、スリープ機能を停止してください。
- スリープモード時の制限事項については、ユーザーズマニュアル（応用編）の「スリープモード時の制限事項」をご覧ください。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉 〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（19 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

ネットワークインタフェースコネクタ

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

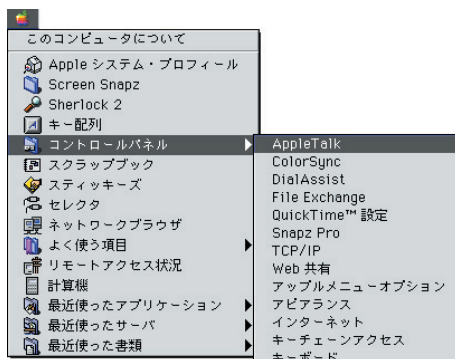
セットアップします

以下の説明は、MacOS 9.0 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［AppleTalk］を選択します。

❸［Ethernet］を選択し、［AppleTalk］を閉じます。

❹「設定の保存」画面が表示されたら、［保存］をクリックします。

3 プリンタドライバをインストールします。

注

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① ［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］を選択します。
  ② ［セット］を［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。
- プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 復帰」ボタンを押し、［印刷できます］が表示されることを確認してください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

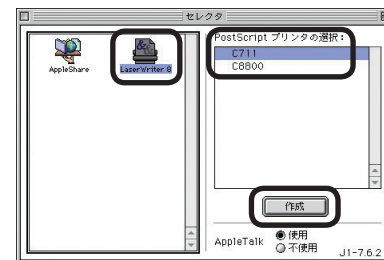
❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶［アップルメニュー］の［セレクタ］を選択します。

❷［LaserWriter8］をクリックし、［PostScript プリンタの選択］で［C711］を選択します。

メモ　プリンタ名は、MicrolinePS Utility で変えることができます。

- ［PostScript プリンタの選択］で［C711］が表示されない場合には、Macintoshとプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルのコネクタが正しく差し込まれているか、ケーブルが傷ついていないか確認してください。
- ［セレクタ］に［LaserWriter8］が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8プリンタドライバをインストールします」(86 ページ)をご覧ください。

❸［作成］をクリックします。
プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

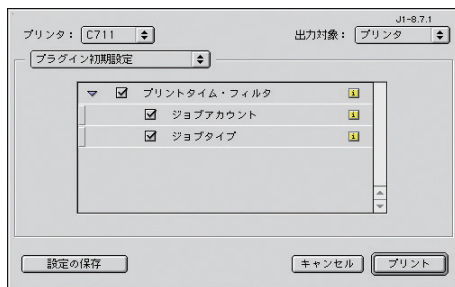
❹［セレクタ］を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

5 プリントプラグインを設定します。

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷［プリンタ：］が［C711］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして［プリントタイム・フィルタ］を開き、［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブタイプ］にチェックを付けます。

❹［設定の保存］をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❻［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

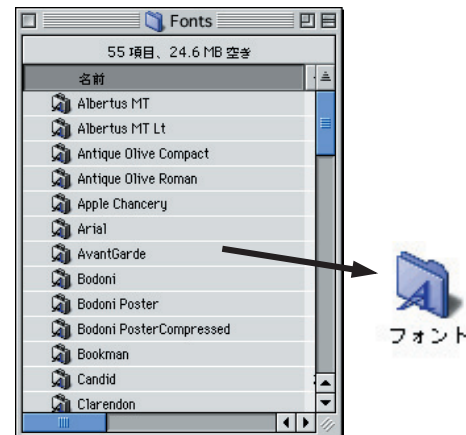
❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されていません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の［平成明朝］、［平成角ゴシック］をご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

7 9 章「印刷します」（125 ページ）へ進みます。

5 セットアップします

LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします

MacOS9.x.x付属のLaserWriter8 プリンタドライバをカスタムインストールします。

「セレクタ」に［LaserWriter8］がすでに存在している場合は、インストール不要です。

以下の説明は、MacOS9.2.1 を例にしています。

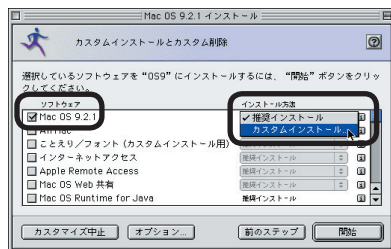
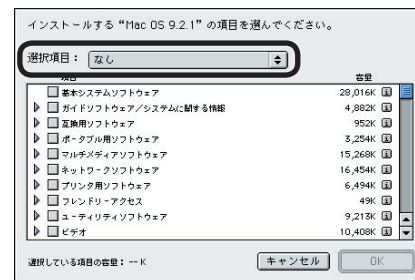
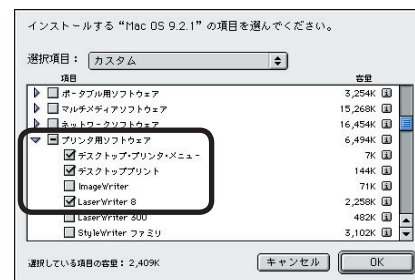
❶「MacOS9.x.x システム CD-ROM」をセットします。

❷［MacOS インストーラ］をダブルクリックします。

❸「ようこそ MacOS9.x.x へ」画面で［続ける］をクリックします。

❹［インストール先ディスク］を選択し、［選択］をクリックします。

❺［追加 / 削除］をクリックします。

❻［ソフトウェア］で［MacOS9.x.x］にチェックをつけ、［インストール方法］で［カスタムインストール］を選択します。

❼［選択項目］で［なし］を選択します。

❽［プリンタ用ソフトウェア］の［▷］印をクリックし、［デスクトップ・プリンタ・メニュー］、［デスクトッププリント］、［LaserWriter8］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❾［開始］をクリックします。

❿［続ける］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

⓫［再起動］をクリックします。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- ネットワークインタフェースコネクタのリンク 100M/10M ランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- ステータスランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのリンクランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの［ハブとの接続］を［10BASE-T HALF］に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ボタンを数回押し、［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目の数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で 6 桁目まで入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

最後に設定ボタンを押します。

❺ ボタンまたはボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して［ハブとの接続］を選択し、設定ボタンを押します。

❼［10Base-T Half］を選択し、設定ボタンを押します。

❽ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- ［アップルメニュー］-［セレクタ］で、［LaserWriter 8］をクリックしたとき［プリンタ名］が表示されるか確認します。プリンタ名の初期値は［C711］です。プリンタ名はネットワークの設定情報(Network Information)に表示されている［EtherTalk Configuration］の［EtherTalk Printer Name］です。

6 USB 接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

MacOS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- USB 拡張ボードには対応していません。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、デスクトップ・プリンタ Utility に「****」、「**** 1」、「**** 2」（**** はプリンタ機種名）と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- Mac OS X Classic 環境には対応していません。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB ケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 5m 以内（2m 以内を推奨）のものをお使いください。

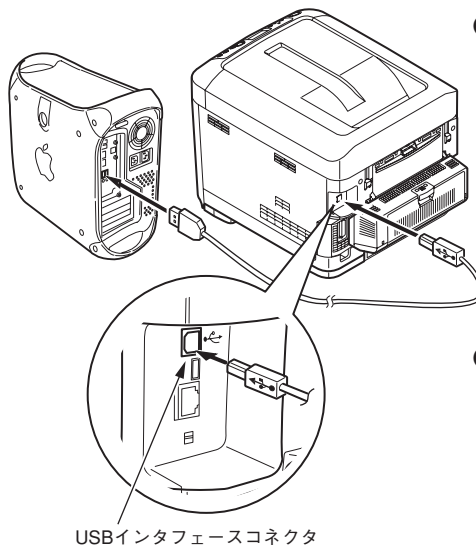
ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

注 USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ
- 電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。
- USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注 USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]を選択します。
  ② [セット] を [Mac OS x.x.x 基本] (x.x.x は Mac OS のバージョン) 設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ] の [セット] を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット] を選択してください。
- プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 復帰」ボタンを押し、[印刷できます] が表示されることを確認してください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Driver] フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS] をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

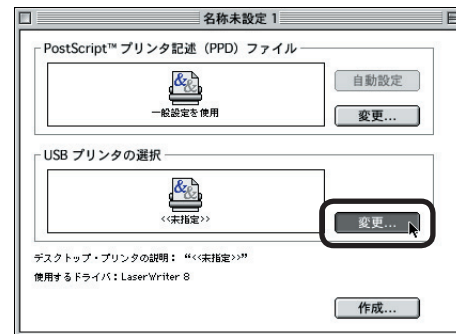
4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ [Apple エクストラ]-[Apple LaserWriter ソフトウェア］フォルダ（Mac OS 9.1以降では、[Applications(MacOS9)] - [ユーティリティ]フォルダ)内の［デスクトップ・プリンタ Utility］をダブルクリックします。

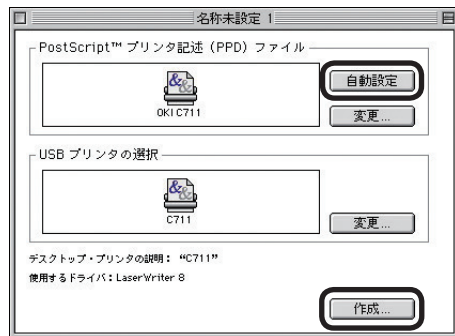
デスクトップ・プリンタ Utility

❷ [プリンタ]で[LaserWriter8]を、[デスクトップに作成]で[プリンタ(USB)]を選択し、[OK]をクリックします。

［プリンタ］に［LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします」(86 ページ）をご覧ください。

❸ [USB プリンタの選択］の［変更］をクリックします。

❹ [USB プリンタの選択］で［C711］を選択し、[OK］をクリックします。

[USB プリンタの選択]で[C711]が表示されない場合には、Macintosh とプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルのコネクタが正しく差し込まれているか、ケーブルが傷ついていないか、確認してください。

❺ [PostScript プリンタ記述(PPD)ファイル］で［自動設定］をクリックします。

❻［作成］をクリックします。

❼［デスクトップ・プリンタの保存名］を入力し、［保存］をクリックします。

❽ デスクトップ・プリンタ Utility を終了します。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ USB インタフェースで接続する場合は、「セレクタ」画面で［LaserWriter8］を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して、「Finder」の［プリンタ］メニューで［省略時プリンタに指定］を選択して使用します。

5 プリントプラグインを設定します。

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷［プリンタ：］が［C711］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして［プリントタイム・フィルタ］を開き、［ジョブアカウント］と［ジョブタイプ］にチェックを付けます。

❹［設定の保存］をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❻［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されていません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の［平成明朝］、［平成角ゴシック］をご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

7 9 章「印刷します」（125 ページ）へ進みます。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
MacOS のバージョンが対応していません。	USB 接続できるのは MacOS9.0 以降です。（90 ページ）
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタと Macintosh を直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（92 ページ）
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。（18 ページ）
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	Macintosh のプリンタメニューの［プリントキューの開始］を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（92 ページ）
［オフライン］になっています。	「オンライン」ボタンを押して、［印刷できます］にしてください。

7 ネットワーク接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6 日本語版が動作する Macintosh でネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMin-cho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。
- Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

EtherTalk を有効にします

本機は、省電力のために、スリープ機能を搭載しています。スリープ機能を有効にするため、工場出荷時の設定では、EtherTalk が［無効］になっています。Macintosh でご使用になる場合は、以下の手順にしたがって、スリープ機能を停止し、EtherTalk を［有効］にしてご使用ください。

1 スリープ機能を停止します。

❶ 設定ボタンを押しながら電源を入れます。
操作パネルに［Boot Menu］と表示されたら、指をはなし、再度、設定ボタンを押します。

❷ パスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ボタンを数回押して［Power Setup］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［Sleep］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して ［Disable］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ［Disable］の横に * が付いたことを確認し、オンラインボタンを押します。

2 EtherTalk を［有効］にします。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ パスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ［ネットワーク設定］が選択されていることを確認し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して ［EtherTalk］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを押して ［有効］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ［有効］の横に * が付いたことを確認し、オンラインボタンを押します。

メモ
・Bonjour(Rendezvous) をご利用の場合も、スリープ機能を停止してください。
・スリープモード時の制限事項については、ユーザーズマニュアル（応用編）の「スリープモード時の制限事項」をご覧ください。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（19 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

ネットワークインタフェースコネクタ

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

7 ケーブルを接続します

セットアップします（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方）

メモ　Mac OS X 10.5 ～ 10.6 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.5 ～ 10.6 をお使いの方）」（107 ページ）をご覧ください。

ネットワーク接続のセットアップについて

注　Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 印刷する方法を決めます。

Mac OS X から印刷するためには、EtherTalk を使用する方法、Bonjour（ボンジュール）/Rendezvous（ランデブー）を使用する方法の 2 種類があります。まず、どちらを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
EtherTalk	Mac OS X が標準で持っている機能を使用します。
Bonjour（ボンジュール） Rendezvous（ランデブー）	Mac OS X 10.4 ～（Mac OS X 10.3 では Rendezvous）が標準で持っている機能を使用します。EtherTalk が使用できないネットワークでは、こちらを使用します。

2 セットアップの流れ

EtherTalk

Macintosh に EtherTalk を設定します。

プリンタドライバをインストールします。

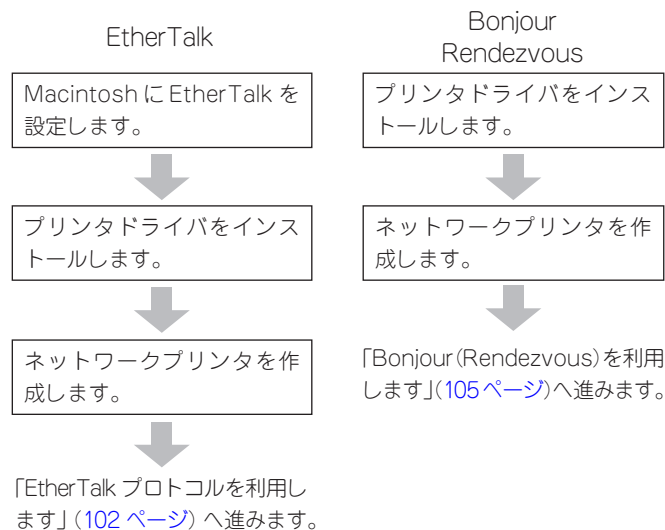
ネットワークプリンタを作成します。

「EtherTalk プロトコルを利用します」（102 ページ）へ進みます。

Bonjour
Rendezvous

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

「Bonjour（Rendezvous）を利用します」（105 ページ）へ進みます。

EtherTalk プロトコルを利用します

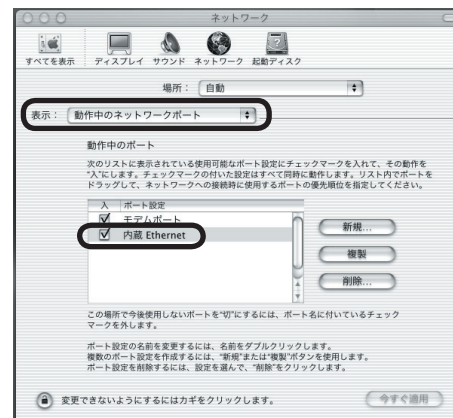
以下の説明は、Mac OS X 10.3.9 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［動作中のネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

❹［表示］-［内蔵 Ethernet］-［AppleTalk］タブを選択し、［AppleTalk 使用］にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

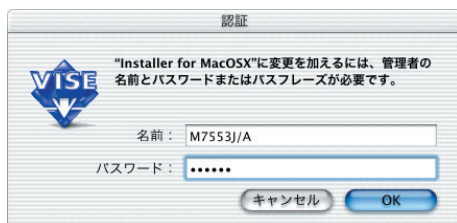
注

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 復帰」ボタンを押し、[印刷できます] が表示されることを確認してください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

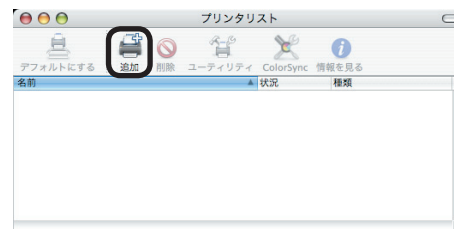
❷ [OKI] アイコンをダブルクリックします。

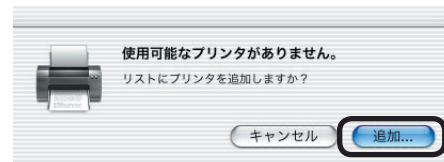
❸ [Driver] フォルダ内の [Installer for Mac OS X] をダブルクリックします。

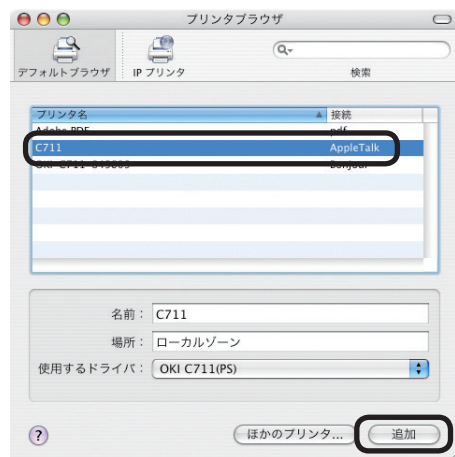
❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

注 プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの [アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。

❷ [追加]をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、[使用可能なプリンタがありません] 画面で、[追加] をクリックします。

❸ MacOSX10.3 では［AppleTalk］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントセンター］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

Bonjour（Rendezvous）を利用します

1 プリンタの電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

注
- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 復帰」ボタンを押し、［印刷できます］が表示されることを確認してください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

注 プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、[使用可能なプリンタがありません] 画面で、[追加] をクリックします。

❸ Mac OS X 10.3 では［Rendezvous］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し(Mac OS X 10.3 では、[プリンタの種類]で[Oki]を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します)、[追加]をクリックします。

メモ
- プリンタ名は「OKI-C711」+「MAC Address の英数字下 6 桁」です。
- MAC Address は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（20 ページ）

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

セットアップします（Mac OS X 10.5 ～ 10.6 をお使いの方）

Mac OS X 10.6 について

Mac OSX 10.6 では AppleTalk をサポートしていませんので、AppleTalk では接続できません。
LPD プロトコル（TCP/IP）を使用してプリンタを接続できます。

- Mac OS X 10.6 上にインストールするには事前に Rosetta をインストールする必要があります。
  Rosetta がインストールされていない場合には、プリンタドライバのインストーラやユーティリティの起動時に下記のメッセージが表示されます。

Rosetta のインストールはインターネット経由で行われます。
インターネットに接続できない場合は、Mac OS X Snow Leopard インストールディスクをセットし、「オプションインストール」フォルダを開いてから、「Optional Installs」をダブルクリックし、画面の設定に従いインストールしてください。

プリンタドライバをインストールします

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方は、「 セットアップします（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方）」（101 ページ）をご覧ください。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 復帰」ボタンを押し、［印刷できます］が表示されることを確認してください。

❶「ソフトウエア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

EtherTalkプロトコルを利用してプリンタの設定をします

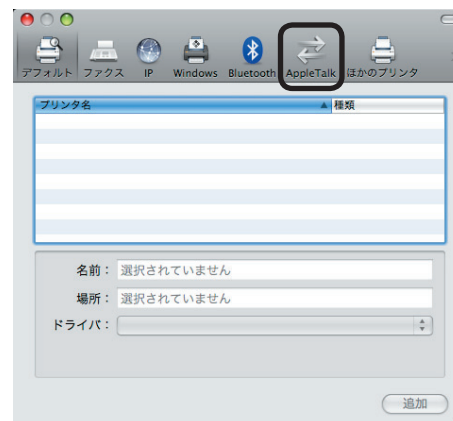
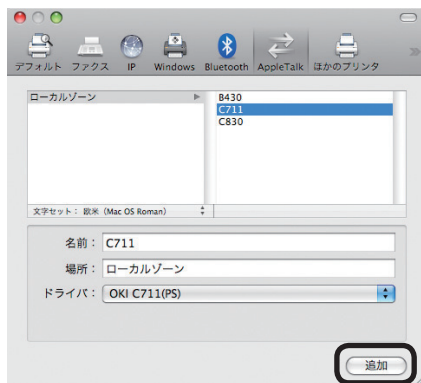
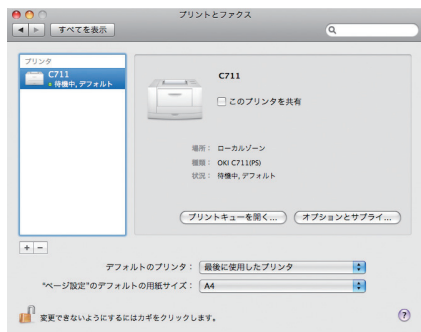
メモ Bonjour をご利用の方は、「Bonjour を利用してプリンタの設定をします」（109 ページ）をご覧ください。

注 ［プリンタとファクス］が既に開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。

❸［+］をクリックします。

❹［AppleTalk］をクリックします。最初に設定する場合、プリンタが表示されるまでにしばらく時間がかかります。

❺ プリンタを選択し、[ドライバ] メニューに正しい機種名が表示されたら、[追加] をクリックします。

❻ プリンタリストに追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリントとファクス] を閉じます。

[種類] の情報に [OKI C711] が表示されていれば、プリンタドライバに PPD ファイルが正しく読み込まれています。
正しく PPD ファイルが読み込まれていない場合は、プリンタを一旦削除して、再度プリンタを登録してください。

❼ 9 章「印刷します」(125 ページ) へ進みます。

Bonjour を利用してプリンタの設定をします

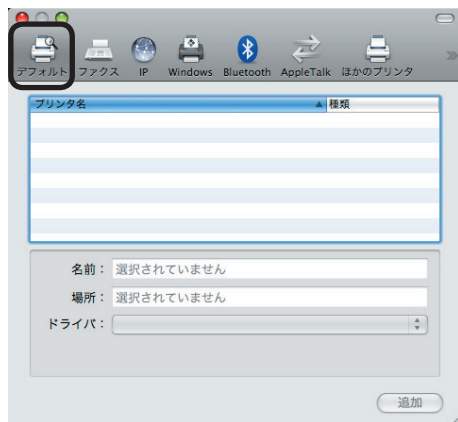
メモ EtherTalk プロトコル接続の方は、「EtherTalk プロトコルを利用してプリンタの設定をします 」(108 ページ) をご覧ください。

注 [プリントとファクス] が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

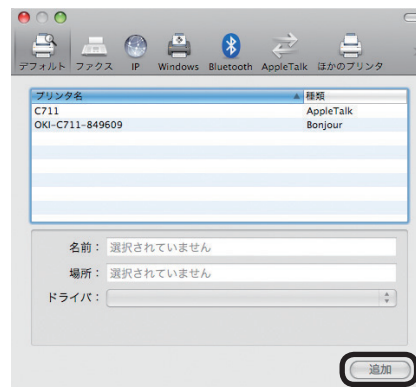
❶ [アップルメニュー] - [システム環境設定] を選択します。

❷ [プリントとファクス] をクリックします。

❸［+］をクリックします。

❹［デフォルト］をクリックします。

❺プリンタ名が表示されたら、［種類］に接続したいポート名が表示されていることを確認します。

❻プリンタを選択し、［ドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら、［追加］をクリックします。

メモ Bonjour 接続の場合、プリンタ名は［OKI-C711］+［MAC Address の英数字下 6 桁］です。

❼プリンタリストに追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタとファクス］を閉じます。

注 ［種類］の情報に [OKI C711] が表示されていれば、プリンタドライバに PPD ファイルが正しく読み込まれています。
正しく PPD ファイルが読み込まれていない場合は、プリンタを一旦削除して、再度プリンタを登録してください。

❽ 9 章「印刷します」（125 ページ）へ進みます。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- ネットワークインタフェースコネクタのリンク 100M/10M ランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- ステータスランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのリンクランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの［ハブとの接続］を［10BASE-T HALF］に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ボタンを数回押し、[管理者用メニュー]を選択し、設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、ボタンまたは ボタンで 1 桁目の数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で 6 桁目まで入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

最後に 設定ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して[ハブとの接続]を選択し、設定ボタンを押します。

❼［10Base-T Half］を選択し、設定ボタンを押します。

❽ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示されたら完了です。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- [アップルメニュー]-[システム環境設定]-[インターネットとネットワーク]-[ネットワーク]-[表示]-[ネットワークポート設定]で[内蔵 Ethernet]にチェックがついていることを確認します。
- ［表示］-［内蔵 Ethernet］-［AppleTalk］で［AppleTalk 使用］にチェックがついていることを確認します。
- ハードディスクの［アプリケーション]-[ユーティリティ]-［プリンタ設定ユーティリティ］で、[追加]をクリックし、[AppleTalk]を選択したときに[C711]が表示されるか確認します。

8 USB 接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

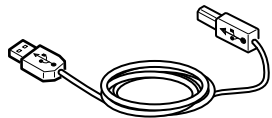
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Classic 環境が動作しているときは、Mac OS X からの印刷ができません。Classic 環境を終了させてから印刷してください。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。
- Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

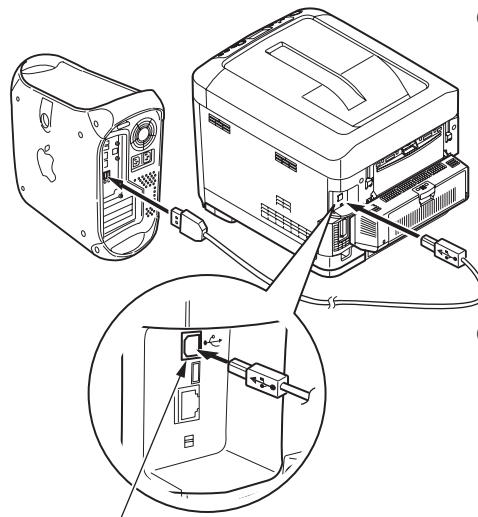
USB ケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 5m 以内（2m 以内を推奨）のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

注 USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（19 ページ）をご覧ください。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注 USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方）

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.5 ～ 10.6 をお使いの方）」（120 ページ）をご覧ください。

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 プリンタの電源を ON にします。

2 プリンタの操作パネルで［USB PS プロトコル］を［ASCII］にします。

- Mac OS X で使用する場合は、必ず設定してください。設定しないと正常に印刷できないことがあります。
- MacOS 9 で使用する場合は、設定を［RAW］に戻してください。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目の英小文字または数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

最後に設定ボタンを押します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ボタンを数回押して［PS 設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［USB プロトコル］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して［ASCII］を選択し、設定ボタンを押します。

❻［ASCII］の左側に［＊］がついたことを確認します。

❼ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

❽ プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタの電源を OFF/ON しないと、［ASCII］の設定は有効になりません。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（19 ページ）をご覧ください。

3 Macintosh を起動します。

4 プリンタドライバをインストールします。

注
- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 復帰」ボタンを押し、[印刷できます] が表示されることを確認してください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

5 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

注 プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

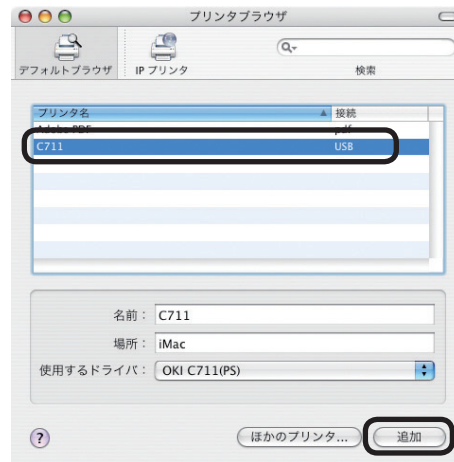
メモ 新規にプリンタを追加する場合、[使用可能なプリンタがありません］画面で、[追加］をクリックします。

注 インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して［削除］をクリックします。

❸ プリンタのリストを表示します。

Mac OS X 10.3 では［USB］を選択します。

❹ 使用するプリンタを選択します。

［接続］に［USB］（Mac OS X 10.3 では［種類］に［OKI DATA CORP］と表示されている［C711］を選択し、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

6 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバがPPDファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

セットアップします（Mac OS X 10.5 ～ 10.6 をお使いの方）

Mac OS X 10.6 について

Mac OSX 10.6 では AppleTalk をサポートしていませんので、AppleTalk では接続できません。
LPD プロトコル（TCP/IP）を使用してプリンタを接続できます。

- Mac OS X 10.6 上にインストールするには事前に Rosetta をインストールする必要があります。
  Rosetta がインストールされていない場合には、プリンタドライバのインストーラやユーティリティの起動時に下記のメッセージが表示されます。

Rosetta のインストールはインターネット経由で行われます。
インターネットに接続できない場合は、Mac OS X Snow Leopard インストールディスクをセットし、「オプションインストール」フォルダを開いてから、「Optional Installs」をダブルクリックし、画面の設定に従いインストールしてください。

プリンタドライバをインストールします

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方）」（116 ページ）をご覧ください。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 復帰」ボタンを押し、［印刷できます］が表示されることを確認してください。

❶「ソフトウエア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

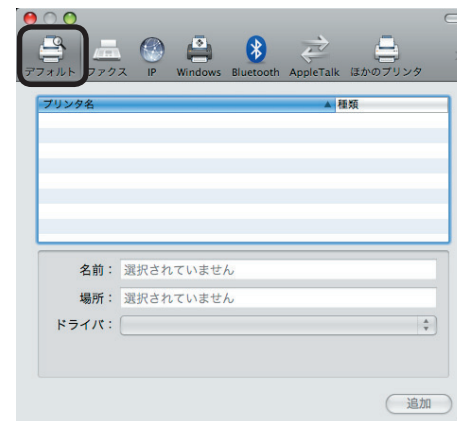
USB 接続でプリンタの設定をします

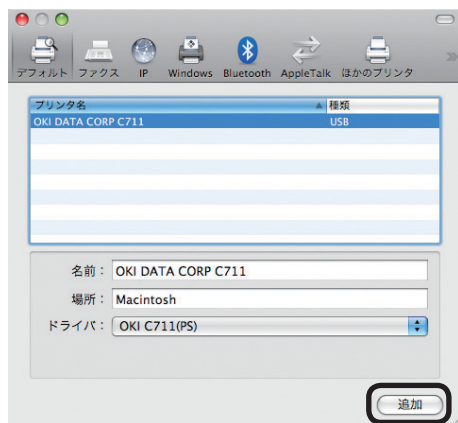
注 ［プリントとファクス］が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。

❸［+］をクリックします。

❹［デフォルト］をクリックします。

❺プリンタ名が表示されたら、［種類］に接続したいポート名が表示されていることを確認します。

❻ プリンタを選択し、[ドライバ] メニューに正しい機種名が表示されたら、[追加] をクリックします。

❼ インストール可能なオプションの取得画面で、[構成 ...] をクリックしてプリンタオプションを選択します。

❽ プリンタリストに追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリンタとファクス] を閉じます。

[種類] の情報に [OKI C711] が表示されていれば、プリンタドライバに PPD ファイルが正しく読み込まれています。
正しく PPD ファイルが読み込まれていない場合は、プリンタを一旦削除して、再度プリンタを登録してください。

❾ 9 章「印刷します」(125 ページ) へ進みます。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタと Macintosh を直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（116, 120 ページ）
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。（18 ページ）
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（116, 120 ページ）
［オフライン］になっています。	「オンライン」ボタンを押して、［印刷できます］にしてください。

9 印刷します

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタのメニュー設定の［メディアウェイト］、［メディアタイプ］で設定する内容が異なります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」（132 ページ）と「メディアウェイト、メディアタイプを設定します」（133 ページ）をご覧ください。

種類	サイズ 単位：mm（インチ）		厚さ
普通紙	A4	210 × 297	連量 55 ～ 215 ㎏（64 ～ 250g/ ㎡） 両面印刷の場合、連量 55～189 ㎏（64～220g/ ㎡）
	A5	148 × 210	
	A6	105 × 148	
	B5	182 × 257	
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	
	リーガル（13 インチ）	215.9 × 330.2 (8.5 × 13)	
	リーガル（13.5 インチ）	215.9 × 342.9 (8.5 × 13.5)	
	リーガル（14 インチ）	215.9 × 355.6 (8.5 × 14)	
	エグゼクティブ	184.2 × 266.7 (7.25 × 10.5)	
	カスタム	幅 64 ～ 216 長さ 127 ～ 1321	連量 55 ～ 215 ㎏（64 ～ 250g/ ㎡）
はがき	はがき	100 × 148	郵便はがき
	往復はがき	148 × 200	
封筒	封筒（長形 3 号）	120 × 235	85g/ ㎡の紙を使用したもの
	封筒（長形 4 号）	90 × 205	
	封筒（洋形 4 号）	105 × 235	
	封筒（A4）	210 × 297	
	Monarch	(3.875 × 7.5)	24lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-9	(3.875 × 8.875)	
	Com-10	104.8 × 241.3 (4.125 × 9.5)	
	DL	110 × 220 (4.33 × 8.66)	
	C5	162 × 229 (6.4 × 9)	
ラベル紙	A4	210 × 297	0.1 ～ 0.2 ㎜
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	
部分印刷用紙	普通紙に準じます。		連量 55 ～ 215 ㎏（64 ～ 250g/ ㎡）
カラー用紙	普通紙に準じます。		連量 55 ～ 215 ㎏（64 ～ 250g/ ㎡）

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：　OKI カラーページプリンタ用紙　エクセレントホワイト A4（型名：PPR-CA4NA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[普通紙]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：普通紙
  メディアタイプ　：普通紙

  両面印刷の場合は、エクセレントホワイト　A4（厚口）（型名：PPR-CA4DA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[厚い紙]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：厚い紙
  メディアタイプ　：普通紙
- 用紙の厚さが連量 55 ～ 215kg（64 ～ 250g/m^2）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  （グリーン購入法に適合した電子写真プリンタ用再生紙に対応しています）
  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- のり・スターチ・薬品などで特殊加工、耐熱性（230 度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- マルチパーパストレイで印刷するとシワが出ることがあります。このような場合は用紙カセットから給紙してください。
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵便はがき、および折っていない郵便往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 坪量 85g/m^2 の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- 撥水加工された封筒

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約 5mm は印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-F71XX（コクヨ製）（総厚：0.1 ～ 0.2mm）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[ラベル紙 1]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：より厚い紙
  メディアタイプ　：ラベル紙
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.1 ～ 0.2mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
- 台紙に切れ目や折れ目のないラベル紙

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りや波打ちがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 普通紙の条件を満足している用紙
- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの

・印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：± 2mm、用紙の斜行：± 1mm/100mm、画像伸縮：± 1mm/100mm（連量 70kg の場合）
・インクの上に本プリンタで印刷することはできません。

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの
- 用紙特性が普通紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト
  A4 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙，
  110kg, 型名：PPR-CT4DA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：より厚い紙
  操作パネルで設定する場合は メディアウエイト：ごく厚い紙 1
  メディアタイプ ：普通紙
- 用紙サイズは幅 64 ～ 216mm、長さ 127 ～ 1321mm 連量 110kg（128g/m^2）
  ただし、長さが 356mm 以上の場合は幅 210 ～ 216mm となります。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- のり・スターチ・薬品などで特殊加工、耐熱性（230℃）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 連量 110kg 以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度 20℃、湿度 50% RH の環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙」（126 ページ）をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

◎：片面、両面印刷とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
⟁：一部のサイズで使用できます（片面印刷、両面印刷とも）
△：一部のサイズで使用できます（片面印刷のみ）
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法				排出方法	
			用紙カセット[*1]			マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ 1	トレイ 2[*2]	トレイ 3[*2]			
普通紙[*3*7]	連量 55～64kg (64～74g/m²)	A4, A5, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ） エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	×	×	×	○	○	×
		カスタム[*4]	⟁[*5]	⟁[*5]	⟁[*5]	◎	◎	⟁[*8]
	連量 65～89kg (75～104g/m²)	A4, A5, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ） エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	×	×	×	○	○	×
		カスタム[*4]	⟁[*5]	⟁[*5]	⟁[*5]	◎	◎	⟁[*8]
	連量 90～103kg (105～120g/m²)	A4, A5, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ） エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	×	×	×	○	○	×
		カスタム[*4]	⟁[*5]	⟁[*5]	⟁[*5]	◎	◎	⟁[*8]
	連量 104～161kg (121～188g/m²)	A4, A5, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ） エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	×	×	×	○	○	×
		カスタム[*4]	⟁[*5]	⟁[*5]	⟁[*5]	◎	◎	⟁[*8]
普通紙[*3*7]	連量 162～189kg (189～220g/m²)	A4, A5, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ） エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎	×
		A6	×	×	×	○	○	×
		カスタム[*4]	⟁[*5]	⟁[*5]	⟁[*5]	◎	◎	×
	連量 190～215kg (221～250g/m²)	A4, A5, B5, レター リーガル（13 インチ） リーガル（13.5 インチ） リーガル（14 インチ） エグゼクティブ	×	×	×	○	○	×
		A6	×	×	×	○	○	×
		カスタム	×	×	×	○	○	×
はがき[*6]	—	はがき，往復はがき	×	×	×	○	○	×
封筒[*6*7]	—	封筒（長形 3 号） 封筒（長形 4 号） 封筒（洋形 4 号） 封筒（A4 封筒） Com-9, Com-10, DL, C5, Monarch	×	×	×	○	○	×
ラベル紙[*6*7]	—	A4	×	×	×	○	○	×

*1：上から順にトレイ 1、トレイ 2（セカンドトレイユニット）、トレイ 3（サードトレイユニット）となります。
*2：トレイ 2（セカンドトレイユニット）、トレイ 3（サードトレイユニット）はオプションです。
*3：全ての用紙は縦送りです。
*4：カスタムは幅 64～216mm、長さ 127～1321mm です。ただし、長さが 356mm 以上の場合は幅 210～216mm となります。両面印刷可能なサイズは幅 148～216mm、長さ 210～356mm です。
*5：幅 148～216mm、長さ 210～356mm です。
*6：はがき、封筒、ラベル紙を設定すると印刷速度が遅くなります。
*7：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）
*8：長さが 356mm を超える用紙、長さが 210mm 未満の用紙はフェイスアップで排出してください。フェイスダウンへ排出すると、紙づまりの原因になります。

用紙サイズを A6、A5 サイズおよび用紙幅が 148mm（A5 幅）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。

メディアウェイト、メディアタイプを設定します

印刷する用紙の種類により、プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定する必要があります。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種類	厚さ	操作パネルの設定値		プリンタドライバの［用紙厚］の設定 *2
		メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*1	
普通紙 *3	55～64kg（64～74g/m²）	普通紙	普通紙	普通紙
	65～70kg（75～82g/m²）	やや厚い紙		やや厚い紙
	71～89kg（83～104g/m²）	厚い紙		厚い紙
	90～103kg（105～120g/m²）	より厚い紙		より厚い紙
	104～161kg（121～188g/m²）	ごく厚い紙 1		ごく厚い紙 1
	162～189kg（189～220g/m²）	ごく厚い紙 2		ごく厚い紙 2
	190～215kg（221～250g/m²）	ごく厚い紙 3		ごく厚い紙 3
はがき *4	—	—	—	—
封筒 *4	—	—	—	—
ラベル紙	0.1～0.17mm 未満	より厚い紙	ラベル紙	ラベル紙 1
	0.17～0.2mm	ごく厚い紙		ラベル紙 2

*1：メディアタイプの工場出荷時の設定は［普通紙］です。
*2：用紙の厚さ・種類は操作パネルとプリンタドライバで設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。プリンタドライバの[給紙方法]で[自動選択]が選択されている場合、または[用紙厚]で[プリンタ設定]が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。
*3：両面印刷できる用紙の厚さは連量 55～189kg(64～220g/m²)です。
*4：はがき､封筒はメディアウェイト､メディアタイプの設定の必要はありません｡

メモ メディアウェイトの［より厚い紙］、［ごく厚い紙］、メディアタイプの［ラベル紙］を設定すると、印刷速度が遅くなります。

2 メディアウェイトを設定する場合

注
- プリンタドライバでメディアウエイトを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
- メディアウエイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、トレイ 1 から普通紙(連量90kg 紙)に印刷するときの設定手順を説明します。

❶ ボタンを数回押し、[メニュー] を選択します。

❷「設定」ボタンを押します。

❸ ボタンまたは ボタンを数回押し、[トレイ構成] を選択します。

❹「設定」ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを数回押し、[トレイ 1 設定] を選択します。

❻「設定」ボタンを押します。

❼ ボタンまたは ボタンを数回押し、[メディアウェイト] を選択します。

❽「設定」ボタンを押します。

❾ ボタンまたは ボタンを数回押し、[厚い紙] を選択します。

❿「設定」ボタンを押し、設定値の左側に [*] を付けます。

⓫「オンライン」ボタンを押し、[印刷できます] を表示します。

3 メディアタイプを設定する場合

注
- プリンタドライバでメディアタイプを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
- メディアタイプの工場出荷時の設定は [普通紙] です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- ラベル紙は必ず設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、マルチパーパストレイからラベル紙に印刷するときの設定手順を説明します。

❶ ボタンを数回押し、[メニュー] を選択します。

❷「設定」ボタンを押します。

❸ ボタンまたは ボタンを数回押し、[トレイ構成] を選択します。

❹「設定」ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを数回押し、[マルチパーパストレイ設定] を選択します。

❻「設定」ボタンを押します。

❼ ボタンまたは ボタンを数回押し、[メディアタイプ] を選択します。

❽「設定」ボタンを押します。

❾ ボタンまたは ボタンを数回押し、[ラベル紙] を選択します。

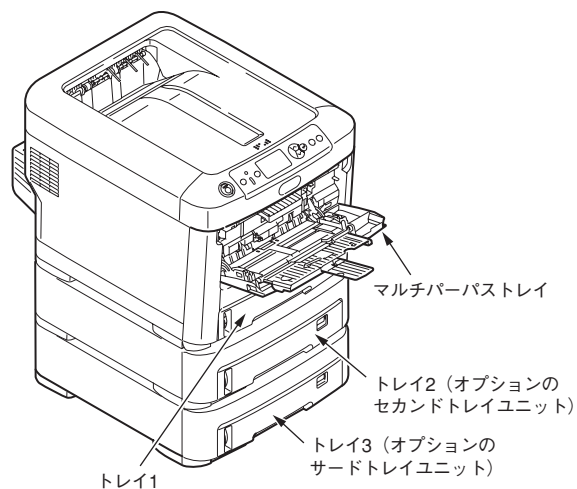
❿「設定」ボタンを押し、設定値の左側に [*] を付けます。

⓫「オンライン」ボタンを押し、[印刷できます] を表示します。

印刷します

給紙方法は、トレイ 1、トレイ 2（オプション）、トレイ 3（オプション）、マルチパーパストレイの 4 通りあります。

普通紙は、どのトレイからも印刷します。
はがき、封筒、ラベル紙は、マルチパーパストレイから印刷します。
用紙カセットは、トレイと呼ぶ場合があります。
トレイ 1、トレイ 2(オプション)、トレイ 3(オプション)とも同じ操作になります。

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1 枚ずつ確認してから「オンライン」ボタンを押して印刷をします。

1 用紙をセットします。

用紙カセットの場合（トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3）

マルチパーパストレイの場合

❶

マルチパーパストレイ

❷

手差しガイド

マルチパーパストレイ

手差しガイド　用紙サポータ

❸

「▽」マーク

印刷する面を上に向けて、まっすぐ突き当たるまで差し込みます

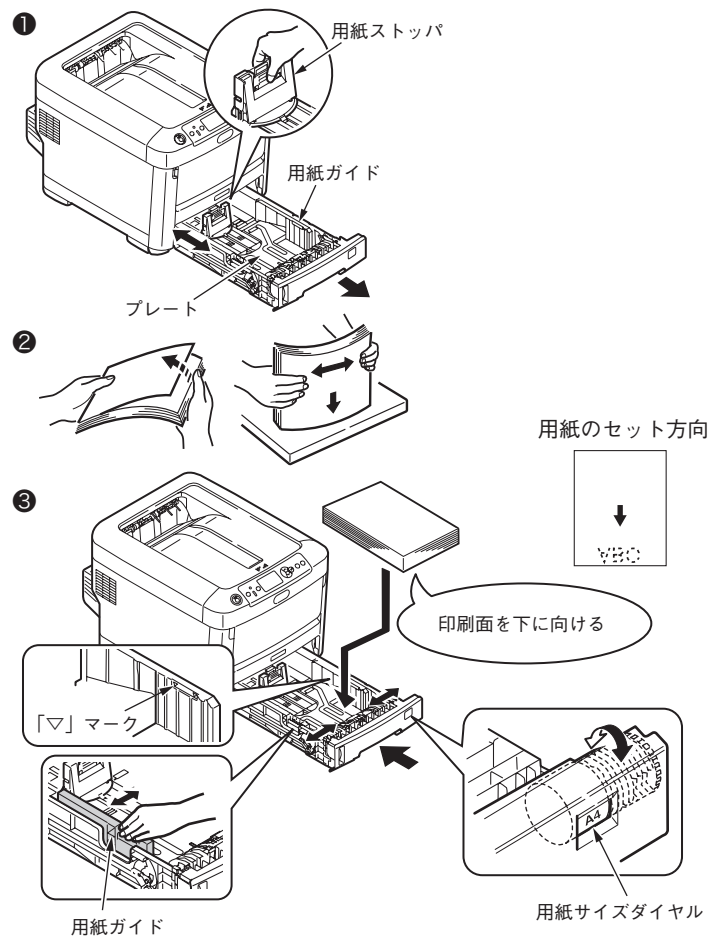
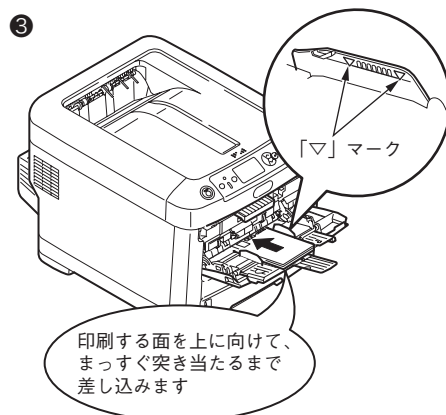
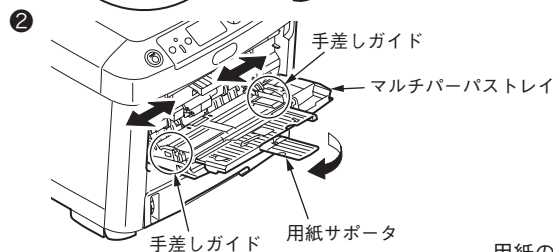
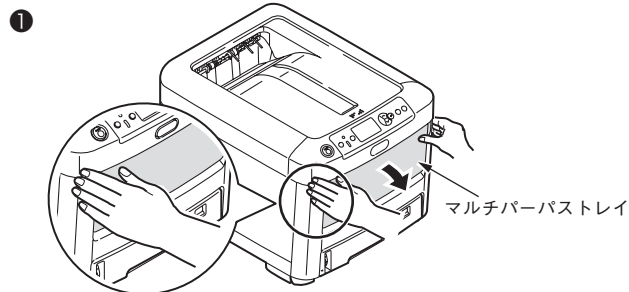
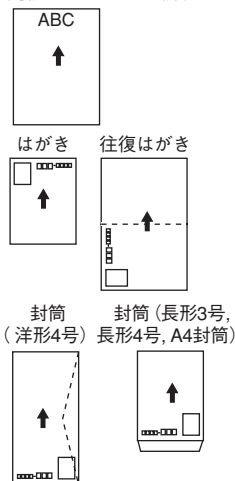
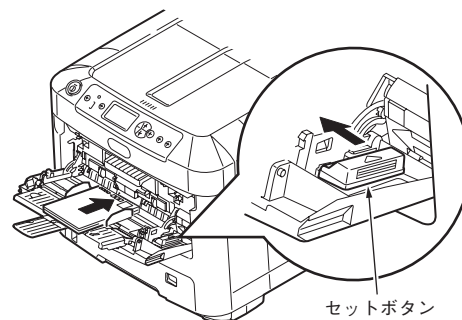
用紙のセット方向

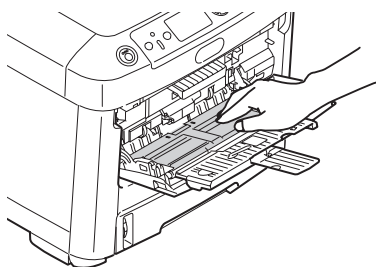
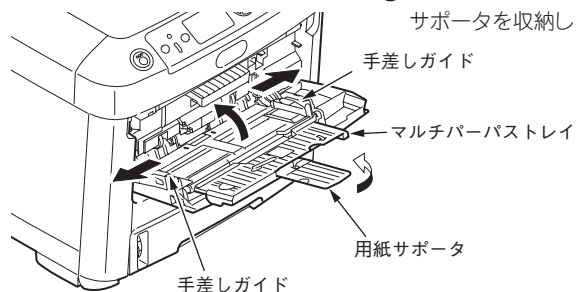
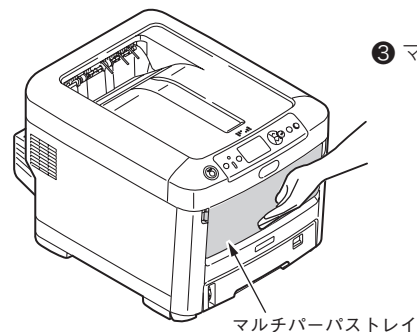
用紙に上下がある場合

ABC

はがき　往復はがき

封筒（洋形4号）　封筒（長形3号, 長形4号, A4封筒）

❹

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。（連量 70kg（82g/m^2）紙で 530 枚）（トレイ 2(オプション)、トレイ 3（オプション）では 530 枚、マルチパーパストレイでは 100 枚）
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットおよび両面印刷時やトレイ 2（オプション）、トレイ3（オプション）からの印刷時のトレイ 1 の用紙カセットは引き出さないでください。
- 他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- 用紙カセットでは、はがき、封筒を使用できません。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。（マルチパーパストレイ）
- 封筒は縦送りでセットしてください。（マルチパーパストレイ）
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

マルチパーパストレイの閉じ方

❶ マルチパーパストレイのプレートを、ロックするまで手で押し下げます。

❷ 手差しガイドをいっぱいに広げ、用紙サポータを収納します。

❸ マルチパーパストレイを閉じます。

2 用紙サイズを設定します。

トレイ 1, トレイ 2, トレイ 3 の場合

用紙カセットの用紙サイズダイヤルを回して用紙サイズをセットします。

マルチパーパストレイの場合

プリンタ出荷時にはマルチパーパストレイの用紙サイズが［A4］で設定されています。A4 以外の用紙で印刷する場合には、下記の手順に従ってユーザメニューの用紙サイズを変更する必要があります。

ここでは、マルチパーパストレイから B5 用紙に印刷するときの設定手順を説明します。

❶ ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❷「設定」ボタンを押します。

❸ ボタンまたは ボタンを数回押し、［トレイ構成］を選択します。

❹「設定」ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを数回押し、［マルチパーパストレイ設定］を選択します。

❻「設定」ボタンを押します。

❼ ボタンまたは ボタンを数回押し、［用紙サイズ］を選択します。

❽「設定」ボタンを押します。

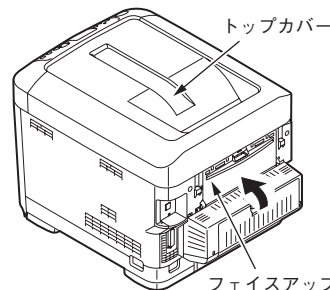
❾ ボタンまたは ボタンを数回押し、［B5］を選択します。

❿「設定」ボタンを押し、設定値の左側に［＊］を付けます。

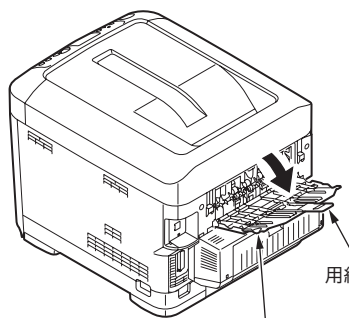
⓫「オンライン」ボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

3 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg(82g/m²)紙で約 350 枚をためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg(82g/m²)紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

4 アプリケーションを起動します。

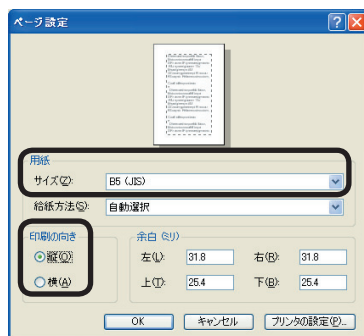
印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

- Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］、Mac OS X では［テキストエディット］を使い、トレイ 1 で B5 サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「便利な印刷機能」の「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（応用編）をご覧ください。
- プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 復帰」ボタンを押し、［印刷できます］が表示されることを確認してください。

メモ

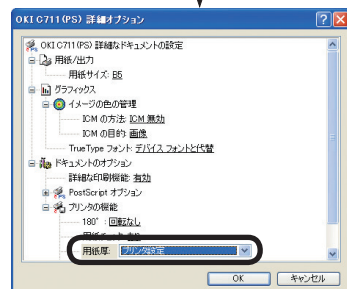
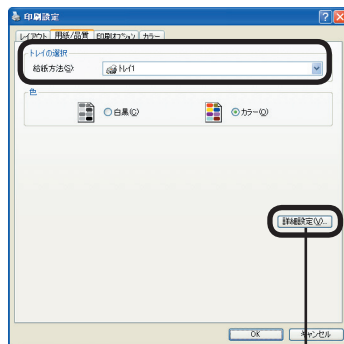
［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「いろいろな印刷について」の「トレイを自動的に選択したい」（応用編）をご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［B5］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

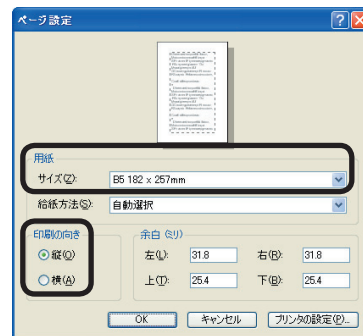
❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

❻［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

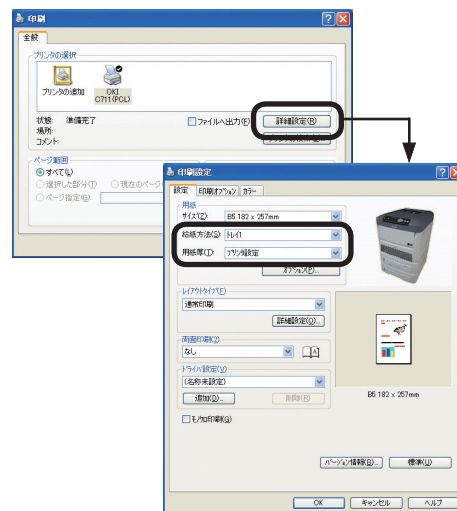
❼［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［B5］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

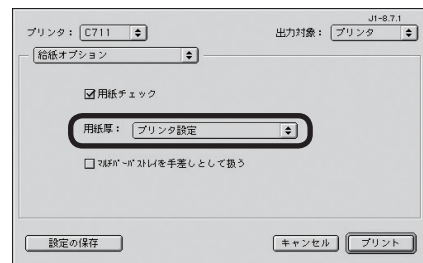
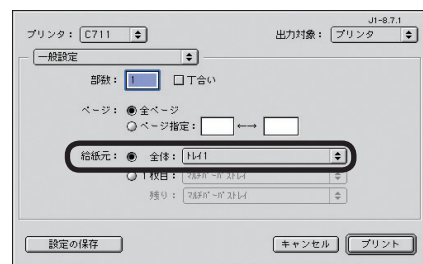
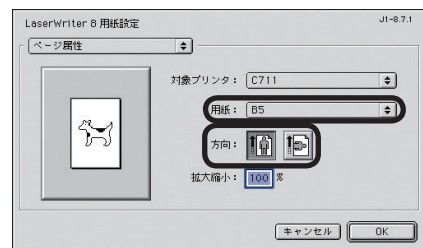
❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

❻［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❼［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

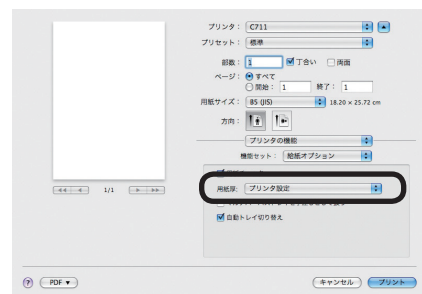
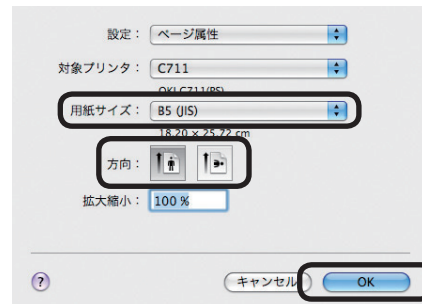
❷［用紙］で［B5］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［トレイ 1］を選択します。

❺［給紙オプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタを選択します。

❸［用紙サイズ］で［B5］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❹［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❺［給紙］パネルで［トレイ 1］を選択します。

❻［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能セットの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

メモ Mac OS X 10.5 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

9 印刷します

10 プリンタの設定項目について

現在の設定を確認します（設定内容印刷）

プリンタのメニューに設定されている値や消耗品の使用状況、印刷した枚数などを確認したい場合に印刷してください。

❶ トレイ 1 に A4 用紙をセットします。

❷ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❸ ボタンを数回押して［プリンタ情報印刷］を選択し、 設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［設定内容］を選択し、 設定ボタンを押します。

❺ 設定ボタンを押します。

設定内容印刷が開始されます。

ネットワークの設定情報（Network Information 2 枚）を印刷するには、❸の後に ボタンを押し、［ネットワーク］を表示させてから、 設定ボタンを押します。
ネットワークの他にも、デモページ、ファイルリストなども同様にして印刷することができます。

（サンプル）

設定内容
2009/09/03 14:25
C711

CU version:D0.66 [I01.23 U00.13 S3.5.2c B01.01 L01.02 532MHz 14241C00 000C0001 F50 J0]
PU version:00.00.13 [PI03.10 L000.00.08 DUC2.01.02] ET:00010000304031B302210000000000F
PCL Program version:05.06 [04.30 X04.02 P F] IM version:01.00
PS Program version:3017, PSE10
両面印刷:installed トレイ1:A4
JP1 P0E0 DPR:1.5 62 MC:CP
C:0 M:0 Y:0 K:0 KYMC-0000
Network version:01.00 Web Remote:01.00
ENGINE:80 K:21 C:56 T:0:0:0:0, I:0:0:0:0, B:0, F:0

Language format:1.00
Language version:1.00
Language:JAPANESE

プリンタ情報
印刷枚数
トレイ1 : 62
マルチパーパストレイ : 0
消耗品 残量
シアンドラム : 残り 99 %
マゼンタドラム : 残り 99 %
イエロードラム : 残り 99 %
ブラックドラム : 残り 98 %
ベルト : 残り 99 %
定着器 : 残り 99 %
シアントナー (4.0K) : 残り 100 %
マゼンタトナー (4.0K) : 残り 100 %
イエロートナー (4.0K) : 残り 100 %
ブラックトナー (4.0K) : 残り 90 %
ネットワーク
プリンタ名 : OKI-C711-849C9B
ショートプリンタ名 : C711-849C9B
IPv4 アドレス : 192.168.0.2
サブネットマスク : 255.255.0.0
ゲートウェイアドレス : 0.0.0.0
MACアドレス : 00:80:87:84:9C:9B
Network FW バージョン : 01.00
Web Remote バージョン : 01.00
システム情報
プリンタシリアル番号 : BETA100034
プリンタ管理番号 :
CU バージョン : D0.66
PU バージョン : 00.00.13
メモリ容量 : 256MB
フラッシュメモリ情報 : 8MB[F50]
SDカード情報 : 未実装
日付と時刻 : 2009/09/03 14:25

プリンタ情報印刷
設定内容
ネットワーク
デモページ
DEMO1
ファイルリスト
PSフォントリスト
PCLフォントリスト
印刷集計結果
エラーログ
カラープロファイルリスト

シャットダウン
シャットダウン開始

メニュー
トレイ構成
給紙トレイ : トレイ1
自動トレイ切替 : オン
トレイ選択順序 : 下方向
表示単位 : ミリメートル
トレイ1設定
用紙サイズ : カセットサイズ
メディアタイプ : 普通紙
メディアウェイト : 普通紙
マルチパーパストレイ設定
用紙サイズ : A4
メディアタイプ : 普通紙
メディアウェイト : 普通紙
トレイの使い方 : 使用しない
システム設定
パワーセーブ移行時間 : 30 分
スリープ移行時間 : 10 分
アラーム解除 : オンライン
エラー自動解除 : オフ
マニュアルタイムアウト : 60 秒
タイムアウト印刷 : 40 秒
トナーロー時の印刷 : 継続
ジャムリカバー : オン
エラーレポート : オフ
印刷位置補正
X補正 : 0.00 ミリメートル
Y補正 : 0.00 ミリメートル
両面印刷X補正 : 0.00 ミリメートル
両面印刷Y補正 : 0.00 ミリメートル
普通紙ブラック設定 : 0
普通紙カラー設定 : 0
特殊用紙2ブラック設定 : 0
特殊用紙2カラー設定 : 0
SMR設定 : 0
BG設定 : 0
ドラムクリーニング : オフ
ヘキサダンプ

管理者用メニュー
ネットワーク設定
TCP/IP : 有効
IPバージョン : IP v4
NetBEUI : 無効
NetBIOS over TCP : 有効
NetWare : 無効
EtherTalk : 無効
IPアドレス設定 : 手動
IPv4 アドレス : 192.168.0.2
サブネットマスク : 255.255.0.0
ゲートウェイアドレス : 0.0.0.0
Web : 有効
Telnet : 無効
FTP : 無効
IPSec : 無効
SNMP : 有効
ネットワークの規模 : 普通
ハブとの接続 : 自動
工場出荷時設定
印刷設定
動作モード : 自動
コピー枚数 : 1
両面印刷 : オン
綴じ方 : 長辺綴じ
用紙チェック : 有効
解像度 : 600dpi
トナーセーブモード : オフ
モノクロ印刷速度 : 自動
印刷方向 : 縦
1ページ行数 : 64 行
編集サイズ : カセットサイズ
トラッピング : オフ
用紙幅 : 210 ミリメートル
用紙長 : 297 ミリメートル
PS設定
Networkプロトコル : RAW
パラレルプロトコル : ASCII
USBプロトコル : RAW
PCL設定
使用フォント : 内蔵フォント2
フォントNo. : C1
フォントサイズ : 12.00 ポイント
シンボルセット : WIN3.1J

現在のメニュー設定を保存します

プリンタの操作パネルでの設定を保存できます。

「ネットワーク設定」カテゴリは保存されません。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、 設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで１桁目の英小文字、または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。

最後に 設定ボタンを押します。

❸ ボタンを数回押して［設定値］を選択し、 設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［設定の保存］を選択し、 設定ボタンを押します。

❺ 設定ボタンを押します。

❻［はい］を選択し、 設定ボタンを押します。

設定値が保存されます。

メモ 現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、 設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで１桁目の英小文字、または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。

最後に 設定ボタンを押します。

❸ ボタンを数回押して［設定値］を選択し、 設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［設定の呼び出し］を選択し、 設定ボタンを押します。

❺ 設定ボタンを押します。

❻［はい］を選択し、 設定ボタンを押します。

設定値が、保存されている設定に変更されます。

設定値を初期化します

「ネットワーク設定」カテゴリの初期化は、「ネットワーク設定」カテゴリ内の［工場出荷時設定］で行ってください。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目の英小文字、または数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。

最後に設定ボタンを押します。

❸ ボタンを数回押して［設定値］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［出荷時に戻す］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ 設定ボタンを押します。

11 メンテナンスをします

トナーカートリッジを交換します

⚠警告

・トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

・トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

・こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。

⚠注意

・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

・トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

・トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

・トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

・トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

・トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

・紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。
・衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

・トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

・使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに［＊　トナーが少なくなっています］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると［トナーカートリッジを交換してください］を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラム内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、以下の通りです。

- 大容量トナーカートリッジの場合：約 11,000 枚
- トナーカートリッジの場合：約 5,500 枚
- イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：約 2,000 枚

新しいドラムカートリッジに 1 本目のトナーカートリッジを取りつけたときの交換の目安は以下のようになります。

- 大容量トナーカートリッジの場合：約 10,200 枚
- トナーカートリッジの場合：約 4,700 枚
- イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：約 1,200 枚

印刷できます ＊　トナーが少なくなっています	→	トナーカートリッジを交換してください ＊ 詳しくはヘルプをご覧ください

メモ

- ［トナーが少なくなっています］を表示してから［トナーカートリッジを交換してください］になるまでの目安は、約 200 枚です。
- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、約 4,000 枚印刷可能です。
- トナーカートリッジの印刷可能枚数は、用紙サイズが A4、印字濃度が工場出荷時設定で「ISO/IEC 19798」に準拠した値です。
  実際に印刷可能な枚数は、お客様のご使用状況により、異なります。
  「ISO/IEC 19798」は、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

注

- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- 使用中のトナーカートリッジ / イメージドラムを装置間で入れ替えると、トナー使用量が正常にカウントされなくなります。

注

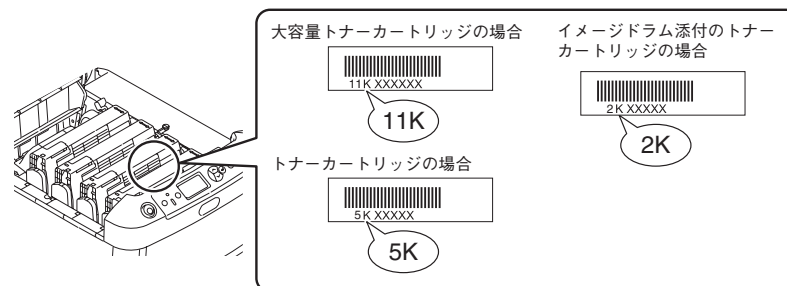
- ［トナーカートリッジを交換してください］表示の後も、トップカバーを開閉することにより A4 サイズ、ISO パターンで約 100 枚（約 20 枚を 5 回）印刷することができますが、それ以降の印刷動作ができなくなります。イメージドラムの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。
  （純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

品　名	型　名
大容量トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C4GK2
大容量トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C4GY2
大容量トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C4GM2
大容量トナーカートリッジ　シアン	TNR-C4GC2
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C4GK1
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C4GY1
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C4GM1
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C4GC1

※お近くの販売店でお求めください。

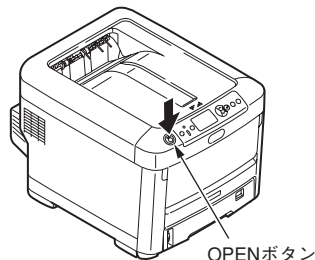
トナーカートリッジの見分け方

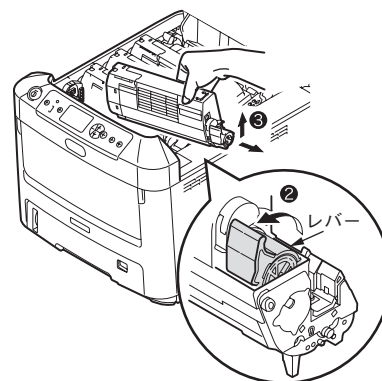
トナーカートリッジを交換します

11

トナーカートリッジを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

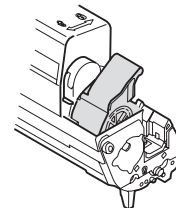
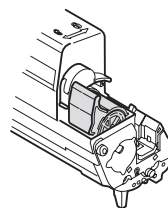
❷ トナーカートリッジの青いレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

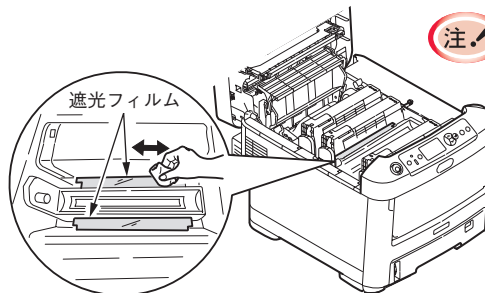
❸ トナーカートリッジのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

❹ トナーカートリッジを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

【トナーカートリッジのレバー位置】

トナーカートリッジを外す位置

トナーカートリッジを取り付けた状態

注 トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。

注 トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LED レンズにトナーがつく可能性があります。柔らかいティッシュペーパーで拭きとってください。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムのラベルの色が合っていることを確認します。

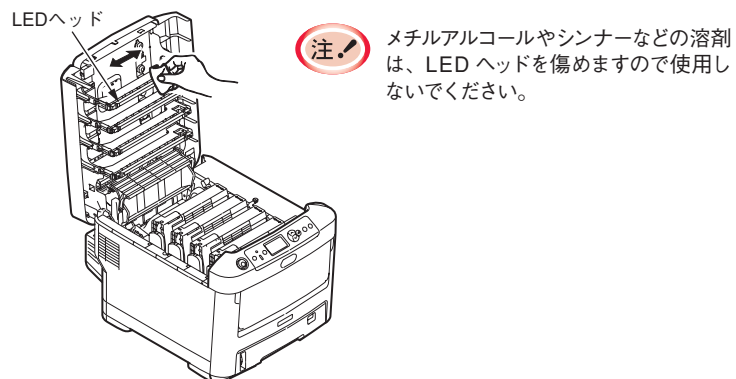
❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムのポストに差し込みます。

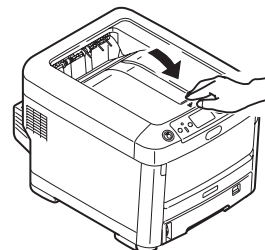
❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

注

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

5 トップカバーを閉じます。

メモ トナーカートリッジを交換しても、[トナーがありません] のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

6 使用済みトナーカートリッジの回収にご協力ください。

詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。

メモ やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

イメージドラムを交換します

⚠警告

- トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

- トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

- 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

イメージドラム交換の目安

イメージドラムが寿命になると操作パネルに［✱　イメージドラムの寿命が近づいています］（✱は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［イメージドラムを交換してください／イメージドラム寿命です］を表示して印刷を停止します。
イメージドラム交換の目安は､A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 20,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況(一度に 3 枚ずつ)で印刷した場合の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。(連続印刷で約 27,000 枚に相当します。)

- ［イメージドラムの寿命が近づいています］を表示してから［イメージドラムを交換してください／イメージドラム寿命です］になるまでの目安は、約 250 枚です。(A4 サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合)
- トナーがほとんど無くなっている場合には、トップカバーを開閉しての印刷継続は制限されます。

注

- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムを準備してください。
- ［イメージドラムを交換してください］表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので､早めに交換してください。
- ［イメージドラムの寿命が近づいています］を表示以降にトナーがほとんど無くなった場合には、250 枚以下で［イメージドラム寿命です］となります。また、お使いの環境によっては、［イメージドラム寿命です］が表示される前に印刷が薄くなることもあります。
- 封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。
- イメージドラムを交換したら、そのまま寿命になるまでお使いください。寿命前に取り外したイメージドラムを他の装置で使用すると、寿命が正しく表示されなくなります。

- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

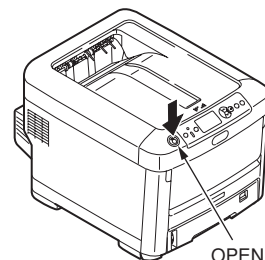
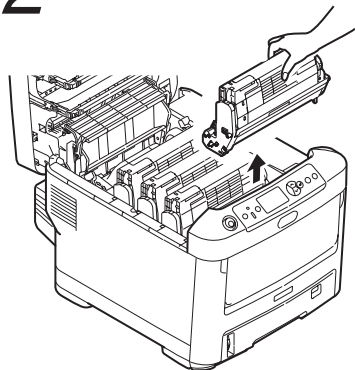
品　名	型　名
イメージドラム　ブラック	ID-C4JK
イメージドラム　イエロー	ID-C4JY
イメージドラム　マゼンタ	ID-C4JM
イメージドラム　シアン	ID-C4JC

お近くの販売店でお求めください。

イメージドラムを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

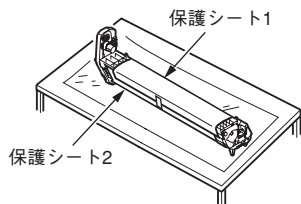
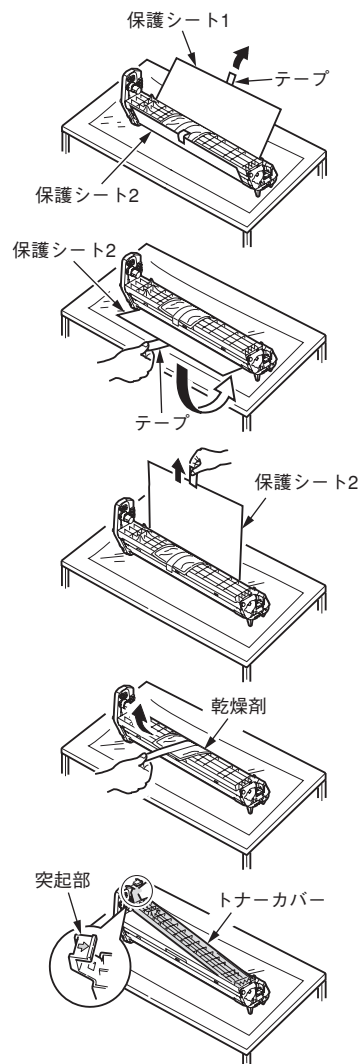
⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのイメージドラムを取り出します。

❶ 交換するイメージドラムをラベルの色で確認します。

❷ トナーカートリッジをつけたまま、イメージドラムを取り出します。

⚠警告	使用済みイメージドラムとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいイメージドラムを準備します。

- イメージドラムを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。
- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムは、直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

❶ イメージドラムを新聞紙等の上に置きます。

❷ 保護シート 1 を止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

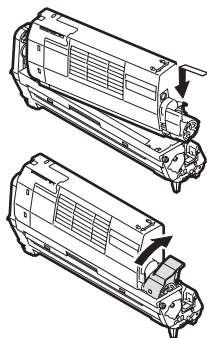
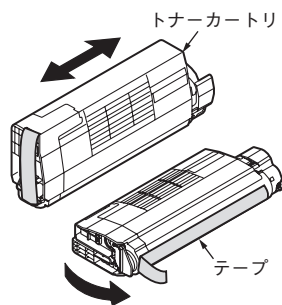
❸ 保護シート 2 を矢印の方向に引き抜きます。

❹ 乾燥剤を取り外します。

❺ トナーカバーを取り外します。

4 新しいトナーカートリッジをイメージドラムに取り付けます。

注 今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後 1 年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラム内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに［＊　トナーがありません］のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、［トナーが少なくなっています］のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

注 新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

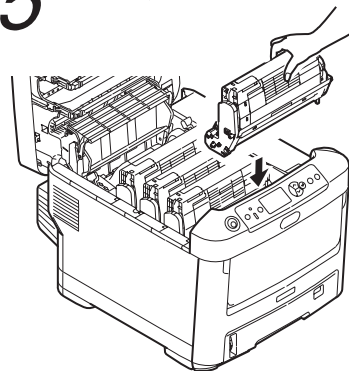
❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムのラベルの色が合っていることを確認します。

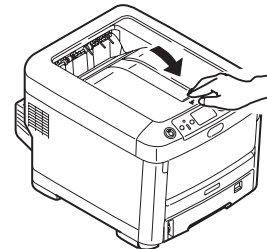
❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムのポストに差し込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

5 イメージドラムをプリンタにセットします。

❶ イメージドラムのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認します。

❷ イメージドラムを静かにセットします。

6 トップカバーを閉じます。

7 使用済みイメージドラムの回収にご協力ください。

詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。

メモ やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

メンテナンス品５年間無償提供について

ご購入日から起算して５年以内にメンテナンス品（ベルトユニット､定着器ユニット､給紙ローラ）が規定の交換寿命を迎えた場合､交換品を無償で提供するサービスです。

交換品は、お使いのメンテナンス品の寿命を確認した上で送付させていただき、交換作業はお客様で行っていただきます。

本サービスの利用については、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を必ずご確認してください。

申込方法は、沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp/）をご覧ください。

ベルトユニットを交換します

ベルトユニット交換の目安

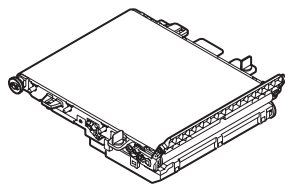
ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに[ベルトの寿命が近づいています]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ベルトを交換してください／ベルト寿命です]を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。
ベルトユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙(片面印刷時)で約 60,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合(一度に 3 枚ずつ)の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

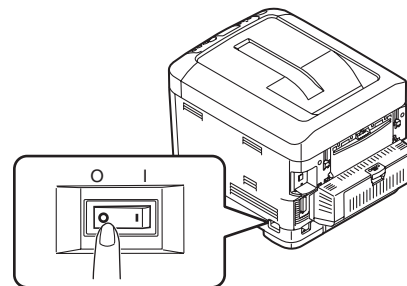
印刷できます
ベルトの寿命が近づいています

ベルトを交換してください
ベルト寿命です
詳しくはヘルプをご覧ください

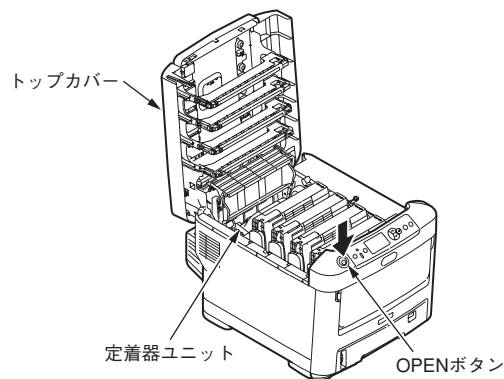
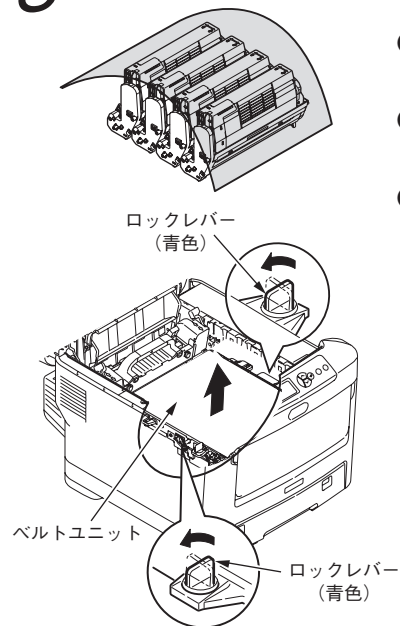
[ベルトの寿命が近づいています]を表示してから[ベルト寿命です]になるまでの目安は、約 750 枚です。(A4 サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合)

- [ベルトを交換してください] 表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。
- ベルトユニットを変換したら、そのまま寿命になるまでお使いください。寿命前に取り外したベルトユニットを他の装置で使用すると、寿命が正しく表示されなくなります。

ベルトユニット

ベルトユニットを交換します

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

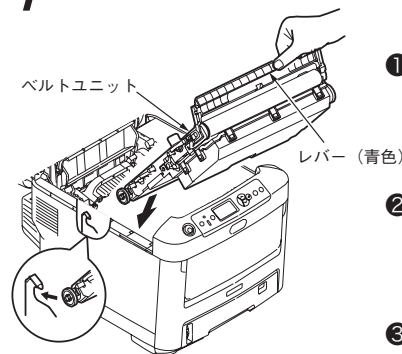
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みのベルトユニットを取り出します。

❶ イメージドラム(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❷ 取り出したイメージドラムに光が当たらないように、紙を重ねてかぶせます。

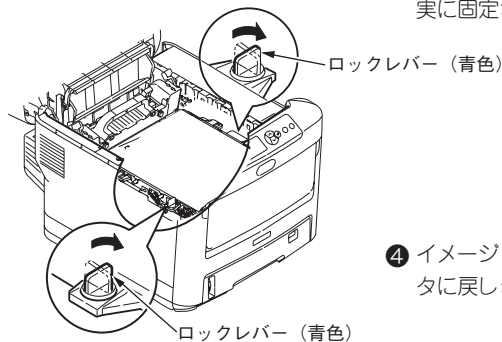
❸ ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印 の方向に回転し、レバー(青色)を持ち、ベルトユニットを取り外します。

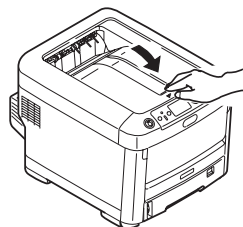
注
- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムは直射日光や強い光(約1500 ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

4 新しいベルトユニットをセットします。

❶ 新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ ベルトユニットのレバー(青色)を持ち、ベルトユニットをセットします。

❸ ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹ イメージドラム(4 個)を静かにプリンタに戻します。

5 トップカバーを閉じます。

注 イメージドラムがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、ベルトユニットのロックレバーの位置を確認してください。また、ロックレバーが正常な位置でない場合、印刷汚れが発生したり、[トナーカートリッジを確認してください］が表示される場合があります。

6 使用済みベルトユニットの回収にご協力ください。

詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。

メモ やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

定着器ユニットを交換します

定着器ユニット交換の目安

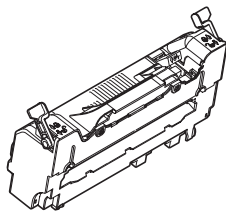
定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに[定着器の寿命が近づいています]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに[定着器を交換してください／定着器寿命です]のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。
定着器ユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 60,000 枚です。

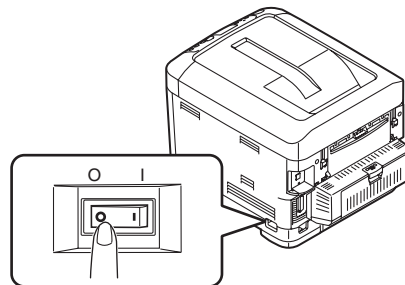
印刷できます
定着器の寿命が近づいています

定着器を交換してください
定着器寿命です
詳しくはヘルプをご覧ください

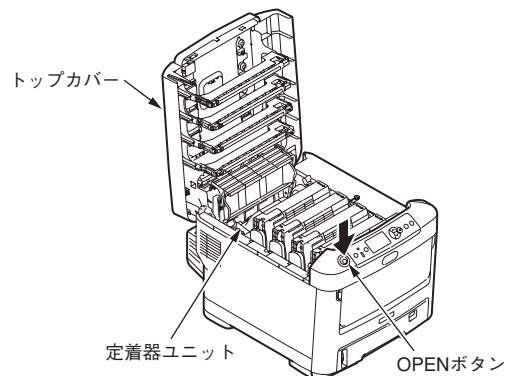
メモ [定着器の寿命が近づいています]を表示してから[定着器寿命です] になるまでの目安は、A4 サイズ（片面印刷）で約 750 枚です。

- [定着器を交換してください] 表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。
- 定着器ユニットを交換したら、そのまま寿命になるまでお使いください。寿命前に取り外した定着器ユニットを他の装置で使用すると、寿命が正しく表示されなくなります。

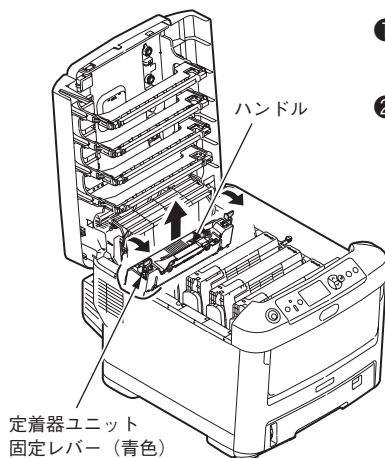
定着器ユニット

定着器ユニットを交換します

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

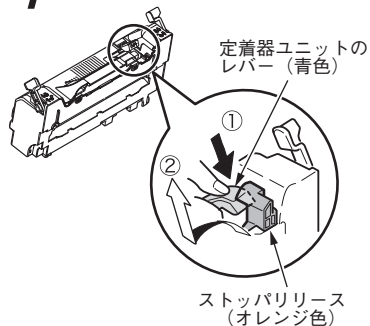
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。

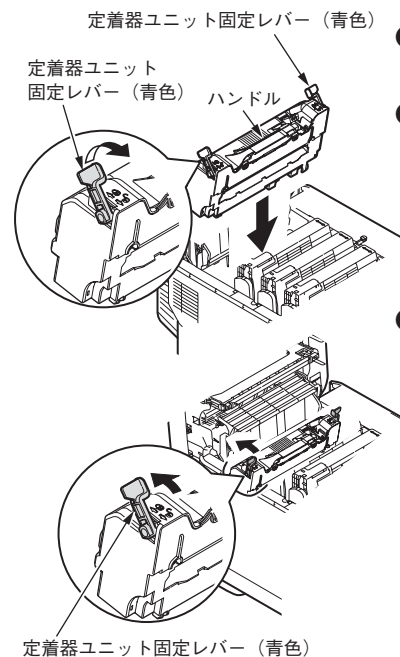
定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー(青色)を矢印の方向へ起します。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

注 LED ヘッドに当たらないように注意してください。

4 新しい定着器ユニットをセットします。

❶ 新しい定着器ユニットを包装袋から取り出します。

❷ 定着器ユニットのレバー(青色)を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース(オレンジ色)を取り外します。

注 ストッパリリースはプリンタを長時間使用しないときや、輸送するときに使います。必ず保管してください。

❸ 定着器ユニットの固定レバーが矢印の方向に起きていることを確認します。

❹ 定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに入れます。

❺ 定着器ユニット固定レバー（青色)を奥側に倒し、固定します。

5 トップカバーを閉じます。

6 使用済み定着器ユニットの回収にご協力ください。

詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。

メモ やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

給紙ローラを清掃します

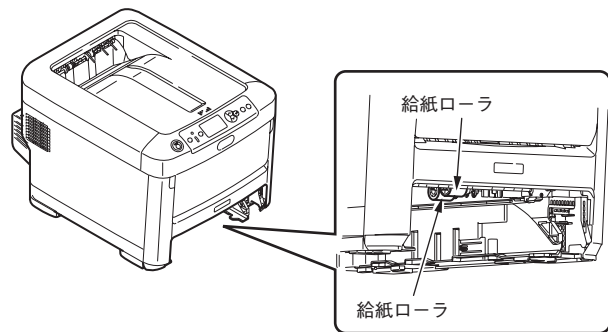
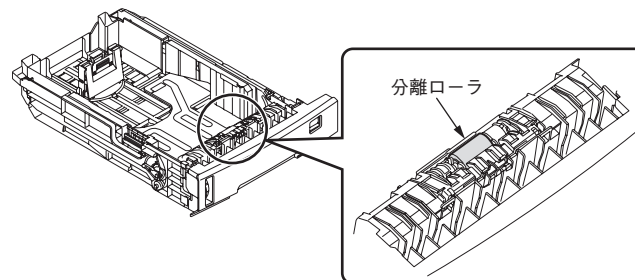
紙づまりが頻発する場合に行ってください。

[カセットを引き出してください／紙づまりです／トレイ 1]が頻発する場合、ヘルプボタンを押し、[エラーコード:391] が表示された時に行ってください。

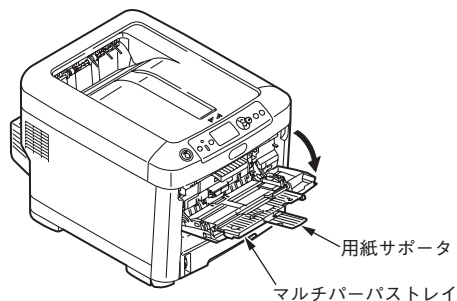
トレイ 1、トレイ 2 ／トレイ 3(オプション)の場合

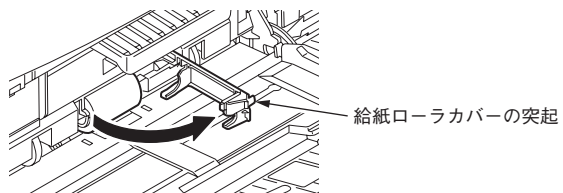
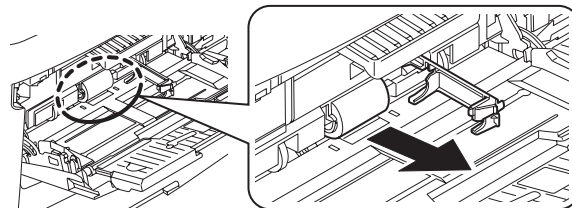
ここでは、トレイ 1 を例にしています。トレイ 2 ／トレイ 3 （オプション）も同様の手順で行います。

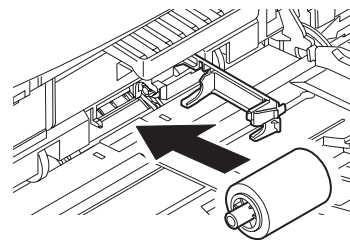
1 用紙カセットを引き出します。

2 給紙ローラ(2 個)を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

3 用紙カセットの分離ローラを、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

- ［カセットを引き出してください／紙づまりです／トレイ 2］が頻発する場合、ヘルプボタンを押し、［エラーコード：392］が表示された時はトレイ 2 を同様に清掃してください。
- ［カセットを引き出してください／紙づまりです／トレイ 3］が頻発する場合、ヘルプボタンを押し、［エラーコード：393］が表示された時はトレイ 3 を同様に清掃してください。
- ［カバーを開けてください／紙づまりです／フロントカバー］が頻発する場合、ヘルプボタンを押し、［エラーコード：390］が表示された時はマルチパーパストレイの給紙ローラを同様に清掃してください。

マルチパーパストレイの場合

1 マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを広げます。

2 給紙ローラカバーの突起を押しながら、開きます。

メモ マルチパーパストレイのカバーの手前の部分が上がっていたら、押し下げてからカバーを開きます。

3 給紙ローラを手前に回しながら取り出します。

4 給紙ローラを、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

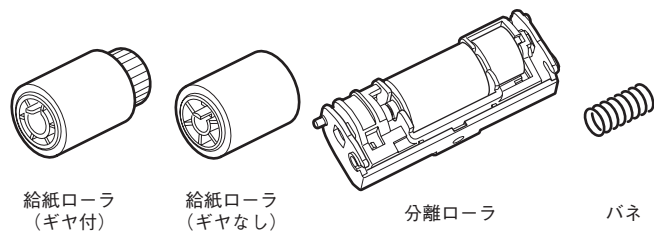
5 給紙ローラをセットします。ローラが固定されているか確認します。

6 給紙ローラカバーを閉じます。

7 用紙サポータをたたみ、マルチパーパストレイを閉じます。

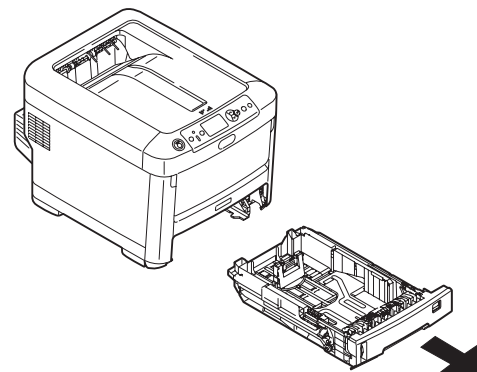
給紙ローラを交換します

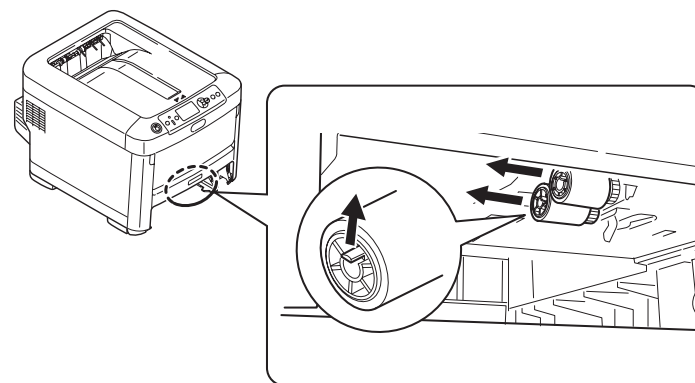
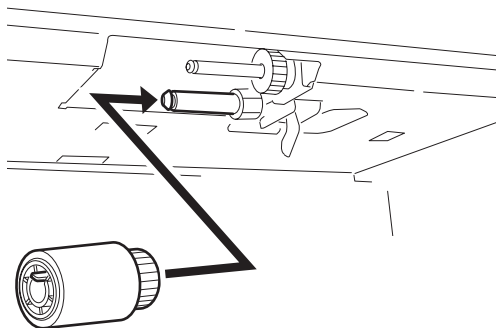
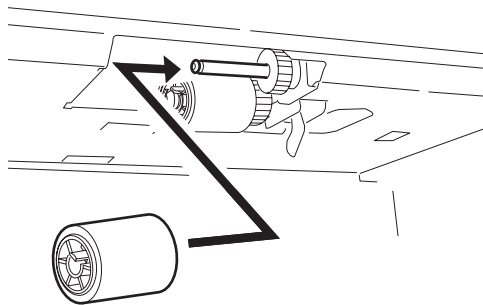
給紙ローラを清掃しても給紙ミスが頻発する場合、給紙ローラを交換します。
トレイ 1、トレイ 2／トレイ 3（オプション）では、給紙ローラを 3 ヶ交換します。
マルチパーパストレイでは、給紙ローラ 1 ヶを交換します。（165 ページ）
交換の目安は、各トレイとも、約120,000 枚です。（使用環境や用紙によって異なります。）

トレイ 1 、トレイ 2 ／トレイ 3(オプション)の場合

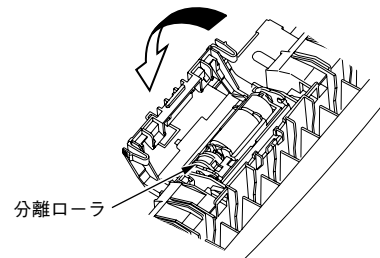
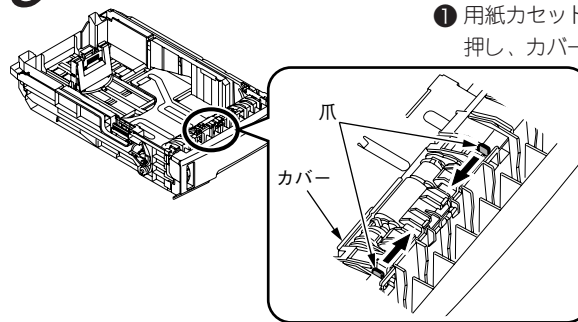
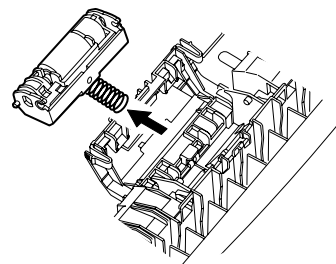
給紙ローラセット

 給紙ローラは必ず 3 個とも交換してください。

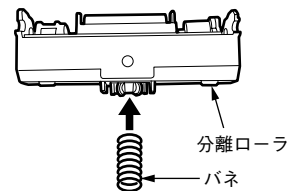
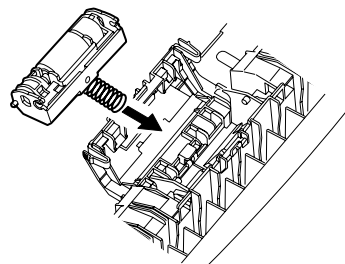
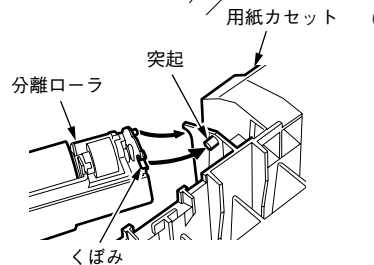
ここではトレイ 1 の給紙ローラを交換する場合を例にしています。

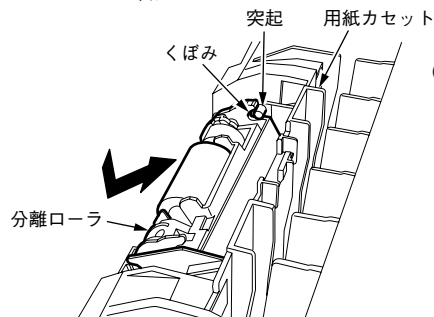
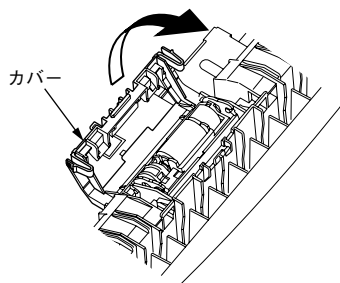
1 プリンタの電源を切り、トレイの用紙カセットを引き抜きます。

2 手前の給紙ローラの爪を外側に広げながら、軸から外し、奥側の給紙ローラのシャフトを下に引いて外します。

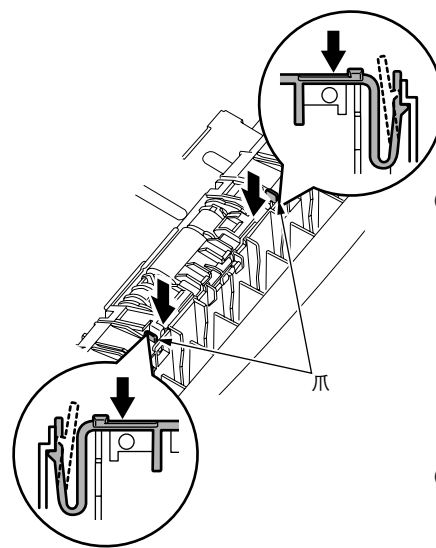
2 個とも外します。

3 新しい給紙ローラ(ギヤ付)を奥側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

4 新しい給紙ローラ(ギヤなし)を手前側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 ローラが抜けないか、確認します。

6 用紙カセットのローラを交換します。

❶ 用紙カセットの両側の爪を内側に押し、カバーを開けます。

❷ 分離ローラを斜め下方向へ押し出し、取り外します。

❸ 新しい部品を準備します。

❹ 分離ローラにバネを取り付けます。

❺ 分離ローラのバネを用紙カセットの図に合わせます。

❻ 分離ローラのくぼみと用紙カセットの突起の位置を合わせます。

ここではまだ、突起をくぼみにはめ込まないでください。

❼ 分離ローラを用紙カセットに押し付け、分離ローラを手前に押し上げるようにしながら、突起をくぼみにはめ込みます。

❽ カバーを閉じます。

分離ローラが正しくセットされていないとカバーが閉じません。

❾ カバーの爪（2ヶ所）の周辺を押し、爪が確実に用紙カセットに引っかかっていることを確認します。

❿ ローラを押し、上下に動くことを確認します。

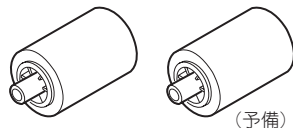
7 用紙カセットをプリンタにもどします。

8 使用済み給紙ローラの回収にご協力ください。

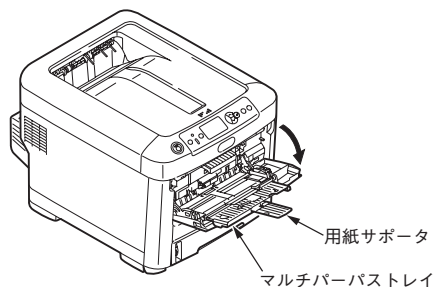
詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。

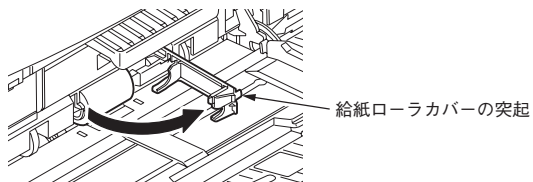
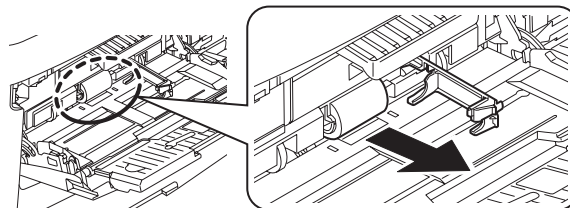
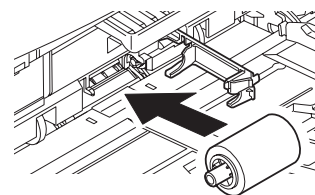
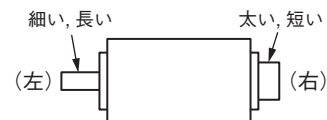
やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

マルチパーパストレイの場合

給紙ローラセット（MPT 用）

注 給紙ローラセット（マルチパーパストレイ用）には給紙ローラが 2 個入っていますが、給紙ローラを交換するときは給紙ローラ 1 個を使用してください。もう 1 個の給紙ローラは予備として保管ください。

1 プリンタの電源を切ります。

2 マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを広げます。

3 給紙ローラカバーの突起を押しながら、開きます。

メモ マルチパーパストレイのカバーの手前の部分が上がっていたら、押し下げてからカバーを開きます。

4 給紙ローラを手前に回しながら取り出します。

5 新しい給紙ローラをセットします。

メモ 給紙ローラは下の図の向きにセットします。

6 給紙ローラが固定されていることを確認し、給紙ローラカバーを閉じます。

7 用紙サポータをたたみ、マルチパーパストレイを閉じます。

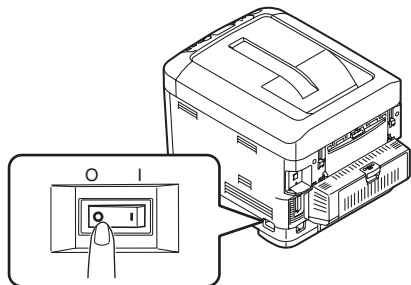
8 使用済み給紙ローラの回収にご協力ください。

詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。

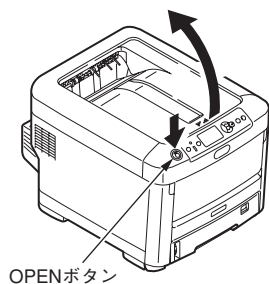
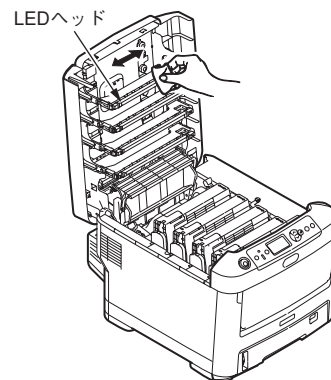
メモ やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

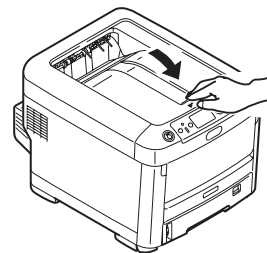
LED ヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面(4 ヶ所)を軽く拭きます。

注! メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

4 トップカバーを閉じます。

色ずれ補正調整をします

プリンタは電源を ON にしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき 400 枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ ボタンを数回押して［プリンタ調整］を選択し、 設定ボタンを押します。

❷ ボタンを数回押して［色ずれ補正］を選択し、 設定ボタンを押します。

❸ 設定ボタンを押します。

［カラー調整中です］と表示して、色ずれ補正調整動作が開始されます。

濃度補正調整をします

プリンタは新しいイメージドラムを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき 500 枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ ボタンを数回押して［プリンタ調整］を選択し、 設定ボタンを押します。

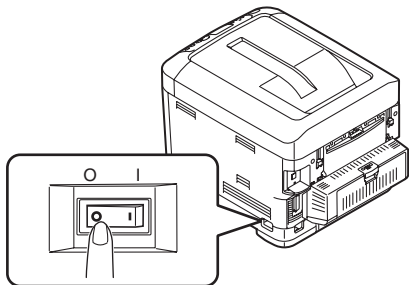
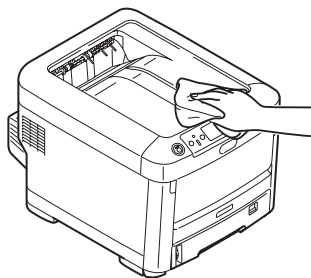
❷ ボタンを数回押して［濃度補正］を選択し、 設定ボタンを押します。

❸ 設定ボタンを押します。

［濃度補正中です］と表示して、濃度補正調整動作が開始されます。

プリンタ表面を清掃します

1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（19 ページ）をご覧ください。

2 プリンタの表面を拭きます。

❶ 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷ 柔らかい乾いた布で拭きます。

- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

プリンタを輸送するとき

プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

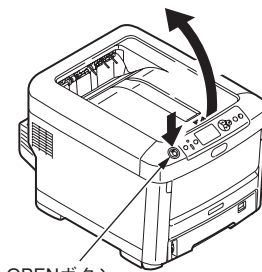
1 プリンタの電源を OFF にし、次の部品を取り外します。

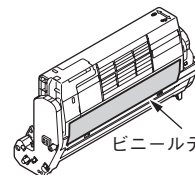
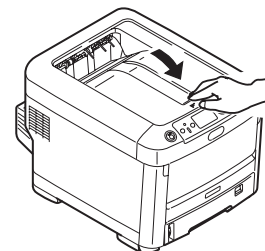
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

2 トップカバーを開け、イメージドラム(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻します。

 プリンタにイメージドラムを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

4 トップカバーを閉じます。

5 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

 プリンタ購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

 プリンタを輸送後、再度設置するときには、イメージドラムとトナーカートリッジを止めたテープをはがしてください。

プリンタドライバを削除するには（Windows をお使いの方）

・コンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動している場合は再起動してください。

Windows7/Windows Server 2008 R2 をお使いの方

❶［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

❷ OKI C710 のアイコンを右クリックし、［デバイスの削除］を選択します。複数のプリンタドライバから特定のプリンタドライバを削除する場合は、［印刷キューの削除］>［OKI C711（ドライバの種類）］を選択します。

❸ 確認メッセージが表示されたら、［ はい］をクリックします。デバイス使用中のメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動して、再度手順❶～❷を実行してください。

❹［プリンターと FAX］のいずれかのアイコンを選択し、トップバーの［プリントサーバープロパティ］をクリックします。

❺［ドライバー］タブを選択します。

❻［ドライバー設定の変更］が表示されている場合は、クリックします。

❼ 削除するドライバを選択し、［削除］をクリックします。

❽ ドライバのみ、またはドライバとパッケージをシステムから削除するかどうかをたずねるメッセージが表示されたら、ドライバとパッケージの削除を選択し、［OK］をクリックします。

❾ 確認メッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

❿［ドライバー パッケージの削除］ダイアログが表示されたら、［削除］>［OK］をクリックします。
削除を拒否されたら、コンピュータを再起動して、再度手順❹～❿を実行してください。

⓫［プリント サーバーのプロパティ］ダイアログの［閉じる］をクリックします。

⓬ コンピュータを再起動します。

Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方

❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

❷［OKI C711（ドライバの種類）］アイコンを右クリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

❹ プリンタアイコンを選択しないで、右ボタンでクリックして、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺［ユーザー アカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❻「プリント サーバーのプロパティ」の［ドライバ］タブを選択します。

❼［OKI C711（ドライバの種類）］を選択し、［削除］をクリックします。

「指定されたプリンタドライバは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windows を再起動して、再度プリンタドライバの削除を行ってください。

❽［ドライバとパッケージの削除］が表示されたら、［ドライバとドライバ パッケージを削除する］を選択して［OK］をクリックします。

❾ 確認のメッセージが表示されたら、［ はい］をクリックします。

❿［ドライバパッケージの削除］が表示されたら、［削除］をクリックします。

⓫ 削除が終了したら、［OK］をクリックします。

⓬［プリントサーバーのプロパティ］で、［閉じる］をクリックします。

⓭ Windows を再起動します。

Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 をお使いの方

❶ Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI C610（ドライバの種類）］アイコンを右クリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

❹「プリンタと FAX」フォルダ（Windows 2000 では「プリンタ」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

❻［プリントサーバーのプロパティ］で、［閉じる］をクリックします。

❼ Windows を再起動します。

プリンタドライバと一緒にインストールされる OKI LPR ユーティリティと Network Extension と色見本印刷ユーティリティは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPR ユーティリティと Network Extension と色見本印刷ユーティリティを削除する場合は、ユーザーズマニュアル(応用編)「Windows ソフトウェア」の「OKI LPR ユーティリティ」、「Network Extension」、「色見本印刷ユーティリティ」をご覧ください。

プリンタドライバを削除するには（Macintosh をお使いの方）

1 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

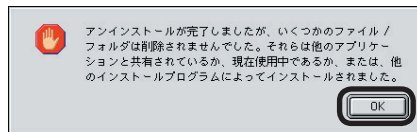
❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼ ▲▼ をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- LaserWriter8 を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「LaserWriter8 設定」ファイル

プリンタドライバを削除するには（Mac OS X をお使いの方）

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4 をお使いの方

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸［プリンタリスト］を閉じます。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 をお使いの方

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。プリンタ名を選択し、［-］をクリックします。

❸［システム環境設定］を閉じます。

2 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダを開きます。

❹［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

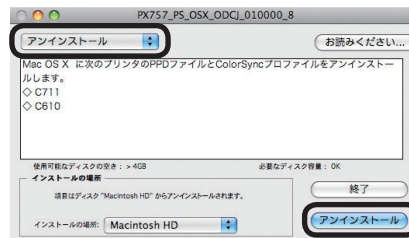
❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❻ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❼「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❽「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❾ ▲▼をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❿［アンインストール］をクリックします。プリンタドライバの削除が行われます。

⓫［終了］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには（Windows をお使いの方）

現在、インストールされているプリンタドライバの版数を確認してから、削除し、新しいプリンタドライバをインストールします。その後、プリンタドライバのバージョンが更新されていることを確認します。

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ］をクリックします。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C711(ドライバの種類)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ [設定］タブ(PS プリンタドライバでは［印刷オプション］タブ)の[バージョン情報]をクリックします。

❹ バージョン情報確認画面が表示されたら、バージョン情報を控えて[OK]をクリックします。

❺「プリンタドライバを削除するには（Windows をお使いの方）」（170 ページ）に従って、プリンタドライバを削除します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類(PS、PCL または XPS)のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❻ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは、3 章（55 ページ）～ 4 章（69 ページ）をご覧ください。

❼ ❶～❹の手順でバージョン情報を表示し、新しいプリンタドライバのバージョンが更新されていることを確認します。

プリンタドライバをアップデートするには（Macintosh をお使いの方）

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには（Macintosh をお使いの方）」（172 ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは 5 章（79 ページ）～6 章（89 ページ）をご覧ください。

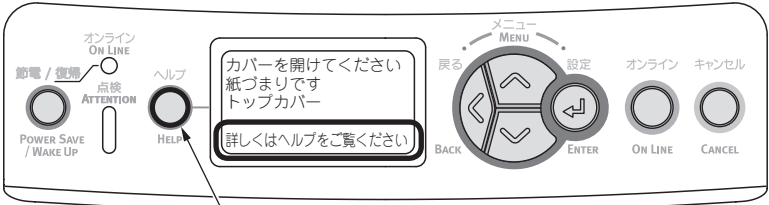
プリンタドライバをアップデートするには（Mac OS X をお使いの方）

❶［プリンタ設定ユーティリティ］-［プリンタリスト］のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには（Mac OS X をお使いの方）」（173 ページ）をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは 7 章（97 ページ）～ 8 章（113 ページ）をご覧ください。

12 紙づまりになったとき

紙づまりになったとき

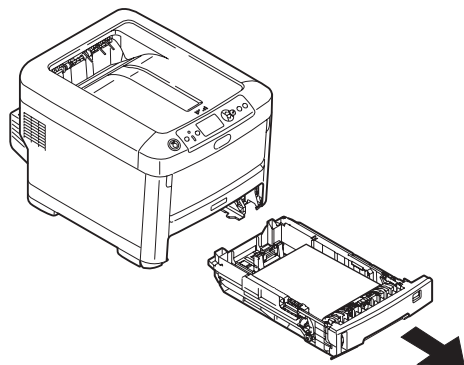
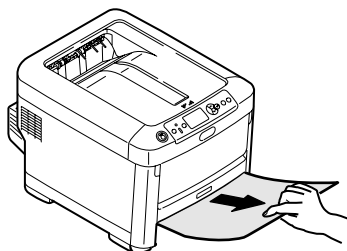
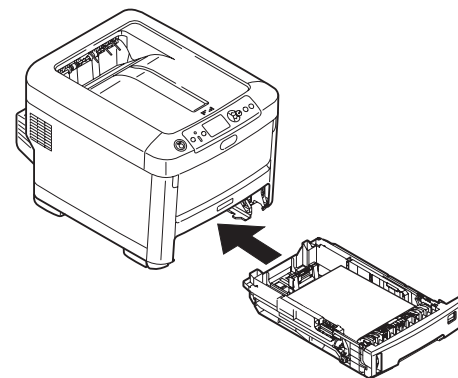
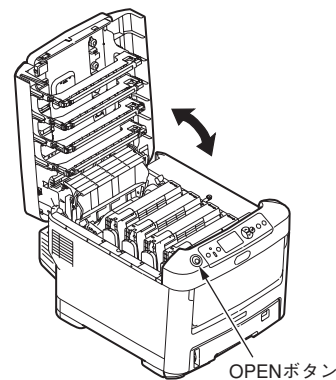
プリンタ内部に紙づまりが起こったときや用紙が残っているときは、操作パネルに［紙づまりです］［用紙が残っています］と表示します。
ヘルプボタンを押すと、用紙の取り除き方を表示するので、［処置］に従ってプリンタ内部の用紙を取り除いてください。
また、右の表の参照ページにも用紙の取り除き方が載っています。

このボタンを押すと、用紙の取り除き方を表示します。

表示されるメッセージ	参照ページ
カセットを引き出してください 紙づまりです ［トレイ名］ 詳しくはヘルプをご覧ください	179ページ
カセットを引き出してください 用紙が残っています ［トレイ名］ 詳しくはヘルプをご覧ください	
カバーを開けてください 紙づまりです フロントカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	180ページ
カバーを開けてください 用紙が残っています フロントカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	
カバーを開けてください 紙づまりです トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	181ページ
カバーを開けてください 用紙が残っています トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	
両面印刷ユニットを確認してください 紙づまりです 詳しくはヘルプをご覧ください	183ページ
両面印刷ユニットを確認してください 用紙が残っています 詳しくはヘルプをご覧ください	

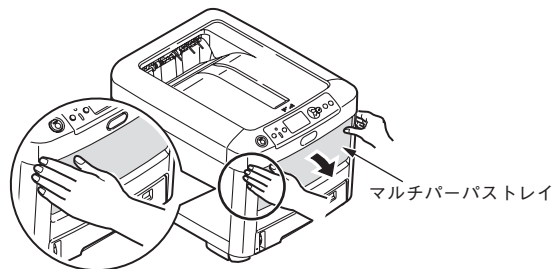
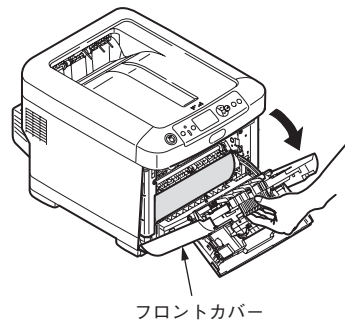
カセットを引き出してください 紙づまりです [トレイ名] 詳しくはヘルプをご覧ください	カセットを引き出してください 用紙が残っています [トレイ名] 詳しくはヘルプをご覧ください

と表示しているとき

ここではトレイ 1 を例にしています。

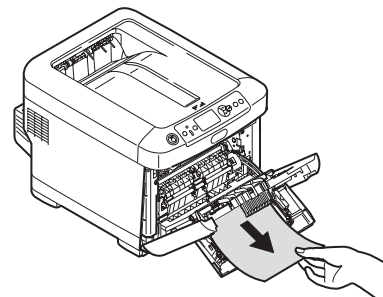
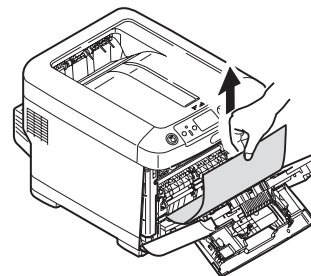
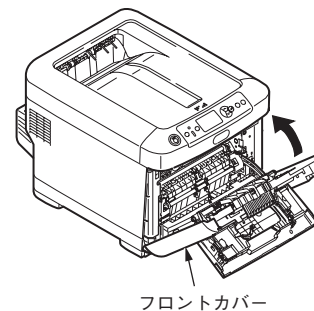
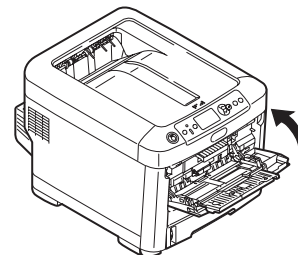
1 表示しているトレイのカセットを引き抜きます。

2 用紙を取り除きます。

3 カセットをプリンタ本体に戻します。

4 トップカバーを開閉します。

カバーを開けてください 紙づまりです フロントカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	カバーを開けてください 用紙が残っています フロントカバー 詳しくはヘルプをご覧ください

と表示しているとき

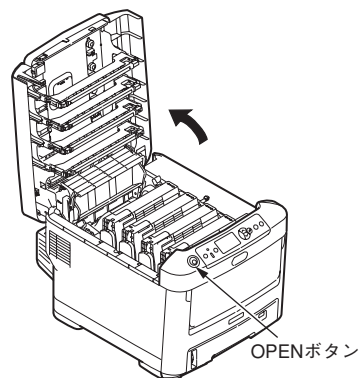
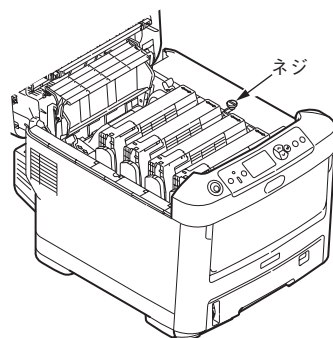
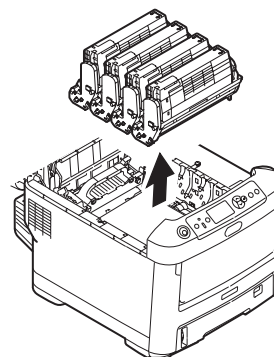
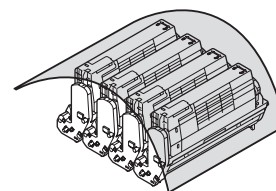
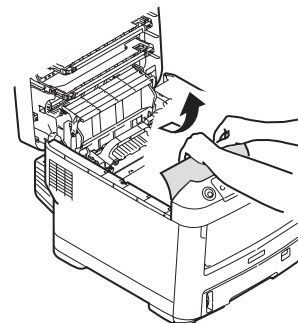
1 マルチパーパストレイを開けます。

2 中央のハンドル(青色)を押し上げ、フロントカバーを開けます。

フロントカバー

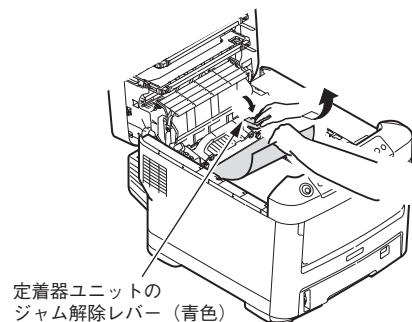
3 つまっている用紙をゆっくり引き出します。

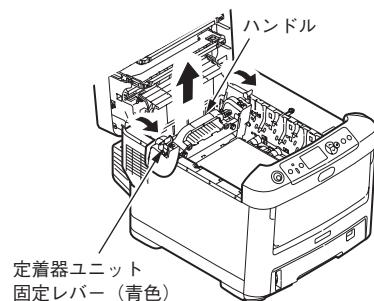
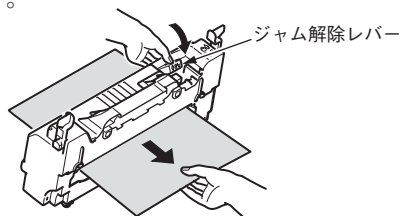
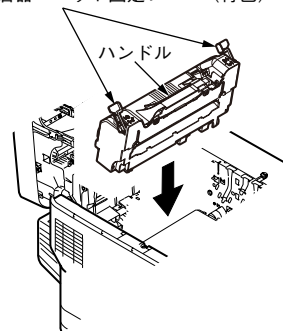
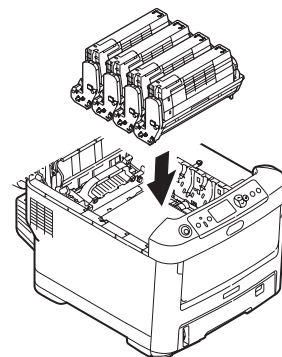
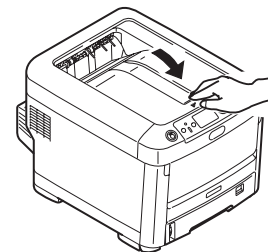
① 用紙の先端が見える場合

② 用紙の先端が見えない場合

4 フロントカバーを閉じます。

5 マルチパーパストレイを閉じます。

カバーを開けてください 紙づまりです トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	カバーを開けてください 用紙が残っています トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください

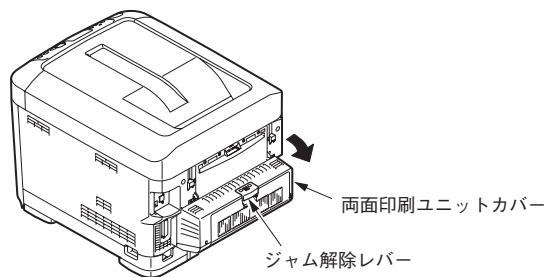
と表示しているとき

1 トップカバーを開けます。

2 ネジに手を触れて静電気を逃がします。

3 イメージドラム４個を取り出し、平らな場所に置きます。

4 取り出したイメージドラムに光が当たらないように、紙を重ねてかぶせます。

5 ❶ つまった用紙の先端が見える場合
プリンタ内部にゆっくり引き出します。

❷ つまった用紙の先端が見えない場合

定着器のジャム解除レバーを押しながら、用紙をゆっくり引き出します。

❸ 用紙が定着器にはさまっている場合

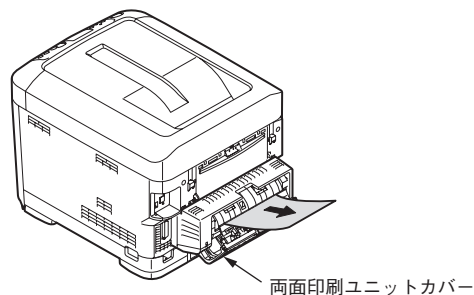
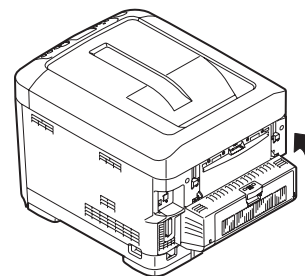
定着器の固定レバー（2 ヶ所）を手前に倒し、定着器を取り出します。

ジャム解除レバーを押しながら、つまった用紙を必ず手前方向へゆっくり引き出します。

定着器をプリンタ本体にセットし、固定レバー（2 ヶ所）を奥側に倒します。

6 イメージドラム 4 個をプリンタにセットします。

7 トップカバーを閉めます。

両面印刷ユニットを確認してください 紙づまりです 詳しくはヘルプをご覧ください	両面印刷ユニットを確認してください 用紙が残っています 詳しくはヘルプをご覧ください

と表示しているとき

1 両面印刷ユニットのジャム解除レバーをつまんで押し下げ、両面印刷ユニットカバーを開けます。

2 つまっている用紙を取り出します。

用紙が見えない場合は両面印刷ユニットカバーを閉めると用紙が自動的に排出されます。

3 両面印刷ユニットカバーを閉めます。

付　録

消耗品・オプション一覧

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品　名		型　名	内　容
大容量トナーカートリッジ　ブラック		TNR-C4GK2	約11,000 枚　*1*2*3
大容量トナーカートリッジ　イエロー		TNR-C4GY2	
大容量トナーカートリッジ　マゼンタ		TNR-C4GM2	
大容量トナーカートリッジ　シアン		TNR-C4GC2	
トナーカートリッジ　ブラック		TNR-C4GK1	約 5,500 枚　*1*2*3
トナーカートリッジ　イエロー		TNR-C4GY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ		TNR-C4GM1	
トナーカートリッジ　シアン		TNR-C4GC1	
イメージドラム　ブラック		ID-C4JK	約 20,000 枚　*4*5*6
イメージドラム　イエロー		ID-C4JY	
イメージドラム　マゼンタ		ID-C4JM	
イメージドラム　シアン		ID-C4JC	
セカンド / サードトレイユニット		TRY-C4F1	セカンド / サードトレイユニット
256MB 増設メモリ		MEM256G	増設メモリ（256MB）
512MB 増設メモリ		MEM512D	増設メモリ（512MB）
SD メモリーカード		SDC-A1	SD メモリーカード
エクセレントホワイト	A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンタ用紙
	A4（厚口）	PPR-CA4DA	
	A4 長尺	PPR-CT4DA	

*1　A4 片面印刷、ISO/IEC 19798 に準拠の参考値

*2　内容に記載の印刷枚数相当に交換が必要です。所定の印刷品質・動作確保および商品の故障防止のため、トナーを交換しないと印刷動作を一時停止した後、約 100 枚（ISO/IEC 19798 準拠の参考値）でそれ以降印刷ができなくなります。

*3　プリンタ購入時には約 4,000 枚印刷可能なスターターカートリッジが付属しています。

*4　A4 片面、一度に 3 枚ずつ印刷時

*5　一般的な使用状況（一度に 3 枚ずつ印刷）を想定した値です。連続印刷時の参考値は約 27,000 枚（A4 片面印刷時）になります。一度に 1 枚のみ印刷する場合は、一般的な使用状況に比べ約半分の枚数で寿命となります。使用条件によっては、目安の印刷枚数よりさらに半分以下になる場合があります。

*6　内容に記載の印刷枚数相当毎にイメージドラムの交換が必要です。所定の印刷品質・動作確保および商品の故障防止のため、イメージドラムを交換しないと印刷動作を一時停止した後、イメージドラム内のトナーが無くなってから約 100 枚（ISO/IEC 19798 準拠の参考値）でそれ以降印刷ができなくなります。

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0 ～ 35℃、湿度：20 ～ 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

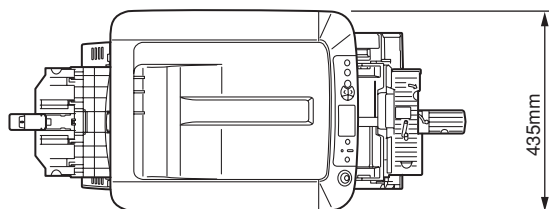
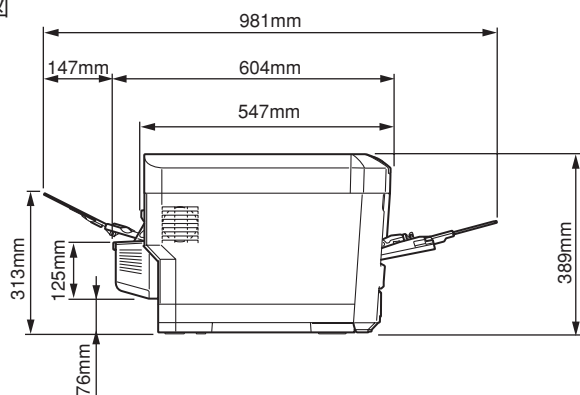
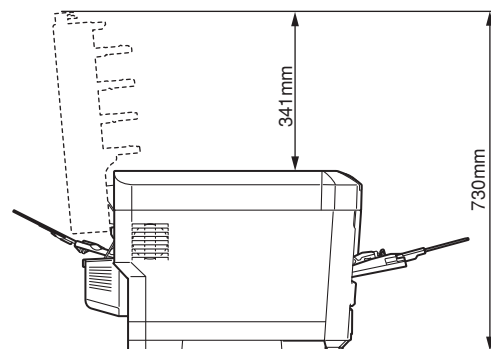
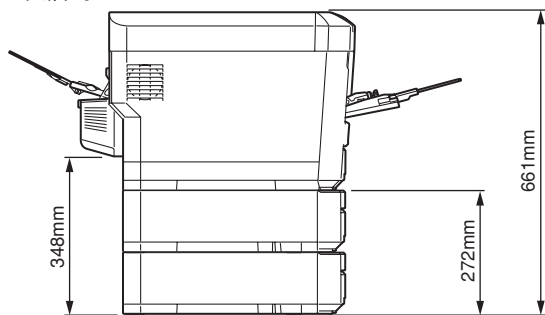
仕様

主な仕様

項目	内容
印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600 ドット/インチ(LED ヘッド) 600 × 600dpi/600 × 1200dpi/600 × 600dpi × 2 bit(印刷解像度)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の 4 色
CPU	Power PC
RAM 容量	256MB(最大 768MB)
対応 OS	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/ Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版 MacOS 9.0 〜 9.2.2、Mac OS X 10.3.9 〜 10.6 日本語版 詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	PostScript3 エミュレーション、PCL5c/PCLXL エミュレーション、XPS
内蔵フォント	PSE:日本語 2 書体、欧文 80 書体 /PCL5c:日本語 4 書体、欧文 91 書体
インタフェース	USB (Hi-Speed USB をサポート)、100BASE-TX/10BASE-T IEEE std 1284-1994 準拠パラレル
印刷速度 *1 (600×600dpi/600×1200dpiの場合)	カラー :34 ページ/分(普通紙、A4 コピーモード時)、 10 ページ/分(郵便はがき・ラベル紙)、 8 ページ/分(163kg(189g/m²)以上の厚紙)、 25.5 ページ/分(両面印刷時:普通紙、A4 時) モノクロ :36 ページ/分(普通紙、A4 コピーモード時)、 12 ページ/分(104kg(121g/m²)以上の厚紙・郵便はがき・ラベル紙)、 27 ページ/分(両面印刷時:普通紙、A4 時)
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒
用紙種類 *2	普通紙 (55kg(64g/m²) 〜 215kg(250g/m²))、郵便はがき、封筒、ラベル紙
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 セカンド/サードトレイユニット(オプション)による自動給紙
給紙容量	用紙カセット :普通紙 530 枚/連量 70kg(82g/m²) 総厚 53mm 以下 マルチパーパストレイ :普通紙 100 枚/連量 70kg(82g/m²) 総厚 10mm 以下 はがき 40 枚、封筒 10 枚/坪量 85g/m²
排出方法 *2	フェイスアップ(表排出)/ フェイスダウン(裏排出)
排出容量	フェイスアップ:約 100 枚/連量 70kg(82g/m²) フェイスダウン:約 350 枚/連量 70kg(82g/m²)
印刷保証範囲	用紙の端から 6.35mm 以上(封筒などの特殊な用紙は除く)
印刷精度	書き出し位置精度± 2mm 用紙の斜行± 1mm/100mm 画像伸縮± 1mm/100mm(連量 70kg(82g/m²) の場合)
ウォーミングアップ時間	電源投入後 60 秒以内 (25℃) *4
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2%
消費電力	動作時 :最大 1300W、平均 600W(25℃) 待機時 :平均 100W(25℃) 節電モード時 :最大 15W スリープモード時 :約 0.9W 電源オフ時には電力は消費されません。
突入電流	70A 以下 (25℃)
使用環境条件	動作時:10 〜 32℃ /20 〜 80%RH(最高湿球温度 25℃、最高乾球湿球温度差 2℃) 停止時:0 〜 43℃ /10 〜 90%RH(最高湿球温度 26.8℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
印刷品質保証条件	温度 10℃時 湿度 30 〜 73%RH、温度 32℃時 湿度 30 〜 54%RH、 湿度 30%RH 時 温度 10 〜 32℃、湿度 80%RH 時 温度 10 〜 27℃、 カラー印刷時 温度 17 〜 27℃、湿度 50 〜 70%RH
標準使用条件	平均電源 ON 時間 :220H/月 平均印刷枚数 :6,000 枚/月
消耗品, メンテナンスユニット	トナーカートリッジ、イメージドラム、ベルトユニット、定着器ユニット、給紙ローラセット
装置寿命	5 年または 60 万枚 (A4)
総重量 *3	約 31kg

*1: 用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2: 用紙サイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3: 本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*4: ネットワーク環境等により、変動することがあります。

外形寸法

平面図

側面図

オプション装着時

ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

ソフトウェア CD-ROM には､次のマニュアルが PDF 形式で収録されています。バージョン 5 以降の Acrobat に対応しています。
Adobe Reader は、同 CD-ROM に収納されています。

- C711dn2_Setup.pdf: C711dn2 のユーザーズマニュアル（セットアップ編）です。（本書）
- C711dn2_Ouyou.pdf: C711dn2 ユーザーズマニュアルの応用編です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、セットアップ編と応用編を同じフォルダに保存してご利用ください。

C711dn2 ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

目次へ 戻る 前へ 次へ 検索する

索　引

＊は、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」をご覧ください。

［ハ行］

［マ行］

［ヤ行］

カラーページプリンタ

C711dn2

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2012年 12月　第１版

発行者　株式会社 沖データ

45507601EE

お客様相談センター

0120-654-632

（携帯電話からは 0570-055-654）

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

45507601EE Rev1